

(様式第 10)

筑大病総調 第 15-48 号
平成 27 年 10 月 5 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人筑波大学長 永田 恭介 (印)

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
氏 名	国立大学法人筑波大学長 永田 恭介

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

筑波大学附属病院

3 所在の場所

〒 305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1	電話 (029) 853-3900
----------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="checkbox"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="checkbox"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 腎臓内科 2 血液内科 3 感染症内科 4 呼吸器内科 5 消化器内科 6 内分泌・代謝・糖尿病内科	
7 循環器内科 8 腫瘍内科 9 10 11 12 13	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
外科と組み合わせた診療科名 1呼吸器外科 2心臓血管外科 3乳腺・内分泌外科 4消化器外科 5臓器移植外科 6形成外科 7小児外科 8頭頸部外科 9 10 11 12	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="radio"/> 1精神科 <input checked="" type="radio"/> 2小児科 <input checked="" type="radio"/> 3整形外科 <input checked="" type="radio"/> 4脳神経外科 <input checked="" type="radio"/> 5皮膚科 <input checked="" type="radio"/> 6泌尿器科 7産婦人科 <input checked="" type="radio"/> 8産科 <input checked="" type="radio"/> 9婦人科 <input checked="" type="radio"/> 10眼科 <input checked="" type="radio"/> 11耳鼻咽喉科 12放射線科 <input checked="" type="radio"/> 13放射線診断科 <input checked="" type="radio"/> 14放射線治療科 <input checked="" type="radio"/> 15麻酔科 <input checked="" type="radio"/> 16救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
歯科と組み合わせた診療科名 1歯科口腔外科 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1リウマチ科 2アレルギー科 3病理診断科 4神経内科 5リハビリテーション科 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
41床	床	床	床	759床	800床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	587人	8.7人	595.7人	看護補助者	61人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	16人	0.2人	16.2人	理学療法士	29人	臨床検査技師	66人
薬 剤 師	53人	6人	58.1人	作業療法士	13人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	51人	5人	52.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	755人	39人	779.5人	臨床工学士	25人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	29人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	2人	事務職員	213人
管理栄養士	8人	0人	8人	診療放射線技師	50人	その他の職員	24人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	44人	眼科専門医	9人
外科専門医	41人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	17人
小児科専門医	22人	脳神経外科専門医	20人
皮膚科専門医	6人	整形外科専門医	16人
泌尿器科専門医	8人	麻酔科専門医	12人
産婦人科専門医	17人	救急科専門医	4人
		合 計	234人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	705.8人	10.3人	716.1人
1日当たり平均外来患者数	1,595.8人	59.2人	1,655.0人
1日当たり平均調剤数	1846剤		
必要医師数	169人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	24人		
必要(准)看護師数	414人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	766.15m ²	鉄筋コンクリート	病床数	48床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 床	900.82m ²	病床数	53床		
	[移動式の場合] 台数	台				
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 [共用室の場合] 共用する室名	43.91m ²				
化学検査室	318.6m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 尿定性検査機、尿定量検査機			
細菌検査室	108.2m ²	同上	(主な設備) 血液培養機、薬剤感受装置			
病理検査室	104.4m ²	同上	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色機、自動封入機			
病理解剖室	54m ²	同上	(主な設備) 解剖台			
研究室	801.7m ²	同上	(主な設備) 机、椅子、書棚、PC			
講義室	2,434 m ²	同上	室数	17 室	収容定員	2,102 人
図書室	2,793m ²	同上	室数	1 室	蔵書数	167,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率		逆紹介率	
		87.4%	66.3%
算出根拠	A: 紹介患者の数	17,644人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	14,487人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,445人	
	D: 初診の患者の数	21,847人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る)の併用療法(上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん)	0人
経胎盤的抗不整脈投与療法〔胎児頻脈生不整脈(胎児の心拍数が毎分180以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る)〕	0人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用〔原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る)〕	8人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化法(コレステロール塞栓症)	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	84人	・膿疱性乾癬	0人
・多発性硬化症	103人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	139人	・原発性胆汁性肝硬変	30人
・全身性エリテマトーデス	493人	・重症急性膵炎	7人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	131人
・再生不良性貧血	49人	・混合性結合組織病	46人
・サルコイドーシス	86人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・特発性間質性肺炎	16人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	265人	・網膜色素変性症	33人
・特発性血小板減少性紫斑病	40人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	80人	・肺動脈性肺高血圧症	24人
・潰瘍性大腸炎	225人	・神経線維腫症	13人
・大動脈炎症候群	48人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	20人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	38人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	65人	・ライソゾーム病	1人
・クローン病	79人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	19人	・脊髄性筋委縮症	2人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	142人	・球脊髄性筋委縮症	3人
・アミロイドーシス	2人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	17人
・後縦靭帯骨化症	49人	・肥大型心筋症	6人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	22人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	3人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	64人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	22人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	119人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・退院調整加算
・歯科診療特別対応連携加算	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・特定機能病院入院基本料	・救急搬送患者地域連携受入加算
・臨床研修病院入院診療加算	・総合評価加算
・臨床研修病院入院診療加算(歯科診療に係るもの)	・呼吸ケアチーム加算
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・特定集中治療室管理料4
・診療録管理体制加算1	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・急性期看護補助体制加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・看護職員夜間配置加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・療養環境加算	・小児入院医療管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・短期滞在手術等基本料1
・無菌治療室管理加算1	
・無菌治療室管理加算2	
・緩和ケア診療加算	
・精神科身体合併症管理加算	
・摂食障害入院医療管理加算	
・がん診療連携拠点病院加算	
・医療安全対策加算1	
・感染防止対策加算1	
・患者サポート体制充実	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・植込型除細動器移行期加算	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・高度難聴指導管理料	・検体検査管理加算Ⅳ
・糖尿病合併症管理料	・遺伝カウンセリング加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん患者指導管理料1	・植込型心電図検査
・がん患者指導管理料2	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料3	・時間内歩行試験
・外来緩和ケア管理料	・ヘッドアップティルト試験
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・院内トリアージ実施料	・補聴器適合検査
・外来リハビリテーション診療料	・コンタクトレンズ検査料1
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・地域連携診療計画管理料	・センチネルリンパ節生検(併用法)
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(単独法)
・認知症専門診断管理料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1	・心臓MRI撮影加算
・医療機器安全管理料2	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・外来化学療法加算1
・歯科治療総合医療管理料	・無菌製剤処理科
・持続血糖測定器加算	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・造血管腫瘍遺伝子検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・がん患者リハビリテーション料	・経皮的動脈弁置換術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・医療保護入院等診療料	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術(レーザーシースを用いるもの)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・透析液水質確保加算2	・補助人工心臓
・一酸化窒素吸入療法	・経皮的動脈遮断術
・歯科技工加算	・ダメージコントロール手術
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・腹腔鏡下肝切除術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・生体部分肝移植術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・同種死体腎移植術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・生体腎移植術
・経内痔手術(経内痔治療用インフラット挿入術(プレートのあるもの))	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・網膜再建術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・輸血管材料1
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・輸血適正使用加算
・乳がんセンチネルリンパ節加算2	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・経皮的冠動脈形成術	・内視鏡手術用支援機器加算

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	
・麻酔管理料(Ⅰ)	
・麻酔管理料(Ⅱ)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・直線加速器による放射線治療(定位放射線治療)	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・保険医療機関間の連携による病理診断	
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	
・病理診断管理加算2	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週9回程度実施
剖 検 の 状 況	剖検症例数 30 例 / 剖検 ² 10.00%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
				補	委
				補	
				委	
				補	
別紙のとおり				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計200

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

別紙

研究課題名	研究者代表者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託先
3次元スペクトルトラッキング法による右室機能評価法の開発	瀬尾 由広	循環器(内)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
難治性薬剤抵抗性高血圧に対する革新的な腎動脈交感神経アブレーション法の開発	佐藤 明	循環器(内)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
左室駆出率を超える心不全指標としての左室長軸収縮率の臨床的意義の研究	石津 智子	循環器(内)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
東日本大震災が及ぼす致死性不整脈発現への影響	関口 幸夫	循環器(内)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
心筋炎発症機序におけるテネイシンCの分子機能の解析	田尻 和子	循環器(内)診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
持続性心房細動における心房内異常電位の成因と機序の解明	村越 伸行	循環器(内)診療グループ	2,600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
TFPI・アンチトロンビン・トロンボモジュリンによる体外循環中の複合的抗凝固戦略	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	900,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
紫外線加工によるMK-7フリー納豆風味食品の開発とワーファリン内服患者への適用	平松 祐司	循環器(外)診療グループ	700,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
放射光微小血管造影を用いた糖尿病心臓における微小冠動脈血流の解析	坂本 裕昭	循環器(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
3Dプリンティング技術による精密心臓モデルを使用した手術シミュレーション技術の新規開発	坂本 裕昭	循環器(外)診療グループ	200,000	補 医学医療系 若手研究者研究支援 補助金(筑波大学)
肺高血圧症における放射光微小血管撮影法を用いた微小血管血流変化と血管内皮細胞障害	徳永 千穂	循環器(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
p53変異型癌細胞におけるp73活性化を応用した新規癌治療の基礎研究	兵頭 一之介	消化器(内)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
生活習慣病を想定した過食肥満マウス開発とNASHへの進展を規定する病態因子の探索	溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	4,940,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
放射線の大腸発がん促進作用に対する食品成分スルフォラフェンの予防効果に関する研究	谷中 昭典	消化器(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
遺伝子レスキューマウスの解析によるNASHを制御する組織・細胞Nrf2の役割解明	正田 純一	消化器(内)診療グループ	7,930,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
転写因子Nrf2の酸化ストレスと自食作用脆弱化の病態制御による高齢者筋萎縮の予防	正田 純一	消化器(内)診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
非アルコール性脂肪性肝疾患の運動療法による肝臓リハビリテーションプログラムの構築	正田 純一	消化器(内)診療グループ	700,000	補 科学研究費補助金 特別研究員奨励費
腫瘍融解ワクシニアウイルスの肝癌幹細胞に対する殺細胞効果の評価	安部井 誠人	消化器(内)診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
蛍光を用いた光学的生検方法の開発	金子 剛	消化器(内)診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
遺伝子レスキューマウス解析による肥満肝発癌を制御する組織・細胞Nrf2の役割解明	石毛 和紀	消化器(内)診療グループ	7,930,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

経口血小板増多剤による肝硬変に対する新規肝再生、線維化改善及び発癌予防法の確立	大河内 信弘	消化器(外)診療グループ	6,500,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(B)
磁性ナノ粒子+腫瘍浸透ペプチドによる難治固形癌の電磁誘導焼灼治療	小田 竜也	消化器(外)診療グループ	2,500,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(B)
膵がん間質消滅治療:自殺遺伝子を導入した間葉系幹細胞によるがん間質の入れ換え	小田 竜也	消化器(外)診療グループ	1,200,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
モノテルペン類による新しい大腸癌治療法の開発	村田 聡一郎	消化器(外)診療グループ	1,300,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
癌細胞とクッパー細胞の相互作用に着目した血行性肝転移メカニズムの解明	近藤 匡	消化器(外)診療グループ	1,400,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
ナノバイオ装置を用いた新規免疫抑制薬感受性試験の開発	福永 潔	消化器(外)診療グループ	1,300,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
血小板を用いた縫合不全をゼロにする手技の開発研究	寺島 秀夫	消化器(外)診療グループ	1,400,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
大腸癌におけるCD44variant9発現の意義と新規診断法の開発	榎本 剛史	消化器(外)診療グループ	1,300,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
Drug Delivery Systemを用いた肝硬変に対する新規治療薬の開発	田村 孝史	消化器(外)診療グループ	1,400,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
S1P, アデノシン, トロンボポエチンを用いたNASHの線維化抑制治療の開発	久倉 勝治	消化器(外)診療グループ	1,600,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
血清エクソソームの機能性RNA発現解析による非B非C肝癌の新規診断法の開発	高野 恵輔	消化器(外)診療グループ	1,500,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
可変3D画像・タッチレスインタフェースを用いた鏡視下手術ナビゲーションの開発	明石 義正	消化器(外)診療グループ	1,400,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
ローズマリーの有効成分に着目した新しい非アルコール性肝炎、肝癌治療法の開発	小川 光一	消化器(外)診療グループ	1,100,000	補	科学研究費補助金 研究活動スタート支援
Patient dependent力覚体感型手術エミュレータ開発	大城 幸雄	消化器(外)診療グループ	1,100,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
統合的ゲノム情報による難治性喘息多様性の分子機構の解明	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	3,510,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(B)
喫煙行動に影響を及ぼす遺伝素因の解明	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	650,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
呼吸器感染症生体応答機構、特に転写応答機構の解明とその治療への応用	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	620,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
大気汚染やディーゼル排気暴露が喘息の発症増悪に及ぼす影響の関する研究調査	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	620,000	委	財団法人 日本自動車研究所 受託研究
前向きコホートによる喘息とCOPD発症に対する危険因子の包括的解析	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ	1,040,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
慢性炎症性呼吸器疾患におけるヘルパーT細胞と炎症性マクロファージのクロストーク	森島 祐子	呼吸器(内)診療グループ	1,300,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
気道リモデリング形成に伴うSiglecを介した好酸球炎症制御経路障害の解明	際本 拓未	呼吸器(内)診療グループ	1,300,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)

新規喘息感受性遺伝子 <i>HAS2</i> および <i>PBMUCL2</i> の喘息Phenotypeに与える影響	檜澤 伸之	呼吸器(内)診療グループ	1,000,000	委 日本アレルギー協会 真鍋奨学助成
アレルギー性気道炎症における細胞応答機構の解明とステロイドの抵抗性治療への応用	石井 幸雄	呼吸器(内)診療グループ	1,000,000	委 日本アレルギー協会 真鍋奨学助成
狭帯域光観察を用いた肺癌胸膜浸潤・胸膜中皮腫病変の術中診断と浸潤メカニズムの解明	佐藤 幸夫	呼吸器(外)診療グループ	5,330,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
肺エアリーク定量モニタリングの臨床応用と気腫に対する新しい治療戦略の構築	酒井 光昭	呼吸器(外)診療グループ	5,070,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
細胞接着分子 <i>CADM1</i> を分子標的とする小細胞肺癌の治療法の開発	菊池 慎二	呼吸器(外)診療グループ	4,160,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
腎臓発生研究成果を臨床医療に応用するための基盤研究-腎疾患モデルと臓器再生モデル	臼井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
被嚢性腹膜硬化症におけるTヘルパー細胞の役割の解明と新規治療法の開発	楊 景堯	腎泌尿器(内)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
慢性腎臓病進行抑制のための医薬連携システムの確立と検証	斎藤 知栄	腎泌尿器(内)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
転写因子 <i>MafB</i> による腎性二次性副甲状腺機能亢進症の制御	森戸 直記	腎泌尿器(内)診療グループ	800,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
慢性腎不全診療最適化による新規透析導入減少実現のための診療システム構築に関する研究	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	11,900,000	委 厚生労働科学委託費 (難治性疾患等実用化研究)
難治性精巣腫瘍における <i>Cyclin/Rb</i> 経路の活性化の意義とその制御機構	末富 崇弘	腎泌尿器(外)診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
多系統動物モデルを用いた尿路上皮癌の発癌進展における腫瘍微小環境の解明	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ	3,057,112	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
尿路上皮癌における新規癌関連遺伝子の同定	西山 博之	腎泌尿器(外)診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
精巣腫瘍の組織分化におけるエピジェネティクス制御の解明	河合 弘二	腎泌尿器(外)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
BCG細胞莢膜成分を用いた、全身投与可能な新規癌治療製剤の開発	宮崎 淳	腎泌尿器(外)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
腎細胞癌の発生と肉腫様変化における <i>RAC2-VAV1</i> シグナルの役割	小島 崇宏	腎泌尿器(外)診療グループ	1,500,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
造精機能障害とエピジェネティクス異常の解明	市岡 大士	腎泌尿器(外)診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
脂肪酸伸長酵素 <i>Elovl6</i> による臓器脂質の質的変容と代謝病態の多臓器的展開	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	4,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
脂肪酸伸長酵素 <i>Elovl6</i> 欠損マウスにおけるシロ糖嗜好性亢進機序の解明	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	2,700,000	補 科学研究費補助金 新学術領域研究 (研究領域提案型)
酸化ストレスを消去する腸管作用型新規ナノ粒子を利用した動脈硬化抑制の試み	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	2,300,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
糖尿病患者の動脈硬化症発症進展における新規予測因子に関する検討	鈴木 浩明	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)

血中脂肪酸濃度を利用した新しい2型糖尿病診療の試行とその有効性の検証	矢藤 繁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,500,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
肝臓内グリコーゲンセンサーの分子同定	矢作 直也	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,700,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
代謝シグナルが投射されるゲノム領域の同定と転写環境調節機構の解明	矢作 直也	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	9,520,000	補	科学研究費補助金 新学術領域研究 (研究領域提案型)
脂肪酸伸長酵素Elovl6によるインフラマソーム制御機構の解明	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,400,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
細胞内脂肪酸組成制御機構の解明と高次脳機能および精神疾患における役割	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	6,000,000	補	科学研究費補助金 若手研究(A)
脂質代謝と小胞体ストレスをつなぐCREBHの非アルコール性脂肪肝発症における役割	小林 和人	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,500,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
骨格筋におけるコレステロール不足がなぜ横紋筋融解症と突然死を引き起こしたのか?	中川 嘉	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	1,700,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
絶食時栄養制御因子CREBHが腸肝循環を介し肥満形成を抑制するメカニズム	中川 嘉	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	3,800,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(B)
ヒト初代培養乳癌幹細胞における浸潤・転移能獲得の分子機構解明	坂東 裕子	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	1,400,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
癌免疫逃避機構の制御による新規分子標的治療の開発のための研究	井口 研子	乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	1,700,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
自己免疫疾患に関する調査研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	29,400,000	補	厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等克服研究)
自己免疫疾患のイノベーション研究	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	40,000,000	委	厚生労働科学委託費 (難治性疾患等実用化研究)
シェーグレン症候群発症の分子免疫学的解析と制御	住田 孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,500,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
関節炎におけるマクロファージと自己免疫応答相互の制御機構の解明	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,690,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
間質性肺炎発症におけるヒトCD161陽性 γ δ 陽性T細胞の関与	後藤 大輔	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
新規疾患「IgG4関連疾患」の病因・病態に迫る免疫遺伝学的アプローチ	坪井 洋人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	2,210,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
自己免疫性関節炎における病原性T細胞の分化制御機構の解析	近藤 裕也	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
新規抗シトルリン化ペプチド抗体の病原性解析ー関節リウマチの病因解明への突破口ー	梅田 直人	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	2,210,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
シェーグレン症候群における抗原特異的治療法の新規構築	浅島 弘充	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
造血器腫瘍におけるTET2遺伝子異常とエピジェネティック制御の解析	千葉 滋	血液診療グループ	5,200,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(B)
悪性リンパ腫を構成する炎症細胞の起源の解明	千葉 滋	血液診療グループ	1,560,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究

悪性リンパ腫における腫瘍細胞と微小環境とのコミュニケーション	千葉 滋	血液診療グループ	5,590,000	補	科学研究費補助金 新学術領域研究 (研究領域提案型)
エピゲノム異常を発端とする濾胞性ヘルパーT細胞の腫瘍化機序の解明	坂田 麻実子	血液診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
純粋巨核球前駆細胞の同定および巨核球造血シグナル制御の解明	横山 泰久	血液診療グループ	2,080,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
Notch-Hes1経路による急性骨髄性白血病抑制機構の解明	加藤 貴康	血液診療グループ	2,080,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
造血不全におけるNestin陽性造血支持細胞の機能解析	小原 直	血液診療グループ	1,560,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
Tet2機能低下によるエピゲノム制御異常を介したリンパ腫発症メカニズムの解明	武藤 秀治	血液診療グループ	2,600,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
RHOA変異陰性タイプ末梢性T細胞リンパ腫の特異的ゲノム診断技術の開発	坂田 麻実子	血液診療グループ	546,000	委	独立行政法人 科学技術振興機構
PTSD及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究	朝田 隆	精神神経診療グループ	91,000,000	補	厚生労働科学研究費補助金 (障害者対策総合研究)
BPSDの症状評価法および治療法の開発と脳内基盤解明を目指した総合的研究	新井 哲明	精神神経診療グループ	9,840,000	補	厚生労働科学研究費補助金 (認知症対策総合研究)
皮膚疾患における制御性B細胞を用いた治療法の開発	藤本 学	皮膚診療グループ	1,820,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
ROR γ t発現がCD4+T細胞の誘導に及ぼす影響の研究	藤澤 康弘	皮膚診療グループ	910,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
制御性B細胞をツールとした皮膚難病の治療戦略	藤本 学	皮膚診療グループ	5,000,000	補	公益財団法人 上原記念生命科学財団
移植片対宿主病様皮膚疾患モデルを用いた強皮症発症メカニズムの探索	沖山 奈緒子	皮膚診療グループ	1,000,000	補	公益財団法人 日本応用酵素協会 (若手研究助成事業)
移植片対宿主病(GVHD)様皮膚粘膜疾患モデルを用いた苔癬反応における表皮アポトーシス機構の解明	沖山 奈緒子	皮膚診療グループ	1,500,000	補	公益財団法人 中富健康科学振興財団
小児におけるB型肝炎の水平感染の実態把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	須磨崎 亮	小児(内)診療グループ	40,000,000	補	厚生労働科学研究費補助金 (肝炎等克服政策研究)
高性能の新規RNAベクターによる血友病遺伝子治療の開発	須磨崎 亮	小児(内)診療グループ	24,999,000	補	厚生労働科学研究費補助金 (再生医療実用化研究)
新規高性能ベクターを生体イメージングで評価し血友病遺伝子治療に応用するための研究	福島 敬	小児(内)診療グループ	1,300,000	補	科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
ジペプチジルペプチダーゼ4活性からみた小児糖尿病の病態および治療に関する研究	鴨田 知博	小児(内)診療グループ	1,300,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
胎児・新生児期に発症する遺伝性不整脈の遺伝的背景と臨床的表現型に関する研究	堀米 仁志	小児(内)診療グループ	1,170,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
新しい心磁図指標を用いた小児の早期再分極症例の突然死リスク評価に関する研究	加藤 愛章	小児(内)診療グループ	1,950,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
Small for gestational age児のキャッチアップに関する研究	齋藤 誠	小児(内)診療グループ	1,430,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)

小児の手指巧緻性機能障害に関する治療法の開発-磁気センサによる定量評価	大戸 達之	小児(内)診療グループ	780,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
エリスロポエチンの先天性横隔膜ヘルニアにおける肺高血圧への有用性の検討	高安 肇	小児(外)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
自家臍帯幹細胞シート移植による先天性横隔膜ヘルニアにける低形成肺の再生	新開 統子	小児(外)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
再生医療的アプローチを用いた新しい横隔膜修復術の開発	瓜田 泰久	小児(外)診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
間質血管細胞群移植による損傷腱組織再生迅速化	関堂 充	形成診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
新しいメタボリックシンドロームモデルマウスを用いた創傷治癒メカニズムの解析	佐々木 薫	形成診療グループ	1,000,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
アルツハイマー病の分子病態とミトコンドリア障害	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	900,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
モデル動物を用いたジフェニルアルシン酸(DPAA)の生体影響	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	15,970,000	委 環境省 平成26年度「ジフェニルアルシン酸等に係る健康影響に関する調査研究」
成人におけるジフェニルアルシン酸等に係る健康影響に関する臨床研究	石井 一弘	脳神経(内)診療グループ	5,080,000	委 環境省 平成26年度「ジフェニルアルシン酸等に係る健康影響に関する調査研究」
認知症患者のバランス障害に対する前庭刺激効果の解明および臨床応用	中馬越 清隆	脳神経(内)診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
ナノ粒子薬物送達システムによる、アルツハイマー病の酸化ストレス消去療法の開発	富所 康志	脳神経(内)診療グループ	600,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
筋萎縮性側索硬化症原因遺伝子とRNA編集酵素との関連カスケードに基づく治療戦略	詫間 浩	脳神経(内)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
多機能レーザー内視鏡治療機器を用いた超低侵襲内視鏡手術	阿久津 博義	脳神経(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
頭部領域の動きに強い撮像法 多施設共同研究	五月女 康作	脳神経(外)診療グループ	500,000	補 日本磁気共鳴専門技術者認定機構MR学術調査研究チーム
歩行様運動中の機能的磁気共鳴画像(fMRI)取得方法の開発	五月女 康作	脳神経(外)診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
腫瘍微小環境に基づいたVEGF抑制を超える脳腫瘍に対する血管新生抑制療法の開発	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	4,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
膠芽腫に対する新規血管新生抑制療法:光線力学療法と合成ペプチド療法	高野 晋吾	脳神経(外)診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
頭頸部血管形成術後再狭窄に対するナノ粒子を用いた診断・治療についての基礎的研究	鶴田 和太郎	脳神経(外)診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
病院併設BNCTにむけた血液・組織内ホウ素分析手法の最適化	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
一過性運動機能障害に対するロボットアシスト・リハビリテーションの有効性検証	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	1,000,000	補 桐仁会臨床医学研究助成金
フラーレン粒子と中性子捕捉反応を用いたがん治療の基礎的検討	松村 明	脳神経(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究

ホウ素中性子線療法用のナノカーボンホウ素キャリアーの開発	松村 明	脳神経(外)診療グループ	230,000	補 産業技術総合研究所と筑波大学の合わせ技ファンド事業
頸部装着型機器による嚥下機能評価と食事介助支援装置の実用化	松村 明	脳神経(外)診療グループ	8,800,000	補 厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究)
病院内加速器中性子捕捉療法確立のための基礎的・臨床的研究	松村 明	脳神経(外)診療グループ	2,470,000	補 科学研究費補助金基盤研究(B)
不活化ウイルス粒子に自家腫瘍ワクチンを併用した脳腫瘍に対する新規免疫療法の確立	松田 真秀	脳神経(外)診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金若手研究(B)
TEMPO-RNPによる脳梗塞再開通療法後における再灌流障害と出血性脳梗塞の予防	丸島 愛樹	脳神経(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金若手研究(B)
中性アミノ酸プレローディングによる中性子捕捉療法(BNCT)の確立	山本 哲哉	脳神経(外)診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
末梢神経欠損間隙の新治療法:末梢神経両断端緩徐伸長法の実用化に向けて	原 友紀	整形診療グループ	1,000,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
ドップラー補償光学型および偏光感受型光干渉断層計による三次元光バイオプシーの開発	大鹿 哲郎	眼診療グループ	3,250,000	補 科学研究費補助金基盤研究(B)
角膜ジストロフィーの分子メカニズムに基づく光線力学療法および予防点眼液の開発	加治 優一	眼診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
薄暮時実用視力計の開発とその臨床的有効性の評価	平岡 孝浩	眼診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
組織シーラントによる新しい網膜剥離手術手技の開発とヒトへの臨床応用	岡本 史樹	眼診療グループ	2,340,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
トレハロースによる結膜癒着防止効果の検討	岡本 芳史	眼診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金若手研究(B)
On/Off機能を備えた近赤外蛍光プローブによる網膜低酸素イメージングの開発	福田 慎一	眼診療グループ	2,370,000	補 科学研究費補助金若手研究(B)
上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	49,920,000	委 厚生労働科学研究委託費(革新的がん医療実用化研究)
子宮頸癌発生過程とHLAクラスIIアレルに関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	1,400,000	補 科学研究費補助金挑戦的萌芽研究
地域産科医療としての先天性心臓疾患胎児健康状態評価システムの新規構築	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	700,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
妊娠・授乳期における医療用医薬品の使用上の注意の在り方に関する研究	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	3,000,000	委 厚生労働科学研究委託費(医薬品等規制調和・評価研究)
婦人科がんの系統的・総合的周術期VTE予防法の確立およびVTE発生機序の解明	佐藤 豊実	婦人・周産期診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
母児間免疫寛容に注目した絨毛膜羊膜炎を伴う早産の予防戦略	小島 真奈	婦人・周産期診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
子宮頸癌におけるHPV型別の病態解析:新たな疾患概念の確立を目指して	松本 光司	婦人・周産期診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)
個別化治療を目指した子宮体癌の遺伝子変異プロファイリング	水口 剛雄	婦人・周産期診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金基盤研究(C)

血清疫学的手法によるヒトパピローマウイルス感染の診断と子宮頸部前癌病変の管理	越智 寛幸	婦人・周産期診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
睡眠時無呼吸症候群による母児病態変動解析	安部 加奈子	婦人・周産期診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
婦人科悪性腫瘍におけるTFの発現と過凝固状態についての研究	櫻井 学	婦人・周産期診療グループ	1,040,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
蝸牛発生、機能維持、蝸牛障害におけるセラミド、スフィンゴ脂質の影響の検討	田渕 経司	耳鼻咽喉診療グループ	700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
麻薬受容体の遺伝子多型とシグナル伝達系に関する革新的臨床および基礎研究	猪股 伸一	麻酔診療グループ	1,170,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
蘇生後症候群へのスタチンの多面効果: 水溶性と脂溶性の比較	中山 慎	麻酔診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
麻酔薬の扁桃体中心核抑制性神経回路への作用の解明	山本 純偉	麻酔診療グループ	1,560,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
口腔がんにおけるlet-7 microRNAの機能解析と臨床応用	武川 寛樹	歯・口腔診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
口腔癌の腫瘍表面分子を標的とするキメラペプチドによる新しいバイオ療法の研究開発	武川 寛樹	歯・口腔診療グループ	4,160,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
骨分化能の高い歯髄由来間葉系幹細胞の単離・同定と効率的な顎骨再生への応用	山縣 憲司	歯・口腔診療グループ	1,430,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
口腔癌におけるシナプス接着因子を標的とした新規抗血管新生療法の探索	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
口腔癌の頸部リンパ節転移を制御するmicroRNAの網羅的探索	長谷川 正午	歯・口腔診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 研究活動スタート支援
エキソソームによるmicroRNAの細胞間輸送システムの解明	大和地 正信	歯・口腔診療グループ	1,690,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
ソーシャルファームにおける復職支援の有効性に関する調査研究	松崎 一葉	保健衛生外来診療グループ	910,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
メコン川流域国における急速なモータリゼーションから子どもの命と健康を守る	市川 政雄	保健衛生外来診療グループ	2,210,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
うつ病の病態と休職制度の検討に関する独自の全国比較研究-金銭補償期間の重要性-	笹原 信一郎	保健衛生外来診療グループ	1,300,000	補 科学研究費補助金 若手研究(A)
ハイパーソニック効果を応用したストレス関連障害の治療効果の研究	森田 展彰	保健衛生外来診療グループ	910,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
依存物質再使用リスク測度の潜在的指標を用いた改良および治療応用	大谷 保和	保健衛生外来診療グループ	1,820,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
敗血症超急性期モデル動物に対するTEMPO-RNPを用いた抗酸化ストレス療法	下條 信威	救急・集中治療診療グループ	1,700,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
TEMPO-RNPによる脳梗塞再開通療法後における再灌流障害と出血性脳梗塞の予防	丸島 愛樹	救急・集中治療診療グループ	1,200,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
Comprehensive Assessment of Prevalence and Trends of Gestational Diabetes Mellitus among Bangladeshi Rural Women: A multidisciplinary investigation from basic epidemiology to genetic screening	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	5,400,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

血管内皮増殖因子VEGF系を基軸とする、敗血症性多臓器不全の治療戦略の研究	ジェスミン サブリナ	救急・集中治療診療グループ	1,500,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
高エネルギー陽子線を用いた次世代型粒子線治療のための基盤研究	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	5,330,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(B)
抗腫瘍免疫を増強する放射線治療法確立のための基礎的研究	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	1,040,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
等価線量をシミュレーションで評価する次世代型BNCT用治療計画システムの開発	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	1,690,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
腫瘍追跡情報をフィードバックする呼吸コーチング法の開発	照沼 利之	放射線腫瘍科診療グループ	650,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
BNCTにおける生体内線量分布計測システムのための基盤技術の研究開発	安岡 聖	放射線腫瘍科診療グループ	520,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
頭頸部癌に対する加速器硼素中性子補足療法の研究	大西 かよ子	放射線腫瘍科診療グループ	1,040,000	補	科学研究費補助金 研究活動スタート支援
陽子線のDNA損傷メカニズムと腫瘍免疫賦活効果を応用した新たながん治療法の研究	坪井 康次	放射線腫瘍科診療グループ	4,810,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(B)
頭頸部がん硼素中性子捕捉療法における加速器線と原子炉線源の臨床的比較検討の研究	粟飯原 輝人	放射線腫瘍科診療グループ	650,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
病院併設型中性子捕捉療法を用いた難治性癌克服の研究	福光 延吉	放射線腫瘍科診療グループ	3,520,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(B)
小児腫瘍に対する陽子線治療後の晩期有害事象予測プログラムの作成	水本 斉志	放射線腫瘍科診療グループ	780,000	補	科学研究費補助金 若手研究(B)
機能画像情報を利用した非アルコール性脂肪性肝疾患の非侵襲的病態評価法の確立	磯辺 智範	放射線腫瘍科診療グループ	2,730,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
次世代がん治療(BNCT)の開発実用化	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	584,964,258	委	関東経済産業局 (つくば国際戦略総合特区)
次世代がん治療:BNCT用治療計画システムの開発による起業挑戦研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	7,360,000	委	独)科学技術振興機構A-Step
次世代粒子線治療研究拠点の形成	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	5,000,000	補	ブレ戦略イニシアチブ (研究拠点提案型)
医療用及び産業工業用加速器中性子源開発のための共同研究	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	1,760,000	補	産学連携イノベーション
ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)によるがん治療機器の開発・実証事業	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	120,000,000	委	財)脳神経疾患研究所
非造影MRIによるステントグラフト内挿術後のエンドリーク検出法の確立	森 健作	放射線診断・IVR診療グループ	500,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
多角的なMRI評価を用いたスポーツアスリートの筋コンディショニングの試み	岡本 嘉一	放射線診断・IVR診療グループ	1,300,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)
Interprofessional PBLを活用した効果的な多職種連携教育パッケージの開発	前野 貴美	総合診療グループ	300,000	補	文部科学省 教育関係共同利用拠点認定 医学教育共同利用拠点 岐阜大学医学部医学教育開発研究センター 多職種連携協働開発事業
大教室で1日のできるチーム医療教育プログラムパッケージの開発と教育効果の検証	前野 貴美	総合診療グループ	1,700,000	補	科学研究費補助金 基盤研究(C)

医師として適切な服装・言動とは？ 医師・患者の横断調査	栗原 宏	総合診療グループ	600,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医、プライマリ・ケア認定医が診療する範囲に関する調査	吉本 尚	総合診療グループ	200,000	補 日本プライマリ・ケア連合学会 日本プライマリ・ケア連合学会若手 チーム研究
非がん疾患の終末期医療の実態に関する調査事業	濱野 淳	総合診療グループ	500,000	補 公益財団法人 日本ホスピス・緩和ケア研究振 興財団
在宅がん患者のQOLに影響を与える要因を明らかにする全国調査	濱野 淳	総合診療グループ	1,500,000	補 公益財団法人 笹川記念保健協力財団
血管保護因子DDAH2に注目した肺腺癌間質形成の分子機構の解明	野口 雅之	病理診断診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
SFN, IGBP1に着目した肺腺癌発生の分子基盤の解明	野口 雅之	病理診断診療グループ	5,460,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)
死後臓器組織からの高品質核酸抽出法の考案:病理解剖の分子生物学的探究基盤の確立	高屋敷 典生	病理診断診療グループ	650,000	補 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究
大腸発癌過程においてHNF4a(P1)発現が消失するメカニズムの解明に向けた研究	菅野 雅人	病理診断診療グループ	2,730,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
初期浸潤肺腺がん凍結組織培養を利用した肺腺がんの悪性化分子機構の解明	竹内 朋代	病理診断診療グループ	1,950,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(C)
結合蛋白に着目したStratifinによる肺腺癌初期悪性化の分子メカニズム解明	柴 綾	病理診断診療グループ	2,080,000	補 科学研究費補助金 若手研究(B)
遺伝子解析、免疫染色を用いた革新的肺癌喀痰検診の癌発見率向上のための研究	南 優子	病理診断診療グループ	2,000,000	委 公益財団法人 日本対がん協会 RFLプロジェクト未来研究助成 会
エクソーム解析による小児喘息発症の個別化医療と創薬のための分子標的遺伝子の探索	野口 恵美子	遺伝診療グループ	3,250,000	補 科学研究費補助金 基盤研究(B)

計200

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5	別紙のとおり			
6				
7				
8				
9				
～				
70				
～				

計218

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3	別紙のとおり			
4				
5				
～				

計245

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Xu D	循環器(内)診療グループ	Anemia and reduced kidney function as risk factors for new onset of atrial fibrillation (from the Ibaraki prefectural health study).	Am J Cardiol. 2015 Feb 1;115(3):328-33. doi: 10.1016/j.amjcard.2014.10.041. Epub 2014 Nov 12.
2	Kuroki K	循環器(内)診療グループ	Hybrid epicardial and endocardial ablation of a persistent atrial tachycardia arising from the Marshall bundle: the importance of a detailed analysis of the local potentials.	Heart Vessels. 2015 May;30(3):416-9. doi: 10.1007/s00380-014-0498-3. Epub 2014 Apr 1.
3	Seo Y	循環器(内)診療グループ	Three-dimensional speckle tracking echocardiography.	Circ J. 2014;78(6):1290-301. Epub 2014 Apr 28.
4	Naruse Y	循環器(内)診療グループ	Systematic treatment approach to ventricular tachycardia in cardiac sarcoidosis.	Circ Arrhythm Electrophysiol. 2014 Jun;7(3):407-13. doi: 10.1161/CIRCEP.113.000734. Epub 2014 May 16.
5	Seo Y	循環器(内)診療グループ	Current status of 3-dimensional speckle tracking echocardiography: a review from our experiences.	J Cardiovasc Ultrasound. 2014 Jun;22(2):49-57. doi: 10.4250/jcu.2014.22.2.49. Epub 2014 Jun 30.
6	Adachi T	循環器(内)診療グループ	Novel use of the ultra-short-acting intravenous β 1-selective blocker landiolol for supraventricular tachyarrhythmias in patients with congestive heart failure.	Heart Vessels. 2014 Jul;29(4):464-9. doi: 10.1007/s00380-013-0377-3. Epub 2013 Jun 26.
7	Miyauchi Y	循環器(内)診療グループ	Effects of selective endothelin (ET)-A receptor antagonist versus dual ET-A/B receptor antagonist on hearts of streptozotocin-treated diabetic rats.	Life Sci. 2014 Aug 28;111(1-2):6-11. doi: 10.1016/j.lfs.2014.06.008. Epub 2014 Jun 20.
8	Machino T	循環器(内)診療グループ	Anti-hypertensive effect of radiofrequency renal denervation in spontaneously hypertensive rats.	Life Sci. 2014 Aug 21;110(2):86-92. doi: 10.1016/j.lfs.2014.06.015. Epub 2014 Jun 28.
9	Abe D	循環器(内)診療グループ	Miraculous catch of a broken coronary guidewire tip in the right internal carotid artery.	Int J Cardiol. 2014 Sep;176(1):e1-2. doi: 10.1016/j.ijcard.2014.06.073. Epub 2014 Jul 6.
10	Tajiri K	循環器(内)診療グループ	Impact of rivaroxaban compared with warfarin on the coagulation status in Japanese patients with non-valvular atrial fibrillation: a preliminary analysis of the prothrombin fragment 1+2 levels.	J Cardiol. 2015 Mar;65(3):191-6. doi: 10.1016/j.jicc.2014.08.006. Epub 2014 Sep 2.
11	Murakoshi N	循環器(内)診療グループ	Prognostic impact of supraventricular premature complexes in community-based health checkups: the Ibaraki Prefectural Health Study.	Eur Heart J. 2015 Jan 14;36(3):170-8. doi: 10.1093/eurheartj/ehu407. Epub 2014 Oct 29.
12	Tajiri K	循環器(内)診療グループ	Mechanisms explaining the late "catch-up" phenomenon after sirolimus-eluting stent implantation.	Int J Cardiol. 2014 Nov 15;177(1):44-5. doi: 10.1016/j.ijcard.2014.09.116. Epub 2014 Sep 30.
13	Tajiri K	循環器(内)診療グループ	Endothelin receptor antagonist exacerbates autoimmune myocarditis in mice.	Life Sci. 2014 Nov 24;118(2):288-96. doi: 10.1016/j.lfs.2014.01.007. Epub 2014 Jan 18.
14	Hoshi T	循環器(内)診療グループ	Kounis syndrome manifesting as coronary aneurysm and very late coronary stent thrombosis.	JACC Cardiovasc Interv. 2014 Nov;7(11):e173-6. doi: 10.1016/j.jcin.2014.05.031. Epub 2014 Nov 17.
15	Adachi T	循環器(内)診療グループ	Left septal atrial tachycardia after open-heart surgery: relevance to surgical approach, anatomical and electrophysiological characteristics associated with catheter ablation, and procedural outcomes.	Circ Arrhythm Electrophysiol. 2015 Feb;8(1):59-67. doi: 10.1161/CIRCEP.114.001680. Epub 2014 Nov 21.
16	Machino-Ohtsuka T	循環器(内)診療グループ	Tenascin-C aggravates autoimmune myocarditis via dendritic cell activation and Th17 cell differentiation.	J Am Heart Assoc. 2014 Nov 5;3(6):e001052. doi: 10.1161/JAHA.114.001052.
17	Machino T	循環器(内)診療グループ	Counterclockwise heart rotation affects variation in successful ablation line position in common atrial flutter.	Circ J. 2014;78(4):859-64. Epub 2014 Feb 14.
18	Kuga K	循環器(内)診療グループ	Prognosis of myocardial infarction with left ventricular dysfunction in the coronary revascularization era. Subanalysis of the Japanese Coronary Artery Disease (JCAD)	Circ J. 2014;78(10):2483-91. Epub 2014 Aug 19.
19	Sato K	循環器(内)診療グループ	Prognostic value of global longitudinal strain in paradoxical low-flow, low-gradient severe aortic stenosis with preserved ejection fraction.	Circ J. 2014;78(11):2750-9. Epub 2014 Sep 30.
20	Abe D	循環器(内)診療グループ	Life-threatening acute heart failure due to primary cardiac undifferentiated pleomorphic sarcoma.	Intern Med. 2014;53(16):1775-7. Epub 2014 Aug 15.
21	Nogami A	循環器(内)診療グループ	Mapping and ablating ventricular premature contractions that trigger ventricular fibrillation: trigger elimination and substrate modification.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2015 Jan;26(1):110-5. doi: 10.1111/jce.12547. Epub 2014 Oct 27.
22	Nogami A	循環器(内)診療グループ	Satisfactory implantable cardioverter-defibrillator programming for shock reduction. No pain, no gain.	Circ J. 2014;78(11):2619-21. Epub 2014 Oct 10.
23	Nogami A	循環器(内)診療グループ	Trigger elimination of polymorphic ventricular tachycardia and ventricular fibrillation by catheter ablation: trigger and substrate modification.	J Biomed Res. 2015 Jan;29(1):44-51. doi: 10.7555/JBR.29.20140156. Epub 2015 Jan 1.
24	Kuga K.	循環器(内)診療グループ	Prophylactic implantation of implantable cardioverter-defibrillator for Japanese patients with heart failure - problem of "underuse".	Circ J. 2015;79(2):297-9. doi: 10.1253/circ.CJ-14-1394. Epub 2015 Jan 9.
25	Sato A.	循環器(内)診療グループ	Coronary plaque imaging by coronary computed tomography angiography.	World J Radiol. 2014 May 28;6(5):148-59. doi: 10.4329/wjr.v6.i5.148.
26	Sato A.	循環器(内)診療グループ	Predicting cardiac and all-cause death in asymptomatic patients on hemodialysis - importance of training in interpretation of β -methyl iodophenyl-pentadecanoic acid single-photon emission computed tomography (BMIPP SPECT) imaging.	Circ J. 2015;79(1):47-8. doi: 10.1253/circ.CJ-14-1238. Epub 2014 Nov 28.
27	Machino-Ohtsuka T	循環器(内)診療グループ	Tenascin-C aggravates autoimmune myocarditis via dendritic cell activation and Th17 cell differentiation.	J Am Heart Assoc. 2014 Nov 5;3(6):e001052. doi: 10.1161/JAHA.114.001052.
28	Sakamoto H	循環器(外)診療グループ	A new technique of in vivo synchrotron radiation coronary microangiography in the rat.	Acta Radiol. 2014 Sep 26. pii: 0284185114549570. [Epub ahead of print]
29	Hiramatsu Y	循環器(外)診療グループ	Memorial address for Motokazu Hori (1929-2013).	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2014 May;62(5):269-70. doi: 10.1007/s11748-014-0384-z.

30	Sato M	循環器(外)診療グループ	Shrinkage temperature and anti-calcification property of triglycidylamine-crosslinked autologous tissue.	J Artif Organs. 2014 Sep;17(3):265-71. doi: 10.1007/s10047-014-0768-y. Epub 2014 May 4.
31	Hu J	循環器(外)診療グループ	Role of activated macrophages in experimental Fusarium solani keratitis.	Exp Eye Res. 2014 Dec;129:57-65. doi: 10.1016/j.exer.2014.10.014. Epub 2014 Oct 18.
32	Hiyama K	消化器(内)診療グループ	Primary rectal diffuse large B-cell lymphoma associated with ulcerative colitis: a case	Clin Case Rep. 2015 Mar;3(3):150-5. doi: 10.1002/ccr3.185. Epub 2014 Dec 4.
33	Oh S	消化器(内)診療グループ	Acceleration training for managing nonalcoholic fatty liver disease: a pilot study.	Ther Clin Risk Manag. 2014 Nov 7;10:925-36. doi: 10.2147/TCRM.S68322. eCollection 2014.
34	Oh S	消化器(内)診療グループ	Moderate to vigorous physical activity volume is an important factor for managing nonalcoholic fatty liver disease: a retrospective study.	Hepatology. 2015 Apr;61(4):1205-15. doi: 10.1002/hep.27544. Epub 2015 Feb 17.
35	Kawamoto T	消化器(内)診療グループ	Overexpression and gene amplification of EGFR, HER2, and HER3 in biliary tract carcinomas, and the possibility for therapy with the HER2-targeting antibody	J Gastroenterol. 2015 Apr;50(4):467-79. doi: 10.1007/s00535-014-0984-5. Epub 2014 Aug 12.
36	Oh S	消化器(内)診療グループ	Abdominal obesity: causal factor or simply a symptom of obesity-related health risk.	Diabetes Metab Syndr Obes. 2014 Jul 3;7:289-96. doi: 10.2147/DMSO.S64546. eCollection 2014.
37	Oh S	消化器(内)診療グループ	Regular exercise coupled to diet regimen accelerates reduction of hepatic steatosis and associated pathological conditions in nonalcoholic fatty liver disease.	Metab Syndr Relat Disord. 2014 Jun;12(5):290-8. doi: 10.1089/met.2013.0143. Epub 2014 Apr 1.
38	Moriwaki T	消化器(内)診療グループ	A randomized phase II study comparing S-1 plus weekly split-dose cisplatin with S-1 plus standard-dose cisplatin as first-line chemotherapy for advanced gastric cancer.	Gastric Cancer. 2014 Apr;17(2):354-61. doi: 10.1007/s10120-013-0284-4. Epub 2013 Jul 13.
39	Yamada T	消化器(内)診療グループ	Risk factors for submucosal and lymphovascular invasion in gastric cancer looking indicative for endoscopic submucosal dissection.	Gastric Cancer. 2014 Oct;17(4):692-6. doi: 10.1007/s10120-013-0323-1. Epub 2013 Dec 10.
40	Yamamoto Y	消化器(内)診療グループ	Effect of combined treatment with the epirubicin-incorporating micelles (NC-6300) and 1,2-diaminocyclohexane platinum (II)-incorporating micelles (NC-4016) on a human gastric cancer model.	Int J Cancer. 2014 Jul 1;135(1):214-23. doi: 10.1002/ijc.28651. Epub 2013 Dec 18.
41	Tamura M	消化器(内)診療グループ	Mitochondrial reactive oxygen species accelerate gastric cancer cell invasion.	J Clin Biochem Nutr. 2014 Jan;54(1):12-7. doi: 10.3164/jcfn.13-36. Epub 2013 Nov 9.
42	Ito H	消化器(内)診療グループ	Reactive oxygen species involved cancer cellular specific 5-aminolevulinic acid uptake in gastric epithelial cells.	J Clin Biochem Nutr. 2014 Mar;54(2):81-5. doi: 10.3164/jcfn.13-98. Epub 2014 Mar 1.
43	Endo S	消化器(内)診療グループ	Effectiveness of an endoscopic biopsy procedure using EUS-FNA and EMR-C for diagnosing adenocarcinoma arising from ectopic pancreas: two case reports and a	Intern Med. 2014;53(10):1055-62.
44	Moriwaki T	消化器(内)診療グループ	Survival analysis of platinum-refractory patients with advanced esophageal cancer treated with docetaxel or best supportive care alone: a retrospective study.	Dis Esophagus. 2014 Nov-Dec;27(8):737-43. doi: 10.1111/dote.12246. Epub 2014 Jun 11.
45	Suzuki H	消化器(内)診療グループ	A case of cap polyposis remission by betamethasone enema after antibiotics therapy including Helicobacter pylori eradication.	J Gastrointest Liver Dis. 2014 Jun;23(2):203-6.
46	Tamura M	消化器(内)診療グループ	Fluorescence-based co-culture of normal and cancerous cells as an indicator of therapeutic effects in cancer.	Eur J Pharm Sci. 2014 Oct 15;63:1-7. doi: 10.1016/j.ejps.2014.06.014. Epub 2014 Jul 1.
47	Hirai S	消化器(内)診療グループ	Antitumor effects of a sirtuin inhibitor, tenovin-6, against gastric cancer cells via death receptor 5 up-regulation.	PLoS One. 2014 Jul 17;9(7):e102831. doi: 10.1371/journal.pone.0102831. eCollection 2014.
48	Tamura M	消化器(内)診療グループ	Acetaldehyde is an oxidative stressor for gastric epithelial cells.	J Clin Biochem Nutr. 2014 Jul;55(1):26-31. doi: 10.3164/jcfn.14-12. Epub 2014 May 30.
49	Ito H	消化器(内)診療グループ	Mitochondrial reactive oxygen species accelerate the expression of heme carrier protein 1 and enhance photodynamic cancer therapy effect.	J Clin Biochem Nutr. 2014 Jul;55(1):67-71. doi: 10.3164/jcfn.14-27. Epub 2014 Jun 20.
50	Hirose M	消化器(内)診療グループ	MDM4 expression as an indicator of TP53 reactivation by combined targeting of MDM2 and MDM4 in cancer cells without TP53 mutation.	Oncoscience. 2014 Nov 25;1(12):830-43. eCollection 2014.
51	Saito R	消化器(内)診療グループ	Qing Dai attenuates nonsteroidal anti-inflammatory drug-induced mitochondrial reactive oxygen species in gastrointestinal epithelial cells.	J Clin Biochem Nutr. 2015 Jan;56(1):8-14. doi: 10.3164/jcfn.14-59. Epub 2014 Nov 1.
52	Yamamoto Y	消化器(内)診療グループ	Enhanced antitumor effect of anti-tissue factor antibody-conjugated epirubicin-incorporating micelles in xenograft models.	Cancer Sci. 2015 May;106(5):627-34. doi: 10.1111/cas.12645. Epub 2015 Mar 23.
53	Sugaya A	消化器(内)診療グループ	[A retrospective analysis of cetuximab or panitumumab monotherapy for KRAS wild-type metastatic colorectal cancer in clinical practice].	Gan To Kagaku Ryoho. 2015 Feb;42(2):189-93.
54	Ogawa K	消化器(内)診療グループ	Current treatment status of polycystic liver disease in Japan.	Hepatol Res. 2014 Oct;44(11):1110-8. doi: 10.1111/hepr.12286. Epub 2014 Jan
55	Nowatari T	消化器(外)診療グループ	Sphingosine 1-phosphate has anti-apoptotic effect on liver sinusoidal endothelial cells and proliferative effect on hepatocytes in a paracrine manner in human.	Hepatol Res. 2014 Nov 4. doi: 10.1111/hepr.12446. [Epub ahead of print]
56	Matsumura H	消化器(外)診療グループ	Kupffer cells decrease metastasis of colon cancer cells to the liver in the early stage.	Int J Oncol. 2014 Dec;45(6):2303-10. doi: 10.3892/ijo.2014.2662. Epub 2014 Sep 18.
57	Miyamoto R	消化器(外)診療グループ	Three-dimensional imaging identified the accessory bile duct in a patient with cholangiocarcinoma.	World J Gastroenterol. 2014 Aug 28;20(32):11451-5. doi: 10.3748/wjg.v20.i32.11451.
58	Oshiro Y	消化器(外)診療グループ	Mode of swine hepatitis E virus infection and replication in primary human hepatocytes.	J Gen Virol. 2014 Dec;95(Pt 12):2677-82. doi: 10.1099/vir.0.068452-0. Epub 2014 Aug 11.
59	Ogawa K	消化器(外)診療グループ	Interaction of kupffer cells and platelets determines the severity of ischemia-reperfusion injury in steatosis.	Tohoku J Exp Med. 2014;232(2):105-13.

60	Kiwamoto T	呼吸器(内)診療グループ	Endogenous airway mucins carry glycans that bind Siglec-F and induce eosinophil apoptosis.	J Allergy Clin Immunol. 2015 May;135(5):1329-1340.e9. doi: 10.1016/j.jaci.2014.10.027. Epub 2014 Dec 12.
61	Yamada H	呼吸器(内)診療グループ	Heritability of pulmonary function estimated from genome-wide SNPs in healthy Japanese adults.	Respir Investig. 2015 Mar;53(2):60-7. doi: 10.1016/j.resinv.2014.10.004. Epub 2014 Nov 14.
62	Tamura T	呼吸器(内)診療グループ	Specific organ metastases and survival in metastatic non-small-cell lung cancer.	Mol Clin Oncol. 2015 Jan;3(1):217-221. Epub 2014 Sep 4.
63	Kagohashi K	呼吸器(内)診療グループ	Blood-patch pleurodesis for pneumothorax in lung fibrosis due to progressive systemic sclerosis: A case report.	Exp Ther Med. 2014 Dec;8(6):1919-1921. Epub 2014 Sep 29.
64	Yatagai Y	呼吸器(内)診療グループ	Genomewide association study identifies HAS2 as a novel susceptibility gene for adult asthma in a Japanese population.	Clin Exp Allergy. 2014 Nov;44(11):1327-34. doi: 10.1111/cea.12415.
65	Ota K	呼吸器(内)診療グループ	Potential involvement of IL-17F in asthma.	J Immunol Res. 2014;2014:602846. doi: 10.1155/2014/602846. Epub 2014 Apr
66	Kurishima K	呼吸器(内)診療グループ	Adenosquamous cell lung cancer successfully treated with gefitinib: A case report.	Mol Clin Oncol. 2014 Mar;2(2):282-284. Epub 2013 Dec 9.
67	Kurishima K	呼吸器(内)診療グループ	Pleural mass originating from a gonadal teratoma.	Intern Med. 2014;53(8):919. Epub 2014 Apr 15.
68	Kagohashi K	呼吸器(内)診療グループ	Long-term safety of budesonide/formoterol for the treatment of elderly patients with bronchial asthma.	Exp Ther Med. 2014 Apr;7(4):1005-1009. Epub 2014 Jan 30.
69	Yageta Y	呼吸器(内)診療グループ	Carbocysteine reduces virus-induced pulmonary inflammation in mice exposed to cigarette smoke.	Am J Respir Cell Mol Biol. 2014 May;50(5):963-73. doi: 10.1165/rcmb.2012-0292OC.
70	Suzuki H	呼吸器(外)診療グループ	Long-term outcomes after surgical resection of pulmonary metastases from colorectal cancer.	Ann Thorac Surg. 2015 Feb;99(2):435-40. doi: 10.1016/j.athoracsur.2014.09.027. Epub 2014 Dec 10.
71	Kobayashi N	呼吸器(外)診療グループ	The influence of serum sodium concentration on prognosis in resected non-small cell lung cancer.	Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Jun;62(4):338-43. doi: 10.1055/s-0033-1359713. Epub 2013 Dec 2.
72	Sakai M	呼吸器(外)診療グループ	Video-assisted thoracoscopic conservative repair of postoperative lobar torsion.	Ann Thorac Surg. 2014 Nov;98(5):e119-21. doi: 10.1016/j.athoracsur.2014.07.080. Epub 2014 Oct 30.
73	Ichimura H	呼吸器(外)診療グループ	Thrombus formation in the pulmonary vein stump after left upper lobectomy: a report of four cases.	Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2014;20 Suppl:613-6. doi: 10.5761/atcs.cr.13-00079. Epub 2013 Jun 18.
74	Nagai K	腎泌尿器(内)診療グループ	Annual decline in estimated glomerular filtration rate is a risk factor for cardiovascular events independent of proteinuria.	Nephrology (Carlton). 2014 Sep;19(9):574-80. doi: 10.1111/nep.12286.
75	Nagai K	腎泌尿器(内)診療グループ	Annual decline in pentraxin 3 is a risk of vascular access troubles in hemodialysis	Int J Nephrol. 2014;2014:297954. doi: 10.1155/2014/297954. Epub 2014 Dec
76	Usui J	腎泌尿器(内)診療グループ	Clinicopathological spectrum of kidney diseases in cancer patients treated with vascular endothelial growth factor inhibitors: a report of 5 cases and review of literature.	Hum Pathol. 2014 Sep;45(9):1918-27. doi: 10.1016/j.humpath.2014.05.015. Epub 2014 Jun 12.
77	Okubo R	腎泌尿器(内)診療グループ	Cost-effectiveness of obstructive sleep apnea screening for patients with diabetes or chronic kidney disease.	Sleep Breath. 2015 Feb 3. [Epub ahead of print]
78	Okubo R	腎泌尿器(内)診療グループ	Health-related quality of life and prognosis in patients with chronic kidney disease: a 3-year follow-up study.	Clin Exp Nephrol. 2014 Oct;18(5):697-703. doi: 10.1007/s10157-013-0901-x. Epub 2013 Nov 6.
79	Morito N	腎泌尿器(内)診療グループ	Overexpression of MafB in podocytes protects against diabetic nephropathy.	J Am Soc Nephrol. 2014 Nov;25(11):2546-57. doi: 10.1681/ASN.2013090993. Epub 2014 Apr 10.
80	Yamagata K	腎泌尿器(内)診療グループ	Prevalence and incidence of chronic kidney disease stage G5 in Japan.	Clin Exp Nephrol. 2015 Feb;19(1):54-64. doi: 10.1007/s10157-014-0978-x. Epub 2014 May 13.
81	Nagai K	腎泌尿器(内)診療グループ	Quantitative evaluation of proteinuria for health checkups is more efficient than the dipstick method.	Clin Exp Nephrol. 2015 Feb;19(1):152-3. doi: 10.1007/s10157-014-1034-6. Epub 2014 Sep 24.
82	Nagai K	腎泌尿器(内)診療グループ	Successful use of tocilizumab in a case of multicentric Castleman's disease and end-stage renal disease.	Ther Apher Dial. 2014 Apr;18(2):210-1. doi: 10.1111/1744-9987.12128. Epub 2013 Oct 31.
83	Kurobe M	腎泌尿器(外)診療グループ	Paclitaxel, ifosfamide, and cisplatin (TIP) as salvage and consolidation chemotherapy for advanced germ cell tumor.	J Cancer Res Clin Oncol. 2015 Jan;141(1):127-33. doi: 10.1007/s00432-014-1760-x. Epub 2014 Jul 26.
84	Matsuoka T	腎泌尿器(外)診療グループ	Long-term outcomes of combined androgen blockade therapy in stage IV prostate cancer.	J Cancer Res Clin Oncol. 2015 Apr;141(4):759-65. doi: 10.1007/s00432-014-1856-3. Epub 2014 Oct 18.
85		乳腺・甲状腺・内分泌(外)診療グループ	Issues of concern in risk assessment, genetic counseling, and genetic testing of younger breast cancer patients in Japan.	Breast Cancer. 2014 Nov;21(6):656-63. doi: 10.1007/s12282-013-0477-z. Epub 2013 Jun 11.
86	Hagiwara S	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Pulmonary nocardiosis in patients with connective tissue disease: A report of two	Intractable Rare Dis Res. 2014 Feb;3(1):25-8. doi: 10.5582/irdr.3.25.
87	Segawa S	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Involvement of CD161+ V δ 1+ γ δ T cells in systemic sclerosis: association with interstitial pneumonia.	Rheumatology (Oxford). 2014 Dec;53(12):2259-69. doi: 10.1093/rheumatology/keu246. Epub 2014 Jun 27.
88	Matsumoto I	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Regulatory roles of tumor necrosis factor alpha-induced proteins (TNFAIPs) 3 and 9 in arthritis.	Clin Immunol. 2014 Jul;153(1):73-8. doi: 10.1016/j.clim.2014.03.015. Epub 2014 Apr 1.
89	Ebe H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Clinical features of patients with IgG4-related disease complicated with perivascular lesions.	Mod Rheumatol. 2015 Jan;25(1):105-9. doi: 10.3109/14397595.2014.903596. Epub 2014 Apr 23.
90	Tanaka Y	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Antigen-specific over-expression of human cartilage glycoprotein 39 on CD4+ CD25+ forkhead box protein 3+ regulatory T cells in the generation of glucose-6-phosphate isomerase-induced arthritis.	Clin Exp Immunol. 2014 Aug;177(2):419-27. doi: 10.1111/cei.12349.
91	Tsuboi H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Anti-M3 muscarinic acetylcholine receptor antibodies in patients with primary biliary cirrhosis.	Hepatol Res. 2014 Dec;44(14):E471-9. doi: 10.1111/hepr.12346. Epub 2014 May 13.

92	Iizuka M	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Prophylactic effect of the oral administration of transgenic rice seeds containing altered peptide ligands of type II collagen on rheumatoid arthritis.	Biosci Biotechnol Biochem. 2014 Oct;78(10):1662-8. doi: 10.1080/09168451.2014.936349. Epub 2014 Jul 10.
93	Hirota T	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Analysis of the usefulness of magnetic resonance imaging evaluation for rheumatoid arthritis treated with biological agents in the early phase: retrospective observation of abatacept and infliximab.	Clin Exp Rheumatol. 2014 Nov-Dec;32(6):991. Epub 2014 Sep 5.
94	Tsuboi H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	DNA microarray analysis of labial salivary glands in IgG4-related disease: comparison with Sjögren's syndrome.	Arthritis Rheumatol. 2014 Oct;66(10):2892-9. doi: 10.1002/art.38748.
95	Iizuka M	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Suppression of collagen-induced arthritis by oral administration of transgenic rice seeds expressing altered peptide ligands of type II collagen.	Plant Biotechnol J. 2014 Oct;12(8):1143-52. doi: 10.1111/pbi.12223. Epub 2014 Jul 2.
96	Tsuboi H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Efficacy and safety of abatacept for patients with Sjögren's syndrome associated with rheumatoid arthritis: rheumatoid arthritis with orenicia trial toward Sjögren's syndrome Endocrinopathy (ROSE) trial-an open-label, one-year, prospective study-Interim analysis of 32 patients for 24 weeks.	Mod Rheumatol. 2015 Mar;25(2):187-93. doi: 10.3109/14397595.2014.951144. Epub 2014 Sep 11.
97	Yokosawa M	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Usefulness of MR imaging of the parotid glands in patients with secondary Sjögren's syndrome associated with rheumatoid arthritis.	Mod Rheumatol. 2015 May;25(3):415-20. doi: 10.3109/14397595.2014.958892. Epub 2014 Oct 8.
98	Takahashi H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Predictors of the response to treatment in acute lupus hemophagocytic syndrome.	Lupus. 2015 Jun;24(7):659-68. doi: 10.1177/0961203314559086. Epub 2014 Nov
99	Takahashi H	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	Differences in FDG PET/CT between EORA and PMR.	Mod Rheumatol. 2014 Nov 17:1-6. [Epub ahead of print]
100	Iizuka M	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	A crucial role of ROR γ t in the development of spontaneous Sialadenitis-like Sjögren's syndrome.	J Immunol. 2015 Jan 1;194(1):56-67. doi: 10.4049/jimmunol.1401118. Epub 2014 Nov 19.
101	Sakata-Yanagimoto M	血液診療グループ	Disease-specific mutations in mature lymphoid neoplasms: recent advances.	Cancer Sci. 2014 Jun;105(6):623-9. doi: 10.1111/cas.12408. Epub 2014 May 12.
102	Kato T	血液診療グループ	Hes1 suppresses acute myeloid leukemia development through FLT3 repression.	Leukemia. 2015 Mar;29(3):576-85. doi: 10.1038/leu.2014.281. Epub 2014 Sep
103	Muto H	血液診療グループ	Reduced TET2 function leads to T-cell lymphoma with follicular helper T-cell-like features in mice.	Blood Cancer J. 2014 Dec 12;4:e264. doi: 10.1038/bcj.2014.83.
104	Sakata-Yanagimoto M	血液診療グループ	Multistep tumorigenesis in peripheral T cell lymphoma.	Int J Hematol. 2015 Jan 28. [Epub ahead of print]
105	Nishikii H	血液診療グループ	Unipotent megakaryopoietic pathway bridging hematopoietic stem cells and mature megakaryocytes.	Stem Cells. 2015 Mar 5. doi: 10.1002/stem.1985. [Epub ahead of print]
106	Lee SY	血液診療グループ	Prognosis factors in Japanese elderly patients with primary central nervous system lymphoma treated with a nonradiation, intermediate-dose methotrexate-containing	Oncol Res Treat. 2014;37(7-8):378-83. doi: 10.1159/000363435. Epub 2014 May 30.
107	Nakamoto-Matsubara R	血液診療グループ	Detection of the G17V RHOA mutation in angioimmunoblastic T-cell lymphoma and related lymphomas using quantitative allele-specific PCR.	PLoS One. 2014 Oct 13;9(10):e109714. doi: 10.1371/journal.pone.0109714. eCollection 2014.
108	Sakata-Yanagimoto M	血液診療グループ	Notch2 signaling in mast cell development and distribution in the intestine.	Methods Mol Biol. 2015;1220:79-89. doi: 10.1007/978-1-4939-1568-2_6.
109	Nguyen TB	血液診療グループ	Double somatic mosaic mutations in TET2 and DNMT3A-origin of peripheral T cell lymphoma in a case.	Ann Hematol. 2015 Jul;94(7):1221-3. doi: 10.1007/s00277-015-2332-0. Epub 2015 Feb 17.
110	Kurita N	血液診療グループ	Impact of length of cryopreservation and origin of cord blood units on hematologic recovery following cord blood transplantation.	Bone Marrow Transplant. 2015 Jun;50(6):818-21. doi: 10.1038/bmt.2015.56. Epub 2015 Mar 23.
111	Fujisawa Y	皮膚診療グループ	Dermatofibrosarcoma protuberans mimicking cutaneous sarcoidosis in a patient with lung sarcoidosis.	Eur J Dermatol. 2014 Mar-Apr;24(2):276-7. doi: 10.1684/ejd.2014.2310.
112	Fujisawa Y	皮膚診療グループ	Case of pigmented epithelioid melanocytoma with lymph node metastases.	J Dermatol. 2014 May;41(5):452-3. doi: 10.1111/1346-8138.12482.
113	Okiyama N	皮膚診療グループ	Programmed cell death 1 (PD-1) regulates the effector function of CD8 T cells via PD-L1 expressed on target keratinocytes.	J Autoimmun. 2014 Sep;53:1-9. doi: 10.1016/j.jaut.2014.06.005. Epub 2014 Jul 18.
114	Fujisawa Y	皮膚診療グループ	Chemoradiotherapy with taxane is superior to conventional surgery and radiotherapy in the management of cutaneous angiosarcoma: a multicentre, retrospective study.	Br J Dermatol. 2014 Dec;171(6):1493-500. doi: 10.1111/bjd.13110. Epub 2014 Nov 10.
115	Kubota N	皮膚診療グループ	Angiosarcoma of the scalp in a patient with systemic sclerosis.	J Dermatol. 2015 Jan;42(1):102-4. doi: 10.1111/1346-8138.12705. Epub 2014 Nov 26.
116	Okiyama N	皮膚診療グループ	Experimental myositis inducible with transfer of dendritic cells presenting a skeletal muscle C protein-derived CD8 epitope peptide.	Int Immunol. 2015 Jan 10. pii: dxv001. [Epub ahead of print]
117	Okiyama N	皮膚診療グループ	Clinical perspectives and murine models of lichenoid tissue reaction/interface dermatitis.	J Dermatol Sci. 2015 Jun;78(3):167-172. doi: 10.1016/j.jdermsci.2015.03.001. Epub 2015 Mar 9.
118	Maruyama T	皮膚診療グループ	(-)Epigallocatechin-3-gallate suppresses liver metastasis of human colorectal cancer.	Oncol Rep. 2014 Feb;31(2):625-33. doi: 10.3892/or.2013.2925. Epub 2013 Dec
119	Lin L	小児(内)診療グループ	Significant associations between hemostatic/fibrinolytic systems and accumulation of cardiovascular risk factors in Japanese elementary schoolchildren.	Blood Coagul Fibrinolysis. 2015 Jan;26(1):75-80. doi: 10.1097/MBC.0000000000000187.
120	Horigome H	小児(内)診療グループ	Current status and future direction of cardiac resynchronization therapy for congenital heart disease and pediatric patients.	Circ J. 2014;78(7):1579-81. Epub 2014 Jun 13.
121	Nakamura A	小児(内)診療グループ	Right ventricular remodeling due to pulmonary regurgitation is associated with reduced left ventricular free wall strain in surgically repaired tetralogy of fallot.	Circ J. 2014;78(8):1960-6. Epub 2014 May 23.
122	Jimbo T	小児(外)診療グループ	Nevoid basal cell carcinoma syndrome with a unilateral giant ovarian fibroma in a Japanese 6-year-old girl.	Eur J Pediatr. 2014 May;173(5):667-70. doi: 10.1007/s00431-013-2200-7. Epub 2013 Nov 21.
123	Sasaki K	形成診療グループ	A divided and sliding postauricular myocutaneous flap for anterior auricular reconstruction.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2015 Feb;68(2):e33-4. doi: 10.1016/j.jbjs.2014.09.039. Epub 2014 Sep 28.

124	Aizawa T	形成診療グループ	Modification of the Nuss Procedure: The Single-incision Technique.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2014 Dec 5;2(11):e256. doi: 10.1097/GOX.0000000000000225. eCollection 2014.
125	Nishijima A	形成診療グループ	Pseudo-Hirschsprung's disease with rectal hypoganglionosis: an autopsy case of circulatory failure due to severe constipation.	Leg Med (Tokyo). 2015 May;17(3):177-9. doi: 10.1016/j.legalmed.2014.11.005. Epub 2014 Nov 28.
126	Shioya A	脳神経(内)診療グループ	Neurodegenerative changes in patients with clinical history of bipolar disorders.	Neuropathology. 2015 Jun;35(3):245-53. doi: 10.1111/neup.12191. Epub 2015 Mar 30.
127	Shioya A	脳神経(内)診療グループ	Sixth nerve palsy associated with obstruction in Dorello's canal, accompanied by nodular type muscular sarcoidosis.	J Neurol Sci. 2014 Aug 15;343(1-2):203-5. doi: 10.1016/j.jns.2014.05.055. Epub 2014 Jun 2.
128	Ishii K	脳神経(内)診療グループ	Glossopharyngeal nerve and vagus nerve palsies associated with influenza vaccination.	Intern Med. 2014;53(3):259-61.
129	Shioya A	脳神経(内)診療グループ	Amelioration of acylcarnitine profile using bezafibrate and riboflavin in a case of adult-onset glutaric acidemia type 2 with novel mutations of the electron transfer flavoprotein dehydrogenase (ETF/DH) gene.	J Neurol Sci. 2014 Nov 15;346(1-2):350-2. doi: 10.1016/j.jns.2014.08.040. Epub 2014 Aug 30.
130	Takao T	脳神経(内)診療グループ	Improvement of gait ability with a short-term intensive gait rehabilitation program using body weight support treadmill training in community dwelling chronic poststroke	J Phys Ther Sci. 2015 Jan;27(1):159-63. doi: 10.1589/jpts.27.159. Epub 2015 Jan 9.
131	Aoki T	脳神経(外)診療グループ	A multicenter phase I/II study of the BCNU implant (Gliadel®) Wafer for Japanese patients with malignant gliomas.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2014;54(4):290-301. Epub 2013 Nov 29.
132	Ishikawa E	脳神経(外)診療グループ	Intraoperative pathological diagnosis in 205 glioma patients in the pre-BCNU wafer era: retrospective analysis with intraoperative implantation of BCNU wafers in mind.	Brain Tumor Pathol. 2014 Jul;31(3):156-61. doi: 10.1007/s10014-014-0177-1. Epub 2014 Feb 18.
133	Takano S	脳神経(外)診療グループ	Correlations of vascular architecture and angiogenesis with pituitary adenoma	Int J Endocrinol. 2014;2014:989574. doi: 10.1155/2014/989574. Epub 2014 Nov
134	Takano S	脳神経(外)診療グループ	Bevacizumab in Japanese patients with malignant glioma: from basic research to clinical trial.	Onco Targets Ther. 2014 Sep 5;7:1551-62. doi: 10.2147/OTT.S67621. eCollection 2014.
135	Tsuda K	脳神経(外)診療グループ	Is Simpson grade I removal necessary in all cases of spinal meningioma? Assessment of postoperative recurrence during long-term follow-up.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2014;54(11):907-13. Epub 2014 Apr 23.
136	Tsuruta W	脳神経(外)診療グループ	Endovascular treatment of spinal vascular lesion in Japan: Japanese Registry of Neuroendovascular Therapy (JR-NET) and JR-NET2.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2014;54(1):72-8. Epub 2013 Dec 5.
137	Masuda Y1	脳神経(外)診療グループ	Usefulness of subtraction of 3D T2WI-DRIVE from contrast-enhanced 3D T1WI: preoperative evaluations of the neurovascular anatomy of patients with neurovascular compression syndrome.	AJNR Am J Neuroradiol. 2015 Feb;36(2):317-22. doi: 10.3174/ajnr.A4130. Epub 2014 Oct 9.
138	Sakakura K	脳神経(外)診療グループ	Trigeminal neuralgia in a patient with Marfan syndrome: case report.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2015;55(1):101-5. doi: 10.2176/nmc.cr.2013-0072. Epub 2013 Dec 27.
139	Ishikawa E	脳神経(外)診療グループ	Phase I/IIa trial of fractionated radiotherapy, temozolomide, and autologous formalin-fixed tumor vaccine for newly diagnosed glioblastoma.	J Neurosurg. 2014 Sep;121(3):543-53. doi: 10.3171/2014.5.JNS132392. Epub 2014 Jul 4.
140	Matsuda M	脳神経(外)診療グループ	Exophytic cerebellar glioblastoma in the cerebellopontine angle: case report and review of the literature.	J Neurol Surg Rep. 2014 Aug;75(1):e67-72. doi: 10.1055/s-0033-1364167. Epub 2014 Mar 12.
141	Takano S	脳神経(外)診療グループ	Interferon- β inhibits glioma angiogenesis through downregulation of vascular endothelial growth factor and upregulation of interferon inducible protein 10.	Int J Oncol. 2014 Nov;45(5):1837-46. doi: 10.3892/ijo.2014.2620. Epub 2014 Aug 25.
142	Yamamoto Y	脳神経(外)診療グループ	Intra-tumor distribution of metallofullerene using micro-particle induced X-ray emission (PIXE).	Appl Radiat Isot. 2014 Jun;88:114-7. doi: 10.1016/j.apradiso.2013.12.037. Epub 2014 Jan 8.
143	Okamoto E	脳神経(外)診療グループ	Variability in amplitude and stimulation threshold values in motor evoked potential (MEP) monitoring during the resection of brain lesions.	Clin Neurophysiol. 2015 Jun;126(6):1271-8. doi: 10.1016/j.clinph.2014.10.005. Epub 2014 Oct 12.
144	Ito Y	脳神経(外)診療グループ	Exacerbation of major artery aneurysms after revascularization in patients with moyamoya disease: two case reports.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2014;54(10):832-5. Epub 2014 Sep 29.
145	Sugaya H	整形外科グループ	Spinal epidural lipomatosis in lumbar magnetic resonance imaging scans.	Orthopedics. 2014 Apr;37(4):e362-6. doi: 10.3928/01477447-20140401-57.
146	Sugaya H	整形外科グループ	Percutaneous autologous concentrated bone marrow grafting in the treatment for nonunion.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2014 Jul;24(5):671-8. doi: 10.1007/s00590-013-1369-9. Epub 2013 Nov 26.
147	Okamoto Y	眼診療グループ	Vision-related quality of life and visual function following intravitreal bevacizumab injection for persistent diabetic macular edema after vitrectomy.	Jpn J Ophthalmol. 2014 Jul;58(4):369-74. doi: 10.1007/s10384-014-0323-7. Epub 2014 Apr 29.
148	Beheregaray S	眼診療グループ	Influence on visual function of forward light scattering associated with subsurface nanoglistenings in intraocular lenses.	J Cataract Refract Surg. 2014 Jul;40(7):1147-54. doi: 10.1016/j.jcrs.2013.10.047. Epub 2014 May 27.
149	Okamoto Y	眼診療グループ	Refractive changes after lens-sparing vitrectomy for rhegmatogenous retinal detachment.	Am J Ophthalmol. 2014 Sep;158(3):544-9.e1. doi: 10.1016/j.ajo.2014.05.018. Epub 2014 May 27.
150	Okamoto F	眼診療グループ	Reply: To PMID 24099274.	Am J Ophthalmol. 2014 Jun;157(6):1323. doi: 10.1016/j.ajo.2014.02.022.
151	Yamamoto T	眼診療グループ	Influence of simple myopic against-the-rule and with-the-rule astigmatism on visual acuity in eyes with monofocal intraocular lenses.	Jpn J Ophthalmol. 2014 Sep;58(5):409-14. doi: 10.1007/s10384-014-0337-1. Epub 2014 Jul 8.
152	Okamoto F	眼診療グループ	Time course of changes in aniseikonia and foveal microstructure after vitrectomy for epiretinal membrane.	Ophthalmology. 2014 Nov;121(11):2255-60. doi: 10.1016/j.ophtha.2014.05.016. Epub 2014 Jul 8.
153	Okamoto F	眼診療グループ	Aniseikonia and Foveal Microstructure after Retinal Detachment Surgery.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2014 Jul 17. pii: IOVS-14-14618. doi: 10.1167/iovs.14-14618. [Epub ahead of print]
154	Fukuda S	眼診療グループ	Noninvasive evaluation of phase retardation in blebs after glaucoma surgery using anterior segment polarization-sensitive optical coherence tomography.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2014 Jul 29;55(8):5200-6. doi: 10.1167/iovs.14-14474.

155	Hiraoka T	眼診療グループ	Influence of ocular wavefront aberrations on axial length elongation in myopic children treated with overnight orthokeratology.	Ophthalmology. 2015 Jan;122(1):93-100. doi: 10.1016/j.ophtha.2014.07.042. Epub 2014 Sep 16.
156	Oshika T	眼診療グループ	"Another stimulating meeting on basic and clinical corneal research," 19th Annual Meeting of the Kyoto Cornea Club, November 29-30, 2013.	Cornea. 2014 Nov;33 Suppl 11:S1-2. doi: 10.1097/ICO.0000000000000244.
157	Sugiura Y	眼診療グループ	Contrast sensitivity and foveal microstructure following vitrectomy for epiretinal membrane.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2014 Nov 4;55(11):7594-600. doi: 10.1167/iovs.14-14035.
158	Okamoto F	眼診療グループ	Stereopsis and Optical Coherence Tomography Findings After Epiretinal Membrane	Retina. 2015 Feb 9. [Epub ahead of print]
159	Kaji Y	眼診療グループ	Immunohistochemical localization of d-β-aspartic acid-containing proteins in pterygium.	J Pharm Biomed Anal. 2015 Feb 7. pii: S0731-7085(15)00096-5. doi: 10.1016/j.jpba.2015.01.057. [Epub ahead of print]
160	Ueno Y	眼診療グループ	Corneal thickness profile and posterior corneal astigmatism in normal corneas.	Ophthalmology. 2015 Jun;122(6):1072-8. doi: 10.1016/j.ophtha.2015.01.021. Epub 2015 Mar 11.
161	Matsumoto K	婦人・周産期診療グループ	Monitoring the impact of a national HPV vaccination program in Japan (MINT Study): rationale, design and methods.	Jpn J Clin Oncol. 2014 Oct;44(10):1000-3. doi: 10.1093/jjco/hyu097. Epub 2014 Aug 6.
162	Satoh T	婦人・周産期診療グループ	Gynecologic Cancer InterGroup (GCIg) consensus review for small cell carcinoma of the cervix.	Int J Gynecol Cancer. 2014 Nov;24(9 Suppl 3):S102-8. doi: 10.1097/IGC.0000000000000262.
163	Satoh T	婦人・周産期診療グループ	Administration of standard-dose BEP regimen (bleomycin+etoposide+cisplatin) is essential for treatment of ovarian yolk sac tumour.	Eur J Cancer. 2015 Feb;51(3):340-51. doi: 10.1016/j.ejca.2014.12.004. Epub 2015 Jan 2.
164	Nakamura Y	婦人・周産期診療グループ	Optimizing biopsy procedures during colposcopy for women with abnormal cervical cancer screening results: a multicenter prospective study.	Int J Clin Oncol. 2014 Aug 22. [Epub ahead of print]
165	Nakamura Y	婦人・周産期診療グループ	HPV genotyping for triage of women with abnormal cervical cancer screening results: a multicenter prospective study.	Int J Clin Oncol. 2015 Feb 5. [Epub ahead of print]
166	Sakurai M	婦人・周産期診療グループ	High Pretreatment Plasma D-dimer Levels Are Associated With Poor Prognosis in Patients With Ovarian Cancer Independently of Venous Thromboembolism and Tumor	Int J Gynecol Cancer. 2015 May;25(4):593-8. doi: 10.1097/IGC.0000000000000415.
167	Yamashita S	麻酔診療グループ	Efficacy of the transillumination method for appropriate tracheal tube placement in small children: a randomized controlled trial.	J Clin Anesth. 2015 Feb;27(1):12-6. doi: 10.1016/j.jclinane.2014.09.003. Epub 2014 Nov 20.
168	Tokuwaka J	麻酔診療グループ	The relationship between age and minimum alveolar concentration of sevoflurane for maintaining bispectral index below 50 in children.	Anaesthesia. 2015 Mar;70(3):318-22. doi: 10.1111/anae.12890. Epub 2014 Oct 1.
169	Seto K	歯・口腔診療グループ	Targeting interleukin-4 receptor alpha by hybrid Peptide for novel biliary tract cancer therapy.	Int J Hepatol. 2014;2014:584650. doi: 10.1155/2014/584650. Epub 2014 Apr 27.
170	Yamagata K	歯・口腔診療グループ	Severe Pulmonary Suppuration with Infection-Induced Systemic Inflammatory Response Syndrome following Tongue Cancer Surgery in a Patient Undergoing Tocilizumab Therapy for Rheumatoid Arthritis.	Case Rep Dent. 2014;2014:649086. doi: 10.1155/2014/649086. Epub 2014 Apr 29.
171	Azuma M	歯・口腔診療グループ	Mandibular reconstruction using plates prebent to fit rapid prototyping 3-dimensional printing models ameliorates contour deformity.	Head Face Med. 2014 Oct 23;10:45. doi: 10.1186/1746-160X-10-45.
172	Doki S	保健衛生外来診療グループ	Psychological approach of occupational health service to sick leave due to mental problems: a systematic review and meta-analysis.	Int Arch Occup Environ Health. 2014 Nov 8. [Epub ahead of print]
173	Oki M	救急・集中治療診療グループ	Dual blockade of endothelin action exacerbates up-regulated VEGF angiogenic signaling in the heart of lipopolysaccharide-induced endotoxemic rat model.	Life Sci. 2014 Nov 24;118(2):364-9. doi: 10.1016/j.lfs.2014.02.008. Epub 2014 Feb 16.
174	Jesmin S	救急・集中治療診療グループ	Effects of protease activated receptor (PAR)2 blocking peptide on endothelin-1 levels in kidney tissues in endotoxemic rat model.	Life Sci. 2014 May 2;102(2):127-33. doi: 10.1016/j.lfs.2014.03.013. Epub 2014 Mar 16.
175	Kamiyama J	救急・集中治療診療グループ	Assessment of circulatory and pulmonary endothelin-1 levels in a lavage-induced surfactant-depleted lung injury rabbit model with repeated open endotracheal suctioning and hyperinflation.	Life Sci. 2014 Nov 24;118(2):370-8. doi: 10.1016/j.lfs.2014.04.001. Epub 2014 Apr 13.
176	Seki Y	救急・集中治療診療グループ	Significant reversal of cardiac upregulated endothelin-1 system in a rat model of sepsis by landiolol hydrochloride.	Life Sci. 2014 Nov 24;118(2):357-63. doi: 10.1016/j.lfs.2014.04.005. Epub 2014 Apr 13.
177	Ogura Y	救急・集中治療診療グループ	Potential amelioration of upregulated renal HIF-1α-endothelin-1 system by landiolol hydrochloride in a rat model of endotoxemia.	Life Sci. 2014 Nov 24;118(2):347-56. doi: 10.1016/j.lfs.2014.05.007. Epub 2014 May 17.
178	Shimojo N	救急・集中治療診療グループ	Fish oil constituent eicosapentaenoic acid inhibits endothelin-induced cardiomyocyte hypertrophy via PPAR-α.	Life Sci. 2014 Nov 24;118(2):173-8. doi: 10.1016/j.lfs.2014.04.025. Epub 2014 May 2.
179	Ikeda G	救急・集中治療診療グループ	Anatomical risk factors for ischemic lesions associated with carotid artery stenting.	Interv Neuroradiol. 2014 Dec;20(6):746-54. doi: 10.15274/INR-2014-10075. Epub 2014 Dec 5.
180	Kumada H	放射線腫瘍科診療グループ	Project for the development of the linac based NCT facility in University of Tsukuba.	Appl Radiat Isot. 2014 Jun;88:211-5. doi: 10.1016/j.apradiso.2014.02.018. Epub 2014 Feb 22.
181	Aihara T	放射線腫瘍科診療グループ	BNCT for advanced or recurrent head and neck cancer.	Appl Radiat Isot. 2014 Jun;88:12-5. doi: 10.1016/j.apradiso.2014.04.007. Epub 2014 Apr 21.
182	Kanemoto A	放射線腫瘍科診療グループ	RBE and OER within the spread-out Bragg peak for proton beam therapy: in vitro study at the Proton Medical Research Center at the University of Tsukuba.	J Radiat Res. 2014 Sep;55(5):1028-32. doi: 10.1093/jrr/rru043. Epub 2014 May 29.
183	Takada K	放射線腫瘍科診療グループ	WHOLE-BODY DOSE EVALUATION WITH AN ADAPTIVE TREATMENT PLANNING SYSTEM FOR BORON NEUTRON CAPTURE THERAPY.	Radiat Prot Dosimetry. 2014 Dec 16. pii: ncu357. [Epub ahead of print]
184	Aihara T	放射線腫瘍科診療グループ	Boron neutron capture therapy for advanced salivary gland carcinoma in head and neck.	Int J Clin Oncol. 2014;19(3):437-44. doi: 10.1007/s10147-013-0580-3. Epub 2013 Jun 25.

185	Sato E	放射線腫瘍科診療グループ	Intracellular boron accumulation in CHO-K1 cells using amino acid transport control.	Appl Radiat Isot. 2014 Jun;88:99-103. doi: 10.1016/j.apradiso.2013.12.015. Epub 2013 Dec 24.
186	Kumada H	放射線腫瘍科診療グループ	Project for the development of the linac based NCT facility in University of Tsukuba.	Appl Radiat Isot. 2014 Jun;88:211-5. doi: 10.1016/j.apradiso.2014.02.018. Epub 2014 Feb 22.
187	Fujibuchi T	放射線腫瘍科診療グループ	Measurement of activity distribution using photostimulable phosphor imaging plates in decommissioned 10 MV medical linear accelerator.	Health Phys. 2014 Aug;107(2 Suppl 2):S158-62. doi: 10.1097/HP.0000000000000131.
188	Fuse H	放射線腫瘍科診療グループ	Total skin electron beam therapy using an inclinable couch on motorized table and a compensating filter.	Rev Sci Instrum. 2014 Jun;85(6):064301. doi: 10.1063/1.4882336.
189	Sugawara K	放射線腫瘍科診療グループ	Proton beam therapy for a patient with a giant thymic carcinoid tumor and severe superior vena cava syndrome.	Rare Tumors. 2014 May 13;6(2):5177. doi: 10.4081/rt.2014.5177. eCollection 2014.
190	Nakai K	放射線腫瘍科診療グループ	[Application of robotics for neurosurgical rehabilitation].	No Shinkei Geka. 2014 Jul;42(7):605-13.
191	Fukumitsu N	放射線腫瘍科診療グループ	Dose distribution resulting from changes in aeration of nasal cavity or paranasal sinus cancer in the proton therapy.	Radiother Oncol. 2014 Oct;113(1):72-6. doi: 10.1016/j.radonc.2014.08.024. Epub 2014 Sep 19.
192	Ohno T	放射線腫瘍科診療グループ	Comparison of dose-volume histograms between proton beam and X-ray conformal radiotherapy for locally advanced non-small-cell lung cancer.	J Radiat Res. 2015 Jan;56(1):128-33. doi: 10.1093/jrr/rru082. Epub 2014 Nov 3.
193	Horiguchi H	放射線腫瘍科診療グループ	Estimation of relative biological effectiveness for boron neutron capture therapy using the PHITS code coupled with a microdosimetric kinetic model.	J Radiat Res. 2015 Mar;56(2):382-90. doi: 10.1093/jrr/rru109. Epub 2014 Nov 26.
194	Gerelchuluun A	放射線腫瘍科診療グループ	The major DNA repair pathway after both proton and carbon-ion radiation is NHEJ, but the HR pathway is more relevant in carbon ions.	Radiat Res. 2015 Mar;183(3):345-56. doi: 10.1667/RR13904.1. Epub 2015 Mar 4.
195	Ishikawa H	放射線腫瘍科診療グループ	[Concurrent proton therapy and chemotherapy for locally advanced cancers].	Gan To Kagaku Ryoho. 2015 Feb;42(2):148-53.
196	Ishikawa H	放射線腫瘍科診療グループ	Proton beam therapy combined with concurrent chemotherapy for esophageal cancer.	Anticancer Res. 2015 Mar;35(3):1757-62.
197	Oh S	放射線腫瘍科診療グループ	Therapeutic effect of hybrid training of voluntary and electrical muscle contractions in middle-aged obese women with nonalcoholic fatty liver disease: a pilot trial.	Ther Clin Risk Manag. 2015 Mar 4;11:371-80. doi: 10.2147/TCRM.S75109. eCollection 2015.
198	Sun L	放射線腫瘍科診療グループ	Direct measurement of a patient's entrance skin dose during pediatric cardiac catheterization.	J Radiat Res. 2014 Nov;55(6):1122-30. doi: 10.1093/jrr/rru050. Epub 2014 Jun 26.
199	Ohkawa A	放射線腫瘍科診療グループ	Proton beam therapy for unresectable intrahepatic cholangiocarcinoma.	J Gastroenterol Hepatol. 2015 May;30(5):957-63. doi: 10.1111/jgh.12843.
200	Yamamoto T	放射線腫瘍科診療グループ	Influence of echo time in quantitative proton MR spectroscopy using LCModel.	Magn Reson Imaging. 2015 Jun;33(5):644-8. doi: 10.1016/j.mri.2015.01.015. Epub 2015 Jan 23.
201	Makishima H	放射線腫瘍科診療グループ	Comparison of adverse effects of proton and X-ray chemoradiotherapy for esophageal cancer using an adaptive dose-volume histogram analysis.	J Radiat Res. 2015 May;56(3):568-76. doi: 10.1093/jrr/rrv001. Epub 2015 Mar 9.
202	Oh S	放射線腫瘍科診療グループ	Therapeutic effect of hybrid training of voluntary and electrical muscle contractions in middle-aged obese women with nonalcoholic fatty liver disease: a pilot trial.	Ther Clin Risk Manag. 2015 Mar 4;11:371-80. doi: 10.2147/TCRM.S75109. eCollection 2015.
203	Hiyama T	放射線診断・IVR診療グループ	Optic chiasmal edema observed on T2-weighted MR images: a reversible finding in obstructive hydrocephalus.	Jpn J Radiol. 2015 Mar;33(3):140-5. doi: 10.1007/s11604-015-0393-6. Epub 2015 Jan 29.
204	Hoshiai S	放射線診断・IVR診療グループ	Congenital focal lymphedema as a diagnostic clue to tuberous sclerosis complex: report of two cases diagnosed by ultrasound.	Skeletal Radiol. 2015 Jan 24. [Epub ahead of print]
205	Nagai M	放射線診断・IVR診療グループ	Magnetic resonance-based visualization of thermal ablative margins around hepatic tumors by means of systemic ferucarbotran administration before radiofrequency ablation: animal study to reveal the connection between excess iron deposition and T2*-weighted hypointensity in ablative margins.	Invest Radiol. 2015 Dec;50(6):376-83. doi: 10.1097/RLI.0000000000000137.
206	Okamoto Y	放射線診断・IVR診療グループ	Changes in diffusion tensor imaging (DTI) eigenvalues of skeletal muscle due to hybrid exercise training.	Magn Reson Imaging. 2014 Dec;32(10):1297-300. doi: 10.1016/j.mri.2014.07.002. Epub 2014 Jul 31.
207	Koganemaru H	細菌学的診断診療グループ	A case of secondary syphilis demonstrating nephrotic syndrome and a solitary intrahepatic mass in a human immunodeficiency virus-1-infected patient.	J Infect Chemother. 2015 Jan;21(1):62-4. doi: 10.1016/j.jiac.2014.07.013. Epub 2014 Aug 7.
208	Hamano J	総合診療グループ	Inappropriate prescribing among elderly home care patients in Japan: prevalence and risk factors.	J Prim Care Community Health. 2014 Apr 1;5(2):90-6. doi: 10.1177/2150131913518346. Epub 2014 Jan 7.
209	Hamano J	総合診療グループ	Prospective clarification of the utility of the palliative prognostic index for patients with advanced cancer in the home care setting.	Am J Hosp Palliat Care. 2014 Dec;31(8):820-4. doi: 10.1177/1049909113504982. Epub 2013 Sep 16.
210	Nakamura R	総合診療グループ	Epidermal growth factor receptor mutations: effect on volume doubling time of non-small-cell lung cancer patients.	J Thorac Oncol. 2014 Sep;9(9):1340-4. doi: 10.1097/JTO.0000000000000022.
211	Gomi H	総合診療グループ	Routine blood cultures in the management of pyelonephritis in pregnancy for improving outcomes.	Cochrane Database Syst Rev. 2015 Feb 13;2:CD009216. doi: 10.1002/14651858.CD009216.pub2.
212	Ito M	総合診療グループ	Can we predict future depression in residents before the start of clinical training?	Med Educ. 2015 Feb;49(2):215-23. doi: 10.1111/medu.12620.
213	Nakazawa K	総合診療グループ	Palliative care physicians' practices and attitudes regarding advance care planning in palliative care units in Japan: a nationwide survey.	Am J Hosp Palliat Care. 2014 Nov;31(7):699-709. doi: 10.1177/1049909113507328. Epub 2013 Oct 10.
214	Song H	遺伝診療グループ	A case report of de novo missense FOXP1 mutation in a non-Caucasian patient with global developmental delay and severe speech impairment.	Clin Case Rep. 2015 Feb;3(2):110-3. doi: 10.1002/ccr3.167. Epub 2014 Nov 24.

215	Takeshita S	遺伝診療グループ	Asian sand dust aggregate causes atopic dermatitis-like symptoms in Nc/Nga mice.	Allergy Asthma Clin Immunol. 2015 Jan 23;11(1):3. doi: 10.1186/s13223-015-0068-y. eCollection 2015.
216	Nanatsue K	遺伝診療グループ	Influence of MLR1 promoter polymorphism on expression levels and the phenotype of atopy.	J Hum Genet. 2014 Sep;59(9):480-3. doi: 10.1038/jhg.2014.57. Epub 2014 Jul 10.
217	Doki K	薬剤部	Stereoselective analysis of flecainide enantiomers using reversed-phase liquid chromatography for assessing CYP2D6 activity.	Biomed Chromatogr. 2014 Sep;28(9):1193-8. doi: 10.1002/bmc.3143. Epub 2014 Feb 13.
218	Hosono T	薬剤部	Variables influencing patient satisfaction for hypnotics: difference between zolpidem and brotizolam.	J Clin Pharm Ther. 2014 Oct;39(5):507-10. doi: 10.1111/jcpt.12174. Epub 2014 May 14.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	塚田 亨	循環器(外)診療グループ	肺動脈原発血管内膜肉腫に対する外科治療の経験	日本血管外科学会雑誌 (0918-6778)23巻3号 Page743-747(2014.04)
2	丹下 善隆	消化器(内)診療グループ	カプセル内視鏡で診断し得た高齢者の出血性Meckel憩室の1例	Progress of Digestive Endoscopy (1348-9844)85巻1号 Page100-
3	小林 真理子	消化器(内)診療グループ	シスプラチン(CDDP)+ペムレキセド(PEM)療法が奏効した上皮型悪性腹膜中皮腫の1	癌と化学療法 (0385-0684)41巻3号 Page361-364(2014.03)
4	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ	下痢型過敏性腸症候群患者におけるラモセトロン塩酸塩の服用状況と頓用の有用性	新薬と臨牀 (0559-8672)63巻2号 Page180-184(2014.02)
5	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ	クローン病におけるインフリキシマブ投与時間短縮の安全性	新薬と臨牀 (0559-8672)63巻1号 Page126-128(2014.01)
6	溝上 裕士	消化器(内)診療グループ	【高齢化時代の薬剤起因性消化管傷害-NSAIDs/抗血栓薬への対策-】高齢者における	消化器の臨床 (1344-3070)17巻6号 Page535-540(2014.12)
7	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ	研修では教えてくれない!!ンテクニカルスキル(第4回) 仕事の教え方	Gノート (2188-3033)1巻4号 Page584-588(2014.10)
8	齋藤 梨絵	消化器(内)診療グループ	ライブイメージングによるアスピリン起因性小腸傷害発症機序解明	G.I.Research (0918-9408)22巻4号 Page400-401(2014.08)
9	森脇 俊和	消化器(内)診療グループ	【胆癌の化学療法の最前線】進行胆道癌に対する初回化学療法の実態調査とgemcitabine+cisplatin+S-1併用療法の試み	消化器内科 (1884-2895)58巻6号 Page777-783(2014.06)
10	齋藤 梨絵	消化器(内)診療グループ	漢方薬青黛による活性酸素消去を介したNSAID起因性の消化管障害予防効果	潰瘍 (0916-3301)41巻 Page61(2014.05)
11	丹下 善隆	消化器(内)診療グループ	カプセル内視鏡で診断し得た高齢者の出血性Meckel憩室の1例	Progress of Digestive Endoscopy (1348-9844)85巻1号 Page100-
12	鈴木 英雄	消化器(内)診療グループ	研修では教えてくれない!!ンテクニカルスキル(第4回) 仕事の教え方	Gノート (2188-3033)1巻4号 Page584-588(2014.10)
13	佐野 直樹	消化器(外)診療グループ	茨城県における肝細胞癌疫学調査	肝臓 (0451-4203)55巻12号 Page767-770(2014.12)
14	古川 健一郎	消化器(外)診療グループ	横行結腸漿膜より発生したデスマイド腫瘍の1例	日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)75巻10号 Page2795-2800(2014.10)
15	下村 治	消化器(外)診療グループ	鈍的腹部外傷により胆嚢内出血をきたした1例	日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)73巻9号 Page2334-2338(2012.09)
16	釘持 明	消化器(外)診療グループ	スパーサー挿入術により消化管が近接する腫瘍に陽子線治療を施行した6例	日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)75巻5号 Page1164-1168(2014.05)
17	稲垣 勇紀	消化器(外)診療グループ	術前化学療法を施行した異所性癌の1例	日本臨床外科学会雑誌 (1345-2843)75巻3号 Page805-811(2014.03)
18	近藤 匡	消化器(外)診療グループ	Q&A X線編 イレウス(腸閉塞)	看護技術 (0449-752X)61巻1号 Page91-92(2015.01)
19	近藤 匡	消化器(外)診療グループ	Q&A エコー編 胆石発作	看護技術 (0449-752X)61巻1号 Page89-90(2015.01)
20	寺島 秀夫	消化器(外)診療グループ	用語解説 Trophic feeding	外科と代謝・栄養 (0389-5564)49巻1号 Page53-57(2015.02)
21	寺島秀夫	消化器(外)診療グループ	【これだけは知っておきたい! 内科医のための栄養療法】実地臨床で遭遇する栄養管理	内科 (0022-1961)115巻1号 Page35-44(2015.01)
22	寺島秀夫	消化器(外)診療グループ	【創傷の予防と治療のための栄養療法】創傷治療における糖代謝のかかわり 高血糖による諸問題	WOC Nursing 2巻7号 Page26-38(2014.07)
23	阿部 悠人	呼吸器(内)診療グループ	基礎疾患を有しない若年症例にみられた上葉肺腫瘍の3例	新薬と臨牀 (0559-8672)63巻3号 Page356-362(2014.03)
24	加藤 幹朗	呼吸器(内)診療グループ	クラミジア肺炎に対しレノキササン/ホルモテロール吸入療法が奏効した1例	新薬と臨牀 (0559-8672)63巻3号 Page363-366(2014.03)
25	佐藤 浩昭	呼吸器(内)診療グループ	両側下腿浮腫に柴苓湯が有効であった肺腺がんの1例	漢方と診療 (1884-5991)5巻3号 Page230(2014.11)
26	阿部 悠人	呼吸器(内)診療グループ	Photo Report 下腿浮腫が受診契機のひとつとなり診断された肺腺がんの1例	内科 (0022-1961)115巻3号 Page462(2015.03)
27	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ	超高齢社会における誤嚥性肺炎の予防と治療-誤嚥性肺炎は夜作られる-	日本臨床内科医会誌 (0914-9627)29巻4号 Page525-529(2014.12)
28	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ	【感染症診療update】(II章)主要な臓器感染症 肺炎 誤嚥性肺炎	日本医師会雑誌 (0021-4493)143巻特別2 PageS140-S141(2014.10)
29	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ	【呼吸器感染症2015】宿主側の要因と呼吸器感染症 医療・介護に関連した呼吸器	日本胸部臨床 (0385-3667)73巻増刊 PageS117-S122(2014.08)
30	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ	【これからの高齢者肺炎診療マネジメント】高齢者肺炎の基本的知識 現状から発症メカニズムまで	日本医事新報 (0385-9215)4710号 Page20-26(2014.08)
31	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ	【内科疾患 最新の治療 明日への指針】(第1章)呼吸器 嚥下性肺炎	内科 (0022-1961)113巻6号 Page1031-1032(2014.06)
32	寺本 信嗣	呼吸器(内)診療グループ	誤嚥性肺炎の診断法の開発と新治療戦略	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 (1881-7319)24巻1号 Page7-
33	松山 政史	呼吸器(内)診療グループ	臨床的に問題となる非結核性抗酸菌 動物実験モデルから考える肺MAC症の難治	結核 (0022-9776)89巻3号 Page269(2014.03)
34	松山 政史	呼吸器(内)診療グループ	肺MAC感染におけるT-betの役割	日本呼吸器学会誌 (2186-5876)3巻増刊 Page316(2014.03)
35	中井 滋	腎泌尿器(内)診療グループ	わが国の慢性透析療法の現況(2012年12月31日現在)	日本透析医学会雑誌 (1340-3451)47巻1号 Page1-56(2014.01)
36	森山 憲明	腎泌尿器(内)診療グループ	【内科救急のファーストタッチ】疾患編 腎臓疾患 慢性腎臓病(CKD)の急性増悪	診断と治療 (0370-999X)102巻Suppl. Page326-332(2014.03)
37	森戸 直記	腎泌尿器(内)診療グループ	【CKDと水電解質】CKDの糸球体病変による水電解質異常	Fluid Management Renaissance (2186-3008)4巻1号 Page16-20(2014.01)
38	臼井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	医学と医療の最前線 急速進行性糸球体腎炎	日本内科学会雑誌 (0021-5384)103巻10号 Page2587-2593(2014.10)
39	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	【血液透析ガイドラインを考える】血液透析導入についての期待される今後の研究	腎と透析 (0385-2156)76巻5号 Page682-685(2014.05)
40	齋藤 知栄	腎泌尿器(内)診療グループ	【血液透析ガイドラインを考える】透析導入期における腎機能の評価と導入の準備	腎と透析 (0385-2156)76巻5号 Page665-669(2014.05)
41	森山 憲明	腎泌尿器(内)診療グループ	【降圧目標値をめぐって】腎障害合併高血圧の降圧目標をめぐって	血圧 (1340-4598)21巻11号 Page944-948(2014.11)
42	臼井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	【糸球体疾患-新たな概念と治療の進歩】急速進行性腎炎症候群	腎と透析 (0385-2156)76巻1号 Page51-54(2014.01)
43	山縣 邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	【日常診療に必要な慢性腎臓病(CKD)の最新の知識と医療連携】日本のCKD、 末期慢性腎不全患者数の実態	日本医師会雑誌 (0021-4493)143巻11号 Page2321-2325(2015.02)
44	永井 恵	腎泌尿器(内)診療グループ	腎デナベーション-新展開はあるか? 慢性腎臓病を合併する高血圧への展開はある か?	循環器内科 (1884-2909)76巻1号 Page47-52(2014.07)
45	甲斐 平康	腎泌尿器(内)診療グループ	慢性腎不全(人工透析)合併妊娠	腎と透析 (0385-2156)77巻5号 Page805-808(2014.11)

46	臼井 俊明	腎泌尿器(内)診療グループ	浮腫AtoZ(第4回) 腎性浮腫の特徴と対策	Fluid Management Renaissance (2186-3008)4巻4号 Page372-376(2014.10)
47	臼井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	【一般内科医のための腎疾患A to Z】 腎臓自体の疾患 急速進行性糸球体腎炎	内科 (0022-1961)114巻1号 Page77-79(2014.07)
48	臼井 丈一	腎泌尿器(内)診療グループ	【腎臓病のすべて】 腎臓病各論 診断とエビデンスに基づいた治療 日本のガイドラインと	医学のあゆみ (0039-2359)249巻9号 Page812-816(2014.05)
49	植田 敦志	腎泌尿器(内)診療グループ	【末期慢性腎不全患者の治療方針Update-透析導入から管理まで】 腹膜透析管理 これからの理想の治療を求めて	医学のあゆみ (0039-2359)250巻13号 Page1185-1189(2014.09)
50	島居 徹	腎泌尿器(外)診療グループ	【前立腺がん治療の進歩】 前立腺がんのリスク別治療法 超高リスク症例に対する治療	臨床腫瘍プラクティス (1880-3083)10巻4号 Page439-444(2014.11)
51	古川 祥子	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	IL-6産生褐色細胞腫において術前の炎症コントロールにより二次性糖尿病を改善し	糖尿病 (0021-437X)57巻12号 Page913-920(2014.12)
52	松坂 賢	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	【肝臓と糖尿病の相関】 【糖尿病・脂質代謝異常と肝臓】NASHの発症・進展における脂肪酸伸長酵素Elovl6の役割	医学のあゆみ (0039-2359)251巻7号 Page567-571(2014.11)
53	岩崎 仁	内分泌代謝・糖尿病(内)診療グループ	【脂質異常症の診断と治療の動向-ACC/AHAガイドラインを考慮して-】 脂質異常症の発症のメカニズム	カレントセラピー (0287-8445)32巻9号 Page840-844(2014.09)
54	柳下 瑞希	膠原病リウマチアレルギー(内)診療グループ	DMARD、生物学的製剤と心血管障害リスク	リウマチ科 (0915-227X)52巻2号 Page157-161(2014.08)
55	廣田 智哉	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ	関節リウマチ患者における手専用0.3TMRを用いた生物学的製剤の治療評価	日本内科学会雑誌 (0021-5384)103巻Suppl. Page177(2014.02)
56	田中 勇希	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ	HCgp-39は関節炎においてFoxp3+Tregに発現し抗原特異的Th1およびTh17を抑制す	日本臨床免疫学会誌 (0911-4300)37巻4号 Page367(2014.08)
57	田原 昌浩	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ	PD-1欠損T-bet発現CD4+T細胞による全身性炎症病態の解析	日本臨床免疫学会誌 (0911-4300)37巻4号 Page366(2014.08)
58	近藤 裕也	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ	T細胞の制御と自己免疫疾患 ROR γ t/Foxp3共発現CD4 T細胞による自己免疫性関節炎制御機構	日本臨床免疫学会誌 (0911-4300)37巻4号 Page315(2014.08)
59	黒部 匡広	膠原病リウマチアレルギー-内科診療グループ	腎盂癌との鑑別が困難であったIgG4関連疾患の1例 本邦文献例の検討	泌尿器外科 (0914-6180)27巻11号 Page1849-1854(2014.11)
60	柴尾 加奈	皮膚診療グループ	【悪性黒色腫】 妊娠中に発症し術後14年後に多発転移をきたした皮膚悪性黒色腫の	皮膚科の臨床 (0018-1404)56巻1号 Page27-30(2014.01)
61	川島 英恵	皮膚診療グループ	臨床例 circumscribed palmar hypokeratosis	皮膚病診療 (0387-7531)36巻7号 Page645-648(2014.07)
62	沖山 奈緒子	皮膚診療グループ	【自己免疫性筋炎と自己抗体-新たな概念と臨床への応用-】 抗TIF1- γ 抗体と悪性腫瘍合併皮膚筋炎	炎症と免疫 (0918-8371)22巻6号 Page448-451(2014.10)
63	沖山 奈緒子	皮膚診療グループ	【実臨床で使用されるリウマチ性疾患の自己抗体up-to-date】 抗ARS抗体	リウマチ科 (0915-227X)52巻4号 Page368-372(2014.10)
64	齊藤 明允	皮膚診療グループ	当科で経験した悪性腫瘍を合併した成人アナフィラクトイド紫斑の6例と非合併例13例との比較	西日本皮膚科 (0386-9784)76巻5号 Page487-492(2014.10)
65	古田 淳一	皮膚診療グループ	次世代の分子ターゲット(第5回) IL-12/IL-23(p40)	分子リウマチ治療 (1882-9163)7巻4号 Page216-220(2014.10)
66	古田 淳一	皮膚診療グループ	【知らないままでいいですか?眼・耳鼻のど・皮膚・泌尿器疾患の診かた 救急・外来・病棟でよく出会う症例にもう困らない!】(第3章)皮膚疾患の診かた 発熱を伴う発疹への対応	レジデントノート (1344-6746)16巻11号 Page2103-2108(2014.10)
67	藤澤 康弘	皮膚診療グループ	悪性黒色腫全国統計調査 2005~2013年度の集計結果	Skin Cancer (0915-3535)29巻2号 Page189-194(2014.11)
68	齊藤 明允	皮膚診療グループ	【細菌・抗酸菌感染症】 レボフロキサシンが有効であった皮膚 Mycobacterium marinum感染症の1例	皮膚科の臨床 (0018-1404)56巻12号 Page1982-1985(2014.11)
69	藤本 学	皮膚診療グループ	イラストで見る 自己免疫疾患の発症機序を解き明かす鍵とは?(第5回) 調節性B細胞と疾患	Mebio (0910-0474)32巻1号 Page71-76(2015.01)
70	藤本 学	皮膚診療グループ	【潰瘍の病態と治療】 膠原病・血管炎に伴う皮膚潰瘍の治療アルゴリズム	Derma. (1343-0831)226号 Page71-77(2015.01)
71	田川 学	小児(内)診療グループ	初発時に門脈血栓を認めた急性劇症型潰瘍性大腸炎の14歳女児例	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 (1346-9037)28巻2号 Page84-89(2014.12)
72	西村 一記	小児(内)診療グループ	進行胃癌に対して化学療法を施行された母体から出生した超低出生体重児の1例	日本周産期・新生児医学会雑誌 (1348-964X)50巻4号 Page1322-
73	西村 一記	小児(内)診療グループ	進行胃癌に対して化学療法を施行された母体から出生した超低出生体重児の1例	日本周産期・新生児医学会雑誌 (1348-964X)50巻4号 Page1322-
74	上杉 達	小児(外)診療グループ	小児Xp11.2転座型腎細胞癌の1例	日本小児泌尿器科学会雑誌 (1341-0784)23巻1号 Page22-25(2014.06)
75	瓜田 泰久	小児(外)診療グループ	小児外科腹部手術後の経腸栄養管理	ヒューマンニュートリション 6巻2号 Page80-83(2014.03)
76	増本 幸二	小児(外)診療グループ	【栄養管理における微量元素】 静脈栄養における微量元素製剤	栄養-評価と治療 (0915-759X)31巻3号 Page214-217(2014.08)
77	田中 秀明	小児(外)診療グループ	【プロが見せる手術シリーズ(5)難易度の高い泌尿生殖器手術】 乳幼児の腎移植	小児外科 (0385-6313)46巻5号 Page541-545(2014.05)
78	新開 統子	小児(外)診療グループ	【エビデンスに基づく手術の適応とタイミング】 肥厚性幽門狭窄症	小児外科 (0385-6313)46巻8号 Page813-817(2014.08)
79	五藤 周	小児(外)診療グループ	【エンジョイ症例報告:まれな病態・疾患(1)] Covered bladder exstrophy、高位鎖肛、同側腎無形成を合併した片側性鼠径部異所性陰囊	小児外科 (0385-6313)46巻12号 Page1264-1267(2014.12)
80	木野 弘善	脳神経(外)診療グループ	グリア系腫瘍の免疫染色定量評価	Brain Tumor Pathology (1433-7398)31巻Suppl. Page081(2014.05)
81	坂本 規彰	脳神経(外)診療グループ	悪性gliomaの再発時病理組織の検討	Brain Tumor Pathology (1433-7398)31巻Suppl. Page126(2014.05)
82	鈴木 健嗣	脳神経(外)診療グループ	嚥下機能評価のための頸部装着型持続的嚥下モニターの開発	嚥下医学 (2186-3199)3巻1号 Page142(2014.02)
83	寺元 洋平	脳神経(外)診療グループ	嚥下造影検査と高解像度モノトリーとの同時記録による嚥下音の検討	嚥下医学 (2186-3199)3巻2号 Page320(2014.09)
84	寺元 洋平	脳神経(外)診療グループ	進行性球麻痺における嚥下圧および嚥下音の検討	嚥下医学 (2186-3199)3巻1号 Page143-144(2014.02)
85	渡邊 真哉	脳神経(外)診療グループ	カベルゴリンによるプロラクチノーマの長期治療成績と再発例の検討	日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)90巻Suppl.HPT Page22-24(2014.09)
86	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ	Remote desktopによる無料の遠隔画像診断	脳神経外科速報 (0917-1495)24巻2号 Page198-201(2014.02)

87	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ	専門医に求められる最新の知識 脳腫瘍 臨床医が脳腫瘍SPECTを理解するために必要な放射線物理、撮像技術 脳腫瘍SPECT(1)	脳神経外科速報 (0917-1495)24巻7号 Page764-768(2014.07)
88	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ	専門医に求められる最新の知識 脳腫瘍 脳腫瘍SPECTに利用される核種 脳腫瘍SPECT(2)	脳神経外科速報 (0917-1495)24巻9号 Page1002-1007(2014.09)
89	柴田 靖	脳神経(外)診療グループ	専門医に求められる最新の知識 脳腫瘍 TI SPECTの臨床的有用性 脳腫瘍	脳神経外科速報 (0917-1495)24巻11号 Page1228-1234(2014.11)
90	小松 洋治	脳神経(外)診療グループ	80歳以上におけるくも膜下出血の治療転帰と直達手術適応	脳卒中の外科 (0914-5508)42巻4号 Page247-252(2014.07)
91	神山 翔	整形外科診療グループ	上肢末梢神経に発生した神経鞘腫に対する腫瘍核出術の治療成績	日本手外科学会雑誌 (2185-4092)31巻2号 Page114-117(2014.11)
92	原 友紀	整形外科診療グループ	強直肘に対する人工肘関節置換術で後骨間神経麻痺をきたした1例	日本肘関節学会雑誌 (1349-7324)21巻2号 Page260-261(2014.12)
93	中谷 卓史	整形外科診療グループ	DVT THAIにおける術前CT大腿部筋面積とD-ダイマー値の検討	日本人工関節学会誌 (1345-7608)44巻 Page833-834(2014.12)
94	柴尾 洋介	整形外科診療グループ	THAアプローチ Parks Weber Syndromelに合併した変形性股関節症に対するTHAと手術戦略	日本人工関節学会誌 (1345-7608)44巻 Page153-154(2014.12)
95	和田 大志	整形外科診療グループ	前外側アプローチTHA術前後の筋組織CT画像評価	Hip Joint (0389-3634)40巻 Page509-513(2014.08)
96	中谷 卓史	整形外科診療グループ	入院時D-ダイマー値は大腿骨近位部骨折患者の周術期DVT発症を予測できるか?	Hip Joint (0389-3634)40巻 Page469-472(2014.08)
97	竹橋 広倫	整形外科診療グループ	大腿骨近位部骨折術後6カ月以内死亡例とその危険因子	Hip Joint (0389-3634)40巻 Page405-408(2014.08)
98	野澤 大輔	整形外科診療グループ	【整形外科の手術手技-私はこうしている】その他 長管骨偽関節に対するIlizarov創外固定器を用いた圧迫骨接合術	別冊整形外科 (0287-1645)66号 Page15-19(2014.10)
99	鎌田 浩史	整形外科診療グループ	地域における小児スポーツ障害の予防の取り組み『健康手帳』を用いた検診による小児運動器障害の予防	日本臨床スポーツ医学会誌 (1346-4159)22巻3号 Page402-406(2014.08)
100	安部 哲哉	整形外科診療グループ	高齢者の骨粗鬆症性胸腰椎移行部破裂骨折に対する腸骨による椎体形成術と後方固定術の成績	Journal of Spine Research (1884-7137)5巻7号 Page1118-1123(2014.07)
101	塚西 敏則	整形外科診療グループ	インドシアニンググリーン蛍光ナビゲーション(ICG蛍光法)の脊髄腫瘍への応用と術中高位診断における有用性についての検討	Journal of Spine Research (1884-7137)5巻7号 Page1077-1082(2014.07)
102	神山 翔	整形外科診療グループ	末梢神経に発生した神経鞘腫に対する腫瘍核出術の治療成績	東日本整形災害外科学会雑誌 (1342-7784)26巻2号 Page165-168(2014.06)
103	熊谷 洋	整形外科診療グループ	【人工関節置換術-最新の知見】特殊な疾患、高度の変形を伴う例に対する人工関節 腫瘍 大腿骨近位部転移性骨腫瘍に対する腫瘍用人工骨頭置換術の手術手技	別冊整形外科 (0287-1645)65号 Page202-206(2014.04)
104	和田 大志	整形外科診療グループ	人工関節置換術-最新の知見 関節の評価法と診断 使用機種を選択 人工関節設置大腿骨の表面応カイメージング	別冊整形外科 (0287-1645)65号 Page51-54(2014.04)
105	西野 衆文	整形外科診療グループ	【人工関節置換術-最新の知見】関節の評価法と診断 使用機種を選択 セメントレステーパードラウンドシステムの長期成績 テーパードシステムはその設計目的を達成で	別冊整形外科 (0287-1645)65号 Page40-43(2014.04)
106	山崎 正志	整形外科診療グループ	運動器再生医療研究の最先端 急性脊髄損傷に対する顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)を用いた神経保護療法 医師主導型自主臨床試験	日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)88巻4号 Page224-229(2014.04)
107	有安 諒平	整形外科診療グループ	変形性関節症患者に対するロボットスーツHALを用いた訓練効果の検討	国立大学リハビリテーション療法士学術大会誌 (2188-3416)35回 Page15-17(2014.04)
108	河村 春生	整形外科診療グループ	我が国で20年以上前より使用されてきた人工関節手術の成績と分析 Harris-Galante人工股関節の長期成績	日本人工関節学会誌 (1345-7608)44巻 Page33-34(2014.12)
109	長谷川 隆司	整形外科診療グループ	3つのアプローチによるTHA術後1週間後CT画像での筋組織評価	Hip Joint (0389-3634)40巻 Page497-500(2014.08)
110	尹 之恩	整形外科診療グループ	全身振動(whole-body vibration)トレーニングが変形性膝関節症および膝痛を有する中年・高齢女性の膝機能および身体機能に及ぼす影響	体力科学 (0039-906X)63巻4号 Page371-382(2014.08)
111	西野 衆文	整形外科診療グループ	バレーボール選手の下肢疲労性障害 メディカルチェックにおける下肢圧痛点調査	日本整形外科スポーツ医学会雑誌 (1340-8577)34巻1号 Page90-93(2014.03)
112	都丸 洋平	整形外科診療グループ	アルコール性大腿骨頭壊死症に対する濃縮自家骨髄血移植術の術後成績	日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)88巻2号 PageS239(2014.03)
113	赤荻 博	整形外科診療グループ	ステロイド性大腿骨頭壊死に対する濃縮自家骨髄血移植術の治療成績	日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)88巻2号 PageS239(2014.03)
114	船越 香苗	整形外科診療グループ	特発性大腿骨頭壊死症に対する濃縮自家骨髄血移植術後リハビリテーションの一例	国立大学リハビリテーション療法士学術大会誌 (2188-3416)35回 Page58-61(2014.04)
115	中谷 卓史	整形外科診療グループ	大腿骨頭部骨折後の外傷性大腿骨頭壊死症に対する濃縮自家骨髄血移植術の治	骨折 (0287-2285)36巻Suppl. PageS266(2014.06)
116	青戸 克哉	整形外科診療グループ	【整形外科領域におけるplatelet-rich plasma療法】Platelet-rich plasma療法の基礎	整形・災害外科 (0387-4095)57巻8号 Page965-970(2014.07)
117	吉岡 友和	整形外科診療グループ	【整形外科領域におけるplatelet-rich plasma療法】変形性膝関節症に対する多血小板血漿関節内注射治療	整形・災害外科 (0387-4095)57巻8号 Page1001-1009(2014.07)
118	金森 章浩	整形外科診療グループ	後外側支持機構損傷にたいするModified Larson法の治療経験	JOSKAS (1884-8842)39巻4号 Page145(2014.07)
119	谷口 悠	整形外科診療グループ	膝前十字靭帯再建術後再断裂に対する前十字靭帯再再建術の短期成績	JOSKAS (1884-8842)39巻4号 Page409(2014.07)
120	吉岡 友和	整形外科診療グループ	【スポーツにおける筋・腱付着部損傷の診療】筋・腱付着部損傷の治療 PRP局所注入	Orthopaedics (0914-8124)27巻9号 Page41-48(2014.08)
121	金森 章浩	整形外科診療グループ	スポーツ障害に対する多血小板血漿(PRP)治療	日本整形外科スポーツ医学会雑誌 (1340-8577)34巻4号 Page499(2014.08)
122	菅谷 久	整形外科診療グループ	家兔骨壊死モデルへ移植した自家骨髄間葉系幹細胞の長期追跡	日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)88巻8号 PageS1466(2014.08)
123	久保田 茂希	整形外科診療グループ	家兔陈旧性末梢神経損傷に対する多血小板血漿(PRP)による末梢神経再生促進効果に関する研究	日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)88巻8号 PageS1649(2014.08)
124	牧原 武史	整形外科診療グループ	上腕骨頭壊死症に対する濃縮自家骨髄血移植の治療効果	日本整形外科学会雑誌 (0021-5325)88巻8号 PageS1450(2014.08)

125	金森 章浩	整形外科診療グループ	【スポーツ障害-最新の知識と治療法-】(Part5)スポーツ障害に対する最新の治療の試み 多血小板血漿 PRP療法	Bone Joint Nerve (2186-1110)4巻4号 Page699-706(2014.10)
126	吉岡 友和	整形外科診療グループ	【整形外科の手術手技-私はこうしている】下肢 股関節 大腿骨頭壊死症に対する濃縮自家骨髄血移植術の実験	別冊整形外科 (0287-1645)66号 Page92-97(2014.10)
127	金森 章浩	整形外科診療グループ	腱付着部障害の診断と治療 腱付着部炎に対する多血小板血漿(PRP)治療	日本関節病学会誌 (1883-2873)33巻3号 Page365(2014.10)
128	辰村 正紀	整形外科診療グループ	【運動機能診断の基礎】機能診断と運動療法とのつながり 水泳の運動機能診断とリハビリテーション	関節外科 (0286-5394)33巻10号 Page1086-1088(2014.10)
129	辰村 正紀	整形外科診療グループ	学校プールでの安全な飛び込み方法の解明 最大頭部到達深度に関与する因子	日本整形外科学会雑誌 (1340-8577)34巻3号 Page248-250(2014.06)
130	西浦 康正	整形外科診療グループ	【複合性局所疼痛症候群(CRPS)診療の現状と進歩】CRPSの診断基準と早期診断・早期治療	末梢神経 (0917-6772)25巻1号 Page19-26(2014.06)
131	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	【読み方がわかる!説明できる!産科の臨床検査ディクショナリー これさえあれば妊婦健診で困らない! エコーもCTGも】(第1章)妊娠中の基本検査を理解しよう! 血液検査 HTLV-1抗体	ペリネイタルケア (0910-8718)2014新春増刊 Page041-043(2014.01)
132	小島 真奈	婦人・周産期診療グループ	【読み方がわかる!説明できる!産科の臨床検査ディクショナリー これさえあれば妊婦健診で困らない! エコーもCTGも】(第1章)妊娠中の基本検査を理解しよう! 細菌関	ペリネイタルケア (0910-8718)2014新春増刊 Page064-067(2014.01)
133	大原 玲奈	婦人・周産期診療グループ	【読み方がわかる!説明できる!産科の臨床検査ディクショナリー これさえあれば妊婦健診で困らない! エコーもCTGも】(第1章)妊娠中の基本検査を理解しよう! 細菌関	ペリネイタルケア (0910-8718)2014新春増刊 Page068-071(2014.01)
134	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	妊産婦等における適正使用情報の収集・活用の現状と問題点 SEA分類と「使用上の注意」への記載について	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス (1884-6076)45巻3号 Page188-193(2014.03)
135	佐藤 豊実	婦人・周産期診療グループ	婦人科腫瘍・類腫瘍手術の進歩/進行・再発卵巣がんの手術 再発卵巣癌の手術	産婦人科手術 (0915-8375)25号 Page17-22(2014.05)
136	佐藤 豊実	婦人・周産期診療グループ	【卵巣がん治療の個別化を目指す新たな局面】妊孕性温存治療はどこまで可能か?	産婦人科の実際 (0558-4728)63巻7号 Page907-911(2014.07)
137	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	未来の医療を創る臨床試験 計画・実行の勧め	日本産科婦人科学会雑誌 (0300-9165)66巻8号 Page1948-1957(2014.08)
138	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	【診療ガイドライン産科編2014 改訂と追加のポイントを読み解く】妊娠中の医薬品使	臨床婦人科産科 (0386-9865)68巻8号 Page746-749(2014.08)
139	佐藤 豊実	婦人・周産期診療グループ	婦人科悪性腫瘍と血栓塞栓症	日本産科婦人科学会雑誌 (0300-9165)66巻8号 Page2024-2028(2014.08)
140	松本 光司	婦人・周産期診療グループ	当院における先進医療「腹腔鏡下子宮体がん根治手術」の現状	日本外科学会雑誌 (0385-7883)39巻4号 Page651-656(2014.08)
141	中村 優子	婦人・周産期診療グループ	予防的腹腔鏡下性腺摘除術にて性腺芽腫が発見された46.XY純型性腺異形成の1例	日本外科学会雑誌 (0385-7883)39巻4号 Page771-774(2014.08)
142	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	【妊娠と薬物治療ガイドブック】妊娠と妊婦にまつわるトピックス 産婦人科診療ガイドライン 産科編2014	調剤と情報 (1341-5212)20巻11号 Page1406-1408(2014.09)
143	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	【妊娠と薬物治療ガイドブック】リスクの伝え方とコミュニケーション 医師はどのようにリスクを伝えているか	調剤と情報 (1341-5212)20巻11号 Page1346-1349(2014.09)
144	佐藤 豊実	婦人・周産期診療グループ	【がん・生殖医療の現状と展望】卵巣癌の治療と妊孕性温存	産科と婦人科 (0386-9792)81巻10号 Page1237-1242(2014.10)
145	岡崎 有香	婦人・周産期診療グループ	エベロリムス内服中のインスリンノーマ合併子宮体癌に腹腔鏡手術を行った1例	日本外科学会雑誌 (0385-7883)39巻5号 Page989-995(2014.10)
146	西田 恵子	婦人・周産期診療グループ	4回の再発腫瘍摘出術を経て10年以上の長期生存を得ている卵巣癌IIIc期の1例	日本外科学会雑誌 (0385-7883)39巻5号 Page1007-1011(2014.10)
147	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	【内科医に求められる他科の知識 専門家が伝えるDo-Don't】(第5章)産婦人科産婦人科領域 この10年の進歩	内科 (0022-1961)114巻6号 Page1132-1133(2014.12)
148	濱田 洋実	婦人・周産期診療グループ	【内科医に求められる他科の知識 専門家が伝えるDo-Don't】(第5章)産婦人科妊娠女性およびその可能性がある女性への薬剤投与	内科 (0022-1961)114巻6号 Page1152-1153(2014.12)
149	佐川 里恵子	耳鼻咽喉科診療グループ	吐血を契機に発見された異所性甲状腺例	耳鼻咽喉科臨床 (0032-6313)107巻3号 Page241-245(2014.03)
150	和田 哲郎	耳鼻咽喉科診療グループ	【よくわかる遺伝子】単一遺伝子異常と疾患 神経線維腫症	JOHNS (0910-6820)30巻6号 Page753-757(2014.06)
151	田中 晴香	耳鼻咽喉科診療グループ	内頸静脈血栓症を契機に診断された抗リン脂質抗体症候群例	耳鼻咽喉科臨床 (0032-6313)107巻6号 Page489-492(2014.06)
152	田中 秀峰	耳鼻咽喉科診療グループ	【鼻の疑問に答える】鼻の形についての疑問 鼻中隔彎曲は矯正しなければいけな	JOHNS (0910-6820)30巻7号 Page823-825(2014.07)
153	和田 哲郎	耳鼻咽喉科診療グループ	【聴覚に関する検査の読み方-ここがポイント-】補充現象検査、自記オーディオメトリ	ENTONI (1346-2067)169号 Page15-20(2014.07)
154	和田 哲郎	耳鼻咽喉科診療グループ	筑波大学における聴覚障害医学生への教育と情報保障(第2報) 卒業から臨床研修	Audiology Japan (0303-8106)57巻4号 Page230-235(2014.08)
155	和田 哲郎	耳鼻咽喉科診療グループ	騒音性難聴	耳鼻咽喉科臨床 (0032-6313)107巻8号 Page660-661(2014.08)
156	田原 敬	耳鼻咽喉科診療グループ	【医療従事者をめざす障害学生への支援-現状と課題-】医療従事者をめざす障害学生への支援の現状と課題 筑波大学における聴覚障害学生への支援事例をもとに	リハビリテーション研究 44巻2号 Page9-14(2014.09)
157	平井 康仁	保健衛生外来診療グループ	筑波大学学園都市の労働者を対象とした主観的健康観の実態調査	厚生 の指標 (0452-6104)61巻2号 Page22-28(2014.02)
158	柴尾 洋介	救急・集中治療診療グループ	上肢壊死性筋膜炎に対して筋膜debridementを行い患肢温存し救命しえた2例	整形・災害外科 (0387-4095)57巻1号 Page91-95(2014.01)
159	藤江 敬子	救急・集中治療診療グループ	ウツタイン様式データにおけるエラー発生 の検討	日本臨床救急医学会雑誌 (1345-0581)17巻1号 Page49-55(2014.02)
160	鶴嶋 英夫	救急・集中治療診療グループ	【最新臨床脳卒中学[上]-最新の診断と治療-】治療戦略を目指した研究 基礎研究FGF-2徐放性drug delivery systemによる虚血脳組織に対する保護および血管新生治療	日本臨床 (0047-1852)72巻増刊5 最新臨床脳卒中学(上) Page403-406(2014.07)

161	下條 信威	救急・集中治療診療グループ	【最新臨床脳卒中[上]-最新の診断と治療-】危険因子 高血圧症 関連分子 エンドセリン	日本臨床 (0047-1852)72巻増刊5 最新臨床脳卒中(上) Page203-207(2014.07)
162	新井 規仁	救急・集中治療診療グループ	股関節離断術、後腹膜腔ドレナージにより救命しえたクロスリジウム性ガス壊疽の1例	整形・災害外科 (0387-4095)57巻9号 Page1179-1182(2014.08)
163	萩谷 圭一	救急・集中治療診療グループ	【人工呼吸管理-その常識は正しいか?-】人工呼吸の方法 重症呼吸不全に対する腹臥位療法の効果(Q&A/特集)	救急・集中治療 (1346-0935)26巻9-10 Page1270-1274(2014.10)
164	虎口 大介	放射線腫瘍科診療グループ	陽子線治療における体内金属の検討	日本放射線技術学会雑誌 (0369-4305)70巻9号 Page1017(2014.09)
165	福光 延吉	放射線腫瘍科診療グループ	【肝がん診断と治療の進歩】治療法の進歩 肝がんの放射線治療	日本内科学会雑誌 (0021-5384)103巻1号 Page116-122(2014.01)
166	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	荷電粒子線治療 陽子線と重粒子線	腫瘍内科 (1881-6568)13巻1号 Page101-109(2014.01)
167	磯辺 智範	放射線腫瘍科診療グループ	平成24年度学術調査研究班報告 放射線治療場で発生する二次中性子の簡易的評価システムの構築	日本放射線技術学会雑誌 (0369-4305)70巻2号 Page163-164(2014.02)
168	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	陽子線・粒子線治療の進歩と将来	日本産科婦人科学会雑誌 (0300-9165)66巻2号 Page386(2014.02)
169	榮 武二	放射線腫瘍科診療グループ	つながる人材育成とスペシャリスト養成 役立つ人材の育成を目指して	日本放射線技術学会総会学術大会予稿集 (1884-7846)70回 Page80(2014.02)
170	志田 隆史	放射線腫瘍科診療グループ	肥満と糖尿病が肝脂肪化と線維化に及ぼす影響と病態関連因子の解析	超音波医学 (1346-1176)41巻Suppl. PageS598(2014.04)
171	志田 隆史	放射線腫瘍科診療グループ	非アルコール性脂肪性肝疾患における中高度肥満と糖尿病が肝病態に及ぼす影響と病態関連因子の解析	肝臓 (0451-4203)55巻Suppl.1 PageA450(2014.04)
172	栗飯原 輝人	放射線腫瘍科診療グループ	頭頸部進行がん新鮮例に対する新規粒子線治療の可能性 硼素中性子捕捉療法に対する筑波大学の取り組みと今後の展望	茨城県立病院医学雑誌 (0912-9952)30巻2号 Page28(2014.05)
173	中井 啓	放射線腫瘍科診療グループ	脳神経外科リハビリテーションにおけるロボティクス技術の応用	Neurological Surgery (0301-2603)42巻7号 Page605-613(2014.07)
174	加沼 玲子	放射線腫瘍科診療グループ	直腸癌治療後口腔内転移に対し放射線治療を施行した男性の一症例	頭頸部癌 (1349-5747)40巻2号 Page159(2014.05)
175	田中 圭一	放射線腫瘍科診療グループ	筑波大学におけるBNCT臨床研究再開計画について	頭頸部癌 (1349-5747)40巻2号 Page225(2014.05)
176	栗飯原 輝人	放射線腫瘍科診療グループ	当院における進行中・下咽頭癌における術前化学放射線療法に対する病理学的効果	頭頸部癌 (1349-5747)40巻2号 Page226(2014.05)
177	松村 明	放射線腫瘍科診療グループ	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】腫瘍性疾患 神経上皮性腫瘍 松果体腫瘍 松果体細胞腫	日本臨床 (0047-1852)別冊神経症候群III Page157-160(2014.06)
178	石川 栄一	放射線腫瘍科診療グループ	BCNUウエーハ脳内留置悪性神経膠腫症例における術前画像診断と術中迅速病理診断の陽性的中率との関連	Brain Tumor Pathology (1433-7398)31巻Suppl. Page072(2014.05)
179	木野 弘善	放射線腫瘍科診療グループ	グリア系腫瘍の免疫染色定量評価	Brain Tumor Pathology (1433-7398)31巻Suppl. Page081(2014.05)
180	杉井 成志	放射線腫瘍科診療グループ	中枢性神経細胞腫の画像と血管新生	Brain Tumor Pathology (1433-7398)31巻Suppl. Page100(2014.05)
181	坂本 規彰	放射線腫瘍科診療グループ	悪性gliomaの再発時病理組織の検討	Brain Tumor Pathology (1433-7398)31巻Suppl. Page126(2014.05)
182	杉井 成志	放射線腫瘍科診療グループ	放射線治療の44年後に出現・急速な増大を示した血管肉腫の1例	Brain Tumor Pathology (1433-7398)31巻Suppl. Page148(2014.05)
183	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	婦人科がん放射線治療の最新知見 陽子線治療の概要と婦人科腫瘍への応用	日本婦人科腫瘍学会雑誌 (1347-8559)32巻3号 Page399(2014.06)
184	室伏 景子	放射線腫瘍科診療グループ	【Women's Imaging 2014<Vol.9>Breast Imaging モダリティの進歩から見る乳がん画像診断のこれから】乳がん診療のトピックス 放射線治療の最新動向	INNERVISION (0913-8919)29巻8号 Page61-64(2014.07)
185	花井 翔	放射線腫瘍科診療グループ	術中MRIを用いた再発anaplastic ependymomaの一手術例	小児の脳神経 (0387-8023)39巻1号 Page100(2014.04)
186	丸山 剛	放射線腫瘍科診療グループ	車いす一体型ベッドによる離床支援の試み	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine (1881-3526)51巻Suppl. PageS449(2014.05)
187	栗飯原 輝人	放射線腫瘍科診療グループ	BNCTによる頭頸部癌治療と頸動脈破裂症候群 BNCTを安全に行うために	耳鼻咽喉科臨床 補冊 (0912-1870)補冊139 Page143(2014.06)
188	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	限局性前立腺がんのテラーメイド治療戦略を考える 外照射療法 粒子線治療	泌尿器外科 (0914-6180)27巻8号 Page1381-1384(2014.08)
189	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	レクチャーシリーズ 腫瘍 陽子線・粒子線治療の進歩と将来	日本産科婦人科学会雑誌 (0300-9165)66巻9号 Page2062-2065(2014.09)
190	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	【外科切除適応の境界領域-Borderline resectable cancerへの対応】診断/術前療法 難治性腫瘍における術前(化学)放射線治療の意義 外科をサポートするための周術期放射線治療を目指して	臨床外科 (0386-9857)69巻12号 Page1310-1314(2014.11)
191	山梨 宏一	放射線腫瘍科診療グループ	BNCT治療計画システムの線量計算に使用するヒストリ数の検証	日本放射線技術学会雑誌 (0369-4305)70巻9号 Page969(2014.09)
192	石田 真也	放射線腫瘍科診療グループ	筑波大学における陽子線治療用CT値-水等価厚変換テーブルの作成	日本放射線技術学会雑誌 (0369-4305)70巻9号 Page974-975(2014.09)
193	高田 健太	放射線腫瘍科診療グループ	班報告 温熱療法における効率的な加温技術の構築	日本放射線技術学会雑誌 (0369-4305)70巻9号 Page1019(2014.09)
194	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	食道がん治療戦略のUp to Date 食道癌の化学放射線療法と陽子線治療の役割	日本癌治療学会誌 (0021-4671)49巻3号 Page770(2014.06)
195	栗飯原 輝人	放射線腫瘍科診療グループ	頭頸部がんに対するホウ素中性子捕捉療法の現状	日本癌治療学会誌 (0021-4671)49巻3号 Page2707(2014.06)
196	沼尻 晴子	放射線腫瘍科診療グループ	【肝がん患者の治療とケア】肝がんの治療法を知る 肝細胞がんの陽子線治療	がん看護 (1342-0569)19巻6号 Page568-570(2014.09)
197	高 振宇	放射線腫瘍科診療グループ	ホウ素中性子捕捉療法に対する高性能ボロン含有ナノ粒子の開発と評価	日本DDS学会学術集会プログラム予稿集 30回 Page146(2014.07)
198	渡邊 真哉	放射線腫瘍科診療グループ	カベルゴリンによるプロラクチノーマの長期治療成績と再発例の検討	日本内分泌学会雑誌 (0029-0661)90巻Suppl.HPT Page22-24(2014.09)
199	福田 邦明	放射線腫瘍科診療グループ	肝がんの診断と治療の進歩 肝がん高齢化時代における陽子線治療の役割	肝臓 (0451-4203)55巻Suppl.3 PageA722(2014.10)

200	長谷川 直之	放射線腫瘍科診療グループ	門脈腫瘍栓を伴った高度進行肝細胞癌に対する陽子線照射・ソラフェニブ併用の治	日本消化器病学会雑誌 (0446-6586)111巻臨増大会 PageA940(2014.09)
201	福田 邦明	放射線腫瘍科診療グループ	進行肝癌の集学的治療 予後とQOLの観点から 高度進行肝細胞癌の集学的治療における陽子線治療の役割	肝臓 (0451-4203)55巻Suppl.2 PageA542(2014.09)
202	穂坂 翔	放射線腫瘍科診療グループ	移動性精巣に対して緊急精巣固定術を施行し、腹部照射による性腺被曝を回避した	日本小児血液・がん学会雑誌 (2187-011X)51巻4号 Page339(2014.10)
203	丸島 愛樹	放射線腫瘍科診療グループ	頭蓋内圧亢進を伴う救急疾患に対する非侵襲的頭蓋内圧モニター(HeadSense)の初期使用経験	日本救急医学会雑誌 (0915-924X)25巻8号 Page472(2014.08)
204	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	肺がんに対する高精度放射線治療の標準化に向けて 粒子線治療	肺癌 (0386-9628)54巻5号 Page281(2014.10)
205	大西 かよ子	放射線腫瘍科診療グループ	体幹部定位照射における肺線量の陽子線とX線の比較	肺癌 (0386-9628)54巻5号 Page548(2014.10)
206	丸島 愛樹	放射線腫瘍科診療グループ	近赤外線分光法の新たな解析法“NIRO-Pulse”によるCEA、CAS周術期のリアルタイム脳循環代謝評価	脳循環代謝 (0915-9401)26巻1号 Page164(2014.11)
207	伊藤 嘉朗	放射線腫瘍科診療グループ	ステント併用コイル塞栓術後のmajor recanalizationの臨床的特徴	JNET: Journal of Neuroendovascular Therapy (1882-4072)8巻6号
208	渡部 大輔	放射線腫瘍科診療グループ	硬膜動静脈瘻発生と髄膜腫の関連性についての検討	JNET: Journal of Neuroendovascular Therapy (1882-4072)8巻6号
209	田村 剛一郎	放射線腫瘍科診療グループ	小児頭頸部血管形成異常に対する術前経動脈的塞栓術が有効であった3症例	JNET: Journal of Neuroendovascular Therapy (1882-4072)8巻6号
210	石川 仁	放射線腫瘍科診療グループ	食道癌に対する同時化学療法併用陽子線治療成績	日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 68回 Page58(2014.07)
211	牧島 弘和	放射線腫瘍科診療グループ	食道癌に対する化学放射線療法の有有害事象 X線と陽子線の比較	日本食道学会学術集会プログラム・抄録集 68回 Page59(2014.07)
212	岡本 嘉一	放射線腫瘍科診療グループ	【ROUTINE CLINICAL MRI 2015 BOOK】骨格筋のMRI	映像情報Medical (1346-1354)46巻14号 Page71-78(2014.12)
213	熊田 博明	放射線腫瘍科診療グループ	【ホウ素中性子捕捉療法:BNCT】BNCTの線量評価/治療計画	Radioisotopes (0033-8303)64巻1号 Page39-48(2015.01)
214	山本 哲哉	放射線腫瘍科診療グループ	【ホウ素中性子捕捉療法:BNCT】悪性神経腫瘍の集学的治療とBNCT	Radioisotopes (0033-8303)64巻1号 Page91-93(2015.01)
215	奥村 敏之	放射線腫瘍科診療グループ	【最新肝癌学-基礎と臨床の最新研究動向-】肝癌の治療 放射線治療 肝癌の陽子	日本臨床 (0047-1852)73巻増刊1 最新肝癌学 Page720-724(2015.01)
216	粟飯原 輝人	放射線腫瘍科診療グループ	当院における進行中・下咽頭癌における術前化学放射線療法に対する病理学的効	頭頸部癌 (1349-5747)40巻2号 Page226(2014.05)
217	櫻井 英幸	放射線腫瘍科診療グループ	レクチャーシリーズ 腫瘍 陽子線・粒子線治療の進歩と将来	日本産科婦人科学会雑誌 (0300-9165)66巻9号 Page2062-2065(2014.09)
218	熊田博明	放射線腫瘍科診療グループ	【ホウ素中性子捕捉療法:BNCT】BNCTの線量評価/治療計画	Radioisotopes (0033-8303)64巻1号 Page39-48(2015.01)
219	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ	【90疾患の臨床推論診断の決め手を各科専門医が教えます】(第13章)咳 百日咳	レジデントノート (1344-6746)16巻14号 Page2698-2699(2014.12)
220	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ	【90疾患の臨床推論診断の決め手を各科専門医が教えます】(第13章)咳 結核	レジデントノート (1344-6746)16巻14号 Page2694-2695(2014.12)
221	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ	【感染症診療update】(II章)主要な臓器感染症 中枢神経系感染症 脳炎	日本医師会雑誌 (0021-4493)143巻特別2 PageS84-S85(2014.10)
222	矢野 晴美	細菌学的診断(感染症)診療グループ	【感染症ガイドラインoverview】胆道感染症に関するガイドライン	感染症内科 (2187-803X)2巻5号 Page505-509(2014.05)
223	大石 愛	総合診療グループ	第4回日本プライマリ・ケア連合学会ワークショップ『ジェネラリストに必要な緩和医療のスキルとは?』報告	日本プライマリ・ケア連合学会誌 (2185-2928)37巻4号 Page366-368(2014.12)
224	浜野 淳	総合診療グループ	日本におけるPrimary Palliative Care プライマリ・ケア医によるPrimary Palliative Careの普及と発展	日本プライマリ・ケア連合学会誌 (2185-2928)37巻3号 Page268-272(2014.09)
225	浜野 淳	総合診療グループ	【看取り、できますか?患者・家族が安心して最期を迎えるために総合診療ですべきこと】 家族にどう寄り添っていくか?	Gノート (2188-3033)1巻3号 Page366-374(2014.08)
226	浜野 淳	総合診療グループ	【がん疼痛の緩和ケア:新ガイドラインをめぐるトピックス】オピオイドの副作用対策 2014年版ガイドラインにおけるオピオイドの副作用対策概要	ペインクリニック (0388-4171)35巻5号 Page605-610(2014.05)
227	浜野 淳	総合診療グループ	【「緩和薬物療法」上級講座】緩和医療関連ガイドラインの行間を読む がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン	薬局 (0044-0035)65巻13号 Page3041-3048(2014.12)
228	浜野 淳	総合診療グループ	緩和とケアにおける看護への期待 緩和とケアの実践、教育、創造に向かって 医師の立場から看護師に期待すること	日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集 19回 Page215(2014.06)
229	浜野 淳	総合診療グループ	【その気にさせる伝え方】(スタッフ編)チーム力を高めるコミュニケーション	治療 (0022-5207)97巻2号 Page208-211(2015.02)
230	馬場 玲子	総合診療グループ	終末期がん患者の在宅療養移行における多職種連携を高めるチームマネジメントの	日本緩和医療学会学術大会プログラム・抄録集 19回 Page399(2014.06)
231	小曾根 早知子	総合診療グループ	地域診療所において短期勤務する医師が診療に加わることを、患者はどう思って	日本プライマリ・ケア連合学会誌 (2185-2928)37巻3号 Page219-224(2014.09)
232	前野 哲博	総合診療グループ	新しい総合診療専門医制度の動向とそのインパクト	人間の医学 (0385-924X)49巻2号 Page18-28(2014.07)
233	小林裕幸	総合診療グループ	【総合医のためのスポーツ医学ベーシックス】総合医が知っておきたいスポーツ医学の知識 スポーツと脳震盪	総合診療 (2188-8051)25巻2号 Page142-144(2015.02)
234	小林裕幸	総合診療グループ	プライマリ・ケアの現場で必要なスポーツ医学とは	【総合医のためのスポーツ医学ベーシックス】プライマリ・ケアの現場で必要なスポーツ医学とは
235	野口 恵美子	遺伝診療グループ	アレルギーと遺伝子・エピジェネティクス 次世代シーケンサーとアレルギー疾患 どのように使えるのか?	アレルギー (0021-4884)63巻3-4 Page386(2014.04)
236	野口 恵美子	遺伝診療グループ	【HLAのプレイクスルー-臨床応用と疾患研究の進歩】喘息・アトピー性疾患とHLA	医学のあゆみ(0039-2359)251巻4号 Page302-305(2014.10)
237	谷田貝 洋平	遺伝診療グループ	成人喘息の病態 中高年発症喘息(late onset asthma:LOA)を対象とした網羅的遺伝子解析	アレルギー (0021-4884)63巻3-4 Page503(2014.04)

238	谷田貝 洋平	遺伝診療グループ	Hyaluronan synthase 2(HAS2)遺伝子と喘息との関連 ゲノムワイド関連解析(GWAS)による検討	日本呼吸器学会誌 (2186-5876)3巻増刊 Page143(2014.03)
239	山田 英恵	遺伝診療グループ	喘息発症における呼吸機能関連遺伝因子の役割	日本呼吸器学会誌 (2186-5876)3巻増刊 Page177(2014.03)
240	山田 英恵	遺伝診療グループ	アレルギー発症と環境因子 健康人における吸入抗原のアレルギー感作に対するゲノム網羅的関連解析	アレルギー (0021-4884)63巻3-4 Page541(2014.04)
241	丹野 香織	手術部	手術室引越し時準備としてのリハーサルの方法について	日本手術医学会誌 (1340-8593)35巻2号 Page229-231(2014.05)
242	相原 樹里亞	手術部	新手術室使用前に行った手術リハーサルについて アンケート結果について	日本手術医学会誌 (1340-8593)35巻2号 Page232-234(2014.05)
243	横田 優希	手術部	内視鏡手術に対する看護師の苦手意識改善への取り組み	日本手術医学会誌 (1340-8593)35巻3号 Page290-293(2014.08)
244	星本 弘之	医療情報経営戦略部	データ活用推進にむけたデータ抽出ツールインターフェイスの開発	医療情報学連合大会論文集 (1347-8508)34回 Page968-969(2014.11)
245	百 賢二	薬剤部	化学・放射線療法誘発性の口腔粘膜炎に用いるインドメタシン噴霧剤の安定性	薬剤学: 生命とくすり (0372-7629)74巻3号 Page211-216(2014.05)

計245

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 目的と適用範囲，病院長の業務，研究者等の責務，自主臨床研究の申請について，審査の手順等について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適切な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 マネジメントの概要，組織，手続き及び方法，等。	
③ 利益相反を審査し、適切な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年6回
・ 研修の主な内容 自主臨床研究におけるトピックス，いま求められる臨床研究リテラシー	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(1) 研修期間は2年間とする。

(2) 研修科目および研修期間

幅広い研修の選択肢と魅力ある病院群で、一人ひとりに合った研修が可能であることが特徴である。たとえば、大学病院を中心に研修をしたい場合は全期間大学で、市中病院を中心に研修したい場合には16か月を協力病院で研修することが可能である。

各診療科の研修の詳細は以下の通りとする。

研修科目	内容	
必修科目	内科 (6か月)	院内および院外で研修する。院内の場合、以下の診療科から選択してローテーションする。研修する診療科および期間(1.5か月～3か月)は研修医の希望を考慮して調整する。 循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、内分泌代謝・糖尿病内科、膠原病リウマチアレルギー内科、血液内科、神経内科 common diseaseを数多く経験できる施設で3か月以上研修する場合は、一部の研修期間を院内の放射線診断・IVR、病理学的診断にあてることを認める。
	救急 (3カ月)	院内および院外で研修する。
	地域医療 (1ヵ月)	中小病院での1か月のブロック研修(選択3とあわせて3か月のブロック研修)又は選択必修1～3の期間に、週1回・6か月間の継続研修のどちらかを選択する。
選択必修科目	選択必修1 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択する。ただし、選択研修ですでに以下の診療科で研修している場合はこの期間を選択研修に振り替えることができる。 消化器外科、呼吸器外科、循環器外科、乳腺・甲状腺・内分泌外科、小児外科、形成外科、脳神経外科、整形外科、腎泌尿器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科
	選択必修2 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択する。ただし、選択研修ですでに以下の診療科で研修している場合はこの期間を選択研修に振り替えることができる。 小児科、小児外科
	選択必修3 (2ヵ月)	以下の診療科の中から選択することが望ましいが、研修医の希望により他の診療科も選択できる。 麻酔科、精神科※、産婦人科
選択科目	選択1・ 選択2 (3か月)	原則としてすべての診療科で可能。診療科の合意が得られれば、期間を分割して研修することもできる。基本的に院内とするが、院外で研修する場合は、総合臨床教育センターが指導体制、研修体制、全体とのバランスを考慮して診療科ごとに承認・調整した施設で行う。
	選択3 (3か月)	地域医療研修をブロック研修で行う場合、この期間に行う。それ以外の条件は選択1、2に準じる。

※精神科研修に関して

精神科研修を原則的にいずれかの研修形式で行う。

①選択必修3として2か月

②選択必修3として1か月(その場合、選択必修1または2の期間が3か月になる。)

③選択研修として1か月以上

a) 一般プログラム

common diseaseを幅広く研修出来るスーパーローテーション研修でも、将来の後期専門研修を見据えた一科集中型の研修でも、研修医の希望で選択して研修が可能である。また、内科研修・救急研修は、大学病院、市中病院のどちらでも研修が出来、選択必修における外科研修も多く、外科系研修科より選択できるなど、研修医の将来像に合わせた研修を個々の希望に応じて組むことができる。

コースは必修研修の内科、救急を院内で行うか院外で行うかによってA～Jまで10のコースに分かれる。

b) 特別プログラム（小児科特別プログラム、産科特別プログラム）

将来、小児科医、産科医師になることを希望する研修医を対象とした研修プログラム。

(3) ローテーションの決定方法

- 1) マッチング終了後、採用内定者が確定した時点で将来の志望分野の登録を行う。なお、志望分野未定で登録することも可能である。
- 2) 総合臨床教育センターは、国家試験合格発表後、採用者が確定した時点で研修施設・研修時期などのローテーションにおける選択肢を提示する。
- 3) 採用者は、選択肢の中から順位をつけて希望を提出する。この際、研修医の希望があれば総合臨床教育センターまたは志望分野に該当する養成コースと相談することも可能である。
- 4) 総合臨床教育センターにおいて調整し、最終的なローテーションを決定する。

(4) オリエンテーション

採用前に1週間程度のオリエンテーションを行う。内容は、実際に診療を行ううえで必要な手続き・注意事項の他に、接遇、安全管理、診療録の記載などの講習や、コミュニケーション技法、ACLS、EBM、静脈ラインの確保や採血などの基本的臨床技能についての講義・実習を行う。

(5) レジデントレクチャー

研修目標の達成に役立てることを目的として、総合臨床教育センター主催のレクチャーを開催する。ジュニアレジデントは30単位以上の出席を修了条件とする。

2 研修の実績

研修医の人数	145.5人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
.....
※別紙のとおり				
.....

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
前野 哲博	内科	総合診療グループ長	24年	研修統括者
兵頭 一之介	消化器内科	消化器内科診療グループ長	34年	研修統括者
青沼 和隆	循環器内科	循環器内科診療グループ長	37年	研修統括者
檜澤 伸之	呼吸器内科	呼吸器内科診療グループ長	29年	研修統括者
山縣 邦弘	腎臓内科	腎臓内科診療グループ長	31年	研修統括者
島野 仁	内分泌・代謝・糖尿病内科	内分泌代謝糖尿病内科診療グループ長	31年	研修統括者
住田 孝之	内科、リウマチ科、アレルギー科	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ長	36年	研修統括者
千葉 滋	血液内科	血液内科診療グループ長	31年	研修統括者
玉岡 晃	神経内科	神経内科診療グループ長	35年	研修統括者
人見 重美	感染症内科	細菌学的診断診療グループ長	25年	研修統括者
須磨崎 亮	小児科	小児内科診療グループ長	38年	研修統括者
新井 哲明	精神科	精神神経科診療グループ長	25年	研修統括者
藤本 学	皮膚科	診療グループ長	23年	研修統括者
南 学	放射線診断	放射線診断・IVR診療グループ長	32年	研修統括者
櫻井 英幸	放射線腫瘍科	放射線腫瘍科診療グループ長	27年	研修統括者
野口 雅之	病理診断科	病理診断診療グループ長	33年	研修統括者
大河内 信弘	消化器外科 臓器移植外科	消化器外科診療グループ長	37年	研修統括者
平松 祐司	心臓血管外科	循環器外科診療グループ長	29年	研修統括者
佐藤 幸夫	呼吸器外科	呼吸器外科診療グループ長	26年	研修統括者
原 尚人	乳腺内分泌外科	乳腺・甲状腺・内分泌外科診療グループ長	31年	研修統括者

増本 幸二	小児外科	小児外科診療グループ長	24年	研修統括者
関堂 充	形成外科	形成外科診療グループ長	27年	研修統括者
水谷 太郎	救急科	救急・集中診療グループ長	38年	研修統括者
山本 哲哉	脳・神経外科	脳神経外科診療グループ長	26年	研修統括者
山崎 正志	整形外科	整形外科診療グループ長	32年	研修統括者
西山 博之	泌尿器科	泌尿器外科診療グループ長	26年	研修統括者
佐藤 豊実	産科、婦人科	婦人・周産期診療グループ長	26年	研修統括者
田中 誠	麻酔科	麻酔科診療グループ長	29年	研修統括者
原 晃	耳鼻いんこう科 頭頸部外科	耳鼻咽喉科診療グループ長	36年	研修統括者
大鹿 哲郎	眼科	眼科診療グループ長	30年	研修統括者
檜澤 伸之	内科	睡眠呼吸障害療グループ長	29年	研修統括者
武川 寛樹	歯科口腔外科	歯科・口腔外科診療グループ長	31年	研修統括者

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 別紙のとおり ・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
研修名：診療の安全に関する研修（平成26年度に2回実施） ・研修の主な内容 1回目：医療事故防止に関する基本的事項、講演「Team STEPPSを導入してみた」、 後発医薬品の適正使用、個人情報 ー持たない、持ち出さない、匿名化ー、 個人防護具（PPE）の着脱について 2回目：医療事故防止に関する基本的事項、講演 宇宙飛行士に学ぶ職場ストレス対処法、 処方前に登録や研修等が必要な薬剤、鎮静マニュアルの実施、感染性胃腸炎の対応、 医療機器に関する研修実施と実施記録提出 ・研修の期間・実施回数 1回目：10日間・28回、2回目：11日間・31回 ・研修の参加人数 1回目：2742名、2回目：2717名
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修(平成26年度分)

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況

1	研修名	薬剤部セミナー
	研修の主な内容	薬剤業務改善、医薬品適正使用に関する研究の発表
	研修の期間・実施回数	21回
	研修の参加人数	40～50名
2	研修名	お薬説明会
	研修の主な内容	新薬の使用方法に関する講習
	研修の期間・実施回数	5回
	研修の参加人数	40-50名
3	研修名	がん医療従事者研修 地域がん診療連携拠点病院 薬剤師セミナー
	研修の主な内容	がん医療に携わる薬剤師に必要な知識に関する研修
	研修の期間・実施回数	1回
	研修の参加人数	50名
4	研修名	不妊治療に従事する看護師のための勉強会
	研修の主な内容	不妊治療の概要や、当院の不妊治療の実態、看護師の役割に関する講習を講義形式で行った。
	研修の期間・実施回数	2014年9月から2015年3月まで、2回
	研修の参加人数	約30-40名

5	研修名	小児外科セミナーシリーズ第13弾
	研修の主な内容	小児の移植と再生医療の現状に関する知識を第一人者から受ける「小児肝移植と再生医療のクロストーク」
	研修の期間・実施回数	2014年12月18日
	研修の参加人数	30名
6	研修名	小児外科セミナーシリーズ第14弾
	研修の主な内容	小児の胆道閉鎖症の第一人者から最新情報を得る「胆道閉鎖症の治療の現況」
	研修の期間・実施回数	2015年1月16日
	研修の参加人数	40名
7	研修名	小児外科セミナーシリーズ第15弾
	研修の主な内容	小児の代用気管に関する専門的知識を得るため「家兎における超弾性合金コイルを用いた代用気管と周囲肉芽組織内mTOR活性」
	研修の期間・実施回数	2015年2月6日
	研修の参加人数	30名
8	研修名	第3回つくば栄養サポート研究会
	研修の主な内容	患者に対して医師・看護師・栄養士がチームで支えるための勉強会「学会分類2013を用いて栄養管理を進めましょう」
	研修の期間・実施回数	2015年3月20日
	研修の参加人数	70名

9	研修名	小児救急勉強会
	研修の主な内容	茨城県内の救急隊員に対する小児救急医療教育
	研修の期間・実施回数	平成27年1月・1回
	研修の参加人数	46名
10	研修名	新生児蘇生法講習会
	研修の主な内容	出生時に胎外呼吸循環が順調に移行できない新生児に対して、いかにして心肺蘇生法を行うべきかを学ぶ。助産師、看護師、救急救命士を対象に実施。
	研修の期間・実施回数	平成26年5月～27年3月・15回
	研修の参加人数	179名
11	研修名	周産期救急勉強会
	研修の主な内容	茨城県内の救急隊員に対する小児救急医療教育
	研修の期間・実施回数	平成26年11月～12月・2回
	研修の参加人数	131名
12	研修名	つくば母乳育児支援勉強会
	研修の主な内容	お母さんと赤ちゃんに接する機会のある茨城県内の保健医療従事者を対照に、母乳育児支援に関する科学的根拠に基づいた最新の情報と臨床技能を伝え、協力し合うための勉強会
	研修の期間・実施回数	平成26年7月～11月・2回
	研修の参加人数	130名

13	研修名	新人職員合同研修会『多職種コミュニケーション』
	研修の主な内容	附属病院の全新人職員が一同に会し、これから同じ職場で働く仲間との職種をこえたコミュニケーション、人間関係の構築を目的とし、職種や担当部署を超えた全新人職員がグループを組
	研修の期間・実施回数	平成26年4月1日・1回
	研修の参加人数	270名
14	研修名	TEAMS研修会
	研修の主な内容	社会人に必須のスキルである「仕事の教え方」「業務の改善の仕方」「人への接し方」を、トヨタの人事育成「KAIZEN」の手法で身に付けた。
	研修の期間・実施回数	平成26年6月21日～平成27年12月23日・6回
	研修の参加人数	63名
15	研修名	TEAMSファシリテーター研修会
	研修の主な内容	トヨタの人事育成「KAIZEN」の手法で、社会人に必須のスキルである「仕事の教え方」「業務の改善の仕方」を身に付けたスタッフの中から、研修指導者(ファシリテーター)となるべき人材
	研修の期間・実施回数	平成26年11月8日～平成27年2月14日・2回(4日間)
	研修の参加人数	13名
16	研修名	MBTI: 自分の心を理解する
	研修の主な内容	MBTI自己分析メソッドを用い、自己理解を深め他者との違いについての理解も建設的に深めるスキルを身につけた。さらに基本編などでMBTIを体験したスタッフを対象に、指向間の相互
	研修の期間・実施回数	平成26年7月13日～平成27年3月8日・3回
	研修の参加人数	48名(延べ参加人数)

17	研修名	ノンテクニカルスキル研修
	研修の主な内容	リーダーシップやチームビルディング、ミーティングファシリテーション、コーチング、人材養成、コンフリクトマネジメント、問題解決能力などを、豊富なワークを含むプログラムで、専門の講師
	研修の期間・実施回数	平成26年7月26日～平成27年1月25日・5回(7日間)
	研修の参加人数	91名(延べ参加人数)
18	研修名	ワークショップ「こんなときどうする？ 患者が訴える症状へのアプローチ ～すべての医療職に求められる初期対応～」
	研修の主な内容	医療現場で出会うことの多い「症候」に対し、ケーススタディ方式で学んだ。症例の最初の情報を提示して、その場面で医療者は何を考え、どのように情報を集め、どう動くべきか、受講者
	研修の期間・実施回数	平成26年10月20日～12月8日・4回(5日間)
	研修の参加人数	228名(延べ参加人数)
19	研修名	妊産褥婦に対する最新医学管理研修
	研修の主な内容	助産師、看護師を対象に、実際の症例を題材として、妊産褥婦に対する最新の医学的な管理法を医師(周産期(母体・胎児)専門医)が教育する
	研修の期間・実施回数	平成26年4月～平成27年3月・計45回
	研修の参加人数	1回平均5名
20	研修名	院内NST勉強会(栄養スクリーニングと栄養アセスメントについて)
	研修の主な内容	栄養アセスメントの手法 病棟別SGA(主観的包括的評価)入力方法
	研修の期間・実施回数	平成26年10月～平成27年1月 計10回
	研修の参加人数	98名(看護師)

21	研修名	つくば栄養サポート研究会
	研修の主な内容	地域の医療従事者に対し栄養療法の技術の向上と教育を目的とした講義と栄養療法実践医療チームによる研究発表
	研修の期間・実施回数	平成26年4月～平成27年3月まで 2回開催
	研修の参加人数	165名(管理栄養士・看護師、薬剤師・理学療法士・言語聴覚士)
22	研修名	鍼灸師に対する脳神経外科研修
	研修の主な内容	手術見学、カンファランス参加
	研修の期間・実施回数	2月期 1週間
	研修の参加人数	1名

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. 現状
管理責任者氏名	病院長 松村 明
管理担当者氏名	医療情報経営戦略部長 大原 信、薬剤部長 本間 真人 病院総務部総務課長 岡野 勉、医事課長 石塚 伸

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報経営戦略部 薬剤部 総務課	紙カルテは1患者1ファイルにより医療情報経営戦略部の病歴室で、電子化後は医療情報経営戦略部サーバ室のサーバで管理している。エックス線写真等も医療情報経営戦略部で一括して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	臨床医療管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	リスクマネジメント委員会	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	臨床医療管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	臨床医療管理部	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
	各号及び第九條	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第二十三條	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
	第一項	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	附属病院長 松村 明	
閲覧担当者氏名	病院総務部総務課長 岡野 勉、医事課長 石塚 伸	
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部総務課、医事課	
閲覧の手続の概要		
病院の診療に関するもの		
診療記録の閲覧については、本院が定めた「診療記録開示請求書」に必要事項を記入の上、医事課へ提出する。		
病院の管理に運営に関するもの		
病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧については、大学が定めた「法人文書開示請求書」に必要事項を記入の上、総務課へ提出する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 組織として事故防止に取り組む。 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 医療の安全に関する教育研修を実施する。など	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
・ 活動の主な内容： ・ 医療に係る安全管理体制に関すること。 ・ 医療に係る安全管理のための指針の作成及び見直しに関すること。 ・ 医療事故を防止するための医療従事者に対する啓発に関すること。 ・ 医療事故等に係る患者、家族等への対応に関すること。 ・ 医療事故等が発生した場合の原因の分析並びに改善策の立案、実施及び周知に関する こと。など	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 9 回
・ 研修の主な内容： ・ 法令及び研修目的に沿ったものとする。必要に応じて、感染対策、医薬品、医療機器の安全管 理に関する内容を含める。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療行為の手順をエビデンスに基づいて改善する。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (6) 名 ・ 活動の主な内容： 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 医療紛争支援 医療サービスの向上のための企画及び教育	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状 況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理部の設置 院内感染発生時の対応 職員研修</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>チームワークとは？ (2 8 回開催) 労働安全衛生 (3 1 回開催)</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内感染対策改善策を感染対策委員会で審議・決定後、各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡 感染管理部から、院内感染対策改善策を各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡</p>	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>① 全職員を対象とした「診療の安全に関する研修（第1期）チームワークとは？」において、後発医薬品の適正使用」をテーマに、資料を用いて説明を行った。</p> <p>② 全職員を対象とした「診療の安全に関する研修（第2期）労働安全衛生」において、「処方前に登録や研修等が必要な薬剤」をテーマに、資料を用いて説明を行った。</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (○有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>定期的な院内巡視にて実施状況を確認している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">・ 製薬企業MRからの情報収集・ 医薬品医療機器総合機構からのメール受信（医薬品医療機器情報配信サービス）・ 個人のメールボックスへの印刷物の配布（薬剤部からのお知らせ等）・ 院内メールによる情報配信・ 薬剤部内の朝礼による周知・ 薬剤部HPにおいても、情報提供	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	② (有)・無																																								
③ 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年153回																																								
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新規購入機器のための研修、継続使用のための定期研修、デモ機／治験のための研修 その他の必要時に行った研修</p> <table border="0"><tr><td>1. 人工心肺装置・PCPS・IABP -----</td><td>17回</td><td>(325人)</td></tr><tr><td>2. 人工呼吸器 -----</td><td>16回</td><td>(211人)</td></tr><tr><td>3. 血液浄化装置 -----</td><td>8回</td><td>(73人)</td></tr><tr><td>4. 除細動器 -----</td><td>14回</td><td>(104人)</td></tr><tr><td>5. 閉鎖式保育器 -----</td><td>7回</td><td>(55人)</td></tr><tr><td>6. 診療用高エネルギー放射線発生装置 -----</td><td>2回</td><td>(11人)</td></tr><tr><td>7. 診療用放射線照射装置 -----</td><td>2回</td><td>(9人)</td></tr><tr><td>8. 粒子線照射装置 -----</td><td>14回</td><td>(37人)</td></tr><tr><td>9. その他医療機器 23機器 -----</td><td>71回</td><td>(618人)</td></tr></table>		1. 人工心肺装置・PCPS・IABP -----	17回	(325人)	2. 人工呼吸器 -----	16回	(211人)	3. 血液浄化装置 -----	8回	(73人)	4. 除細動器 -----	14回	(104人)	5. 閉鎖式保育器 -----	7回	(55人)	6. 診療用高エネルギー放射線発生装置 -----	2回	(11人)	7. 診療用放射線照射装置 -----	2回	(9人)	8. 粒子線照射装置 -----	14回	(37人)	9. その他医療機器 23機器 -----	71回	(618人)													
1. 人工心肺装置・PCPS・IABP -----	17回	(325人)																																							
2. 人工呼吸器 -----	16回	(211人)																																							
3. 血液浄化装置 -----	8回	(73人)																																							
4. 除細動器 -----	14回	(104人)																																							
5. 閉鎖式保育器 -----	7回	(55人)																																							
6. 診療用高エネルギー放射線発生装置 -----	2回	(11人)																																							
7. 診療用放射線照射装置 -----	2回	(9人)																																							
8. 粒子線照射装置 -----	14回	(37人)																																							
9. その他医療機器 23機器 -----	71回	(618人)																																							
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況																																									
<p>・ 計画の策定 ((有)・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>1. 人工心肺装置・PCPS・IABP -----</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>9台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>2. 人工呼吸器 -----</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>53台</td><td>(点検率94%)</td></tr><tr><td>3. 血液浄化装置 -----</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>31台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>4. 除細動器 -----</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>44台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>5. 閉鎖式保育器 -----</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>18台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>6. 診療用高エネルギー放射線発生装置 -----</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>2台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>7. 診療用放射線照射装置 -----</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>1台</td><td>(点検率100%)</td></tr><tr><td>8. 粒子線照射装置 -----</td><td>年次点検</td><td>保有数</td><td>1台</td><td>(点検率100%)</td></tr></table> <p>※人工呼吸器の未点検3台(6%)については、1台は廃棄予定のため未点検とした。残りの2台は5月25日に年次点検を終えた。</p>		1. 人工心肺装置・PCPS・IABP -----	年次点検	保有数	9台	(点検率100%)	2. 人工呼吸器 -----	年次点検	保有数	53台	(点検率94%)	3. 血液浄化装置 -----	年次点検	保有数	31台	(点検率100%)	4. 除細動器 -----	年次点検	保有数	44台	(点検率100%)	5. 閉鎖式保育器 -----	年次点検	保有数	18台	(点検率100%)	6. 診療用高エネルギー放射線発生装置 -----	年次点検	保有数	2台	(点検率100%)	7. 診療用放射線照射装置 -----	年次点検	保有数	1台	(点検率100%)	8. 粒子線照射装置 -----	年次点検	保有数	1台	(点検率100%)
1. 人工心肺装置・PCPS・IABP -----	年次点検	保有数	9台	(点検率100%)																																					
2. 人工呼吸器 -----	年次点検	保有数	53台	(点検率94%)																																					
3. 血液浄化装置 -----	年次点検	保有数	31台	(点検率100%)																																					
4. 除細動器 -----	年次点検	保有数	44台	(点検率100%)																																					
5. 閉鎖式保育器 -----	年次点検	保有数	18台	(点検率100%)																																					
6. 診療用高エネルギー放射線発生装置 -----	年次点検	保有数	2台	(点検率100%)																																					
7. 診療用放射線照射装置 -----	年次点検	保有数	1台	(点検率100%)																																					
8. 粒子線照射装置 -----	年次点検	保有数	1台	(点検率100%)																																					
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																																									
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有)・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>院内の全ての医療機器は、医療機器管理システムMEDICSON(クラウド)にてMEセンターが台帳登録を行い、医療機器管理センターで一元管理している。</p> <p>厚生労働省及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)等が発信する医療機器に関する「安全性関係情報」をMEDICSON(クラウド)が受信した後、当院の医療機器管理システム端末へ定期的送信される。</p> <p>なお、端末で受信した「安全性関係情報」は、台帳登録された機器の種類、表示件名、発表日、発表元、外部リンク(URL)情報が表示される。担当職員が、その安全情報のURLより、該当する医療機器のシリアルNo.及び使用部署の確認等を行い、通知文書を作成して関係者に周知している。</p>																																									

年間機器点検計画及び実績記録表 (2015/03) 2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考	
									2014年度													
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1 TU-0000005823	人工心肺装置	人工心肺: 定期点検	年1回点検	心肺002	HAS	272054	2007年8月1日	手術部											○	■ 1/13		*7月リース契約更新 期限 2015.6月 詳細: 人工心肺関連ファイル
2 TU-2012120201	人工心肺装置	人工心肺: 定期点検	年1回点検	心肺003	HAS II	120454	2012年12月19日	手術部											○	■ 1/16		2012年12月購入 詳細: 人工心肺関連ファイル

1 TU-0000003746	大動脈バルーンポンプ	大動脈バルーンポンプ: 定期	年1回点検	IABP-001	コラト BP21-T	295158	2009年10月	ICU											● 12/17			詳細: 人工心肺関連ファイル	
2 TU-2010080018	大動脈バルーンポンプ	大動脈バルーンポンプ: 定期	年1回点検	IABP-002	コラト BP21-T	105188	2010年8月11日	手術部											● 12/9			詳細: 人工心肺関連ファイル	
3 TU-2010070001	大動脈バルーンポンプ	大動脈バルーンポンプ: 定期	年1回点検	IABP-003	GS300	S1170477A0	2010年7月8日	放射線					○	■ 9/17						(●) 2/25		保守契約締結 (年2回) 詳細: 人工心肺関連ファイル	
4 TU-2010080017	大動脈バルーンポンプ	大動脈バルーンポンプ: 定期	年1回点検	IABP-004	GS300	S1170178A0	2010年8月9日	放射線					○	■ 9/17						(○)	(■) 3/10		保守契約締結 (年2回) 詳細: 人工心肺関連ファイル

1 TU-2010080007	PCPS	PCPS: 定期	年1回点検	PCPS-001	560BCS1	560B100944	2010年8月5日	ICU											■ 11/7	○		詳細: 人工心肺関連ファイル	
2 TU-0000004265	PCPS	PCPS: 定期	年1回点検	PCPS-002	SP-101	90900010	2009年11月4日	救急外来												○	■ 12/2		詳細: 人工心肺関連ファイル
3 TU-0000003749	PCPS	PCPS: 定期	年1回点検	PCPS-003	550BCS1	6442	1996年1月31日	手術部											■ 11/25	○		2012年10月 サポートエンド 院内点検 詳細: 人工心肺関連ファイル	
4 TU-2013030116	PCPS	PCPS: 定期	年1回点検	PCPS-004	HAS-GFP	130135	2013年3月27日	ICU												● 12/2		詳細: 人工心肺関連ファイル	

年間機器点検計画及び実績記録表 (2015/3月) 2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考							
									2014年度																			
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
TU-0000001352	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	PAC-2	P20DMR1/NJ/5JP	129W0	1999年3月26日	医療機器管理センター	●																詳細:人工呼吸器ファイル③			
		メーカー定期							4/18																			
TU-0000001353	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	PAC-3	P20DMR1/NJ/5	128W0	1999年3月30日	医療機器管理センター	●																詳細:人工呼吸器ファイル③			
		メーカー定期							4/18																			
TU-0000001355	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	Baby P-1	B10MR1/NJ/5JP	502278		NICU	●																詳細:人工呼吸器ファイル③			
		メーカー定期							4/18																			
TU-0000001359	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	SLE-1	SLE5000	521701S	2007年11月16日	医療機器管理センター																	更新予定 詳細:人工呼吸器ファイル④			
		メーカー定期							更新予定																			
TU-0000001363	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-1	840	3510020624	2003年2月28日	医療機器管理センター															■	10/21	○	詳細:人工呼吸器ファイル①		
		メーカー定期																										
TU-0000001364	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-2	840	3510020626	2003年2月28日	医療機器管理センター																■	10/30	○	詳細:人工呼吸器ファイル①	
		メーカー定期																										
TU-0000001365	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-3	840	3510033560	2004年3月31日	医療機器管理センター	■																○	詳細:人工呼吸器ファイル①		
		メーカー定期							4/15																			
TU-0000001366	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-4	840	3510033821	2004年3月31日	医療機器管理センター	■					○												詳細:人工呼吸器ファイル①		
		メーカー定期							4/16																			
TU-0000001367	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-5	840	3510053834	2006年2月17日	医療機器管理センター	■																	詳細:人工呼吸器ファイル①		
		メーカー定期							4/15																			
TU-0000001368	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-6	840	3510053860	2006年2月17日	医療機器管理センター																■	9/16	■	10/21	詳細:人工呼吸器ファイル①
		メーカー定期																										
TU-0000001369	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-7	840	3510053851	2006年3月15日	医療機器管理センター	■																		詳細:人工呼吸器ファイル①	
		メーカー定期							5/15																			
TU-0000001370	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-8	840	3510083441	2009年4月10日	医療機器管理センター																	■	5/13	詳細:人工呼吸器ファイル①	
		メーカー定期							5/13																			
TU-0000001371	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-9	840	3510083435	2009年4月10日	医療機器管理センター																	■	7/23	○	詳細:人工呼吸器ファイル①
		メーカー定期																										
TU-0000001372	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-10	840	3510083342	2009年4月10日	医療機器管理センター																	■	3/11	詳細:人工呼吸器ファイル①	
		メーカー定期							○																			
TU-0000001373	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-11	840	3510083340	2009年4月10日	医療機器管理センター																	○	■	3/24	詳細:人工呼吸器ファイル②
		メーカー定期																										

年間機器点検計画及び実績記録表 (2015/3月) 2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考			
									2014年度															
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
16 TU-0000001374	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-12	840	3510074047	2009年4月10日	医療機器管理センター			○										■ 3/10	詳細:人工呼吸器ファイル②		
		メーカー定期																						
17 TU-0000001375	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	840-13	840	3510073224	2009年4月10日	医療機器管理センター													■ 10/2	詳細:人工呼吸器ファイル②		
		メーカー定期																						
18 TU-0000001376	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	calliope-1	カリオベ		2000年2月22日	NICU	廃棄												2014年1月 サポートエンド 2014/6/4廃棄			
		メーカー定期																						
19 TU-0000001381	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	SIPAP-1	675-CFG-012	AKN01575	2009年7月13日	NICU		○											■ 12/20	詳細:人工呼吸器ファイル④		
		メーカー定期																						
20 TU-0000001382	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	SIPAP-2	675-CFG-012	AKN01576	2009年7月13日	NICU	○														詳細:人工呼吸器ファイル④	
		メーカー定期																						
21 TU-0000001383	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	SIPAP-3	675-CFG-012	AKN01578	2009年7月13日	NICU														○	詳細:人工呼吸器ファイル④	
		メーカー定期																						
22 TU-0000001384	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	SIPAP-4	675-CFG-012	AKN01579	2009年7月13日	NICU														○	詳細:人工呼吸器ファイル④	
		メーカー定期																						
23 TU-0000001385	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	calliope-2	カリオベα	C00252	2009年6月16日	NICU	■ 4/22		○												詳細:人工呼吸器ファイル④	
		メーカー定期																						
24 TU-2010100007	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	PAC-1	P200D/NJ	1007215	2010年10月13日	医療機器管理センター														● 4/18	詳細:人工呼吸器ファイル③	
		メーカー定期																						
25 TU-2011020080	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	SIPAP-5	675-CFG-012	BBN01006	2011年2月25日	NICU														○	詳細:人工呼吸器ファイル④	
		メーカー定期																						
26 TU-2012030045	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	SIPAP-6	675-CFG-012	BCN01107	2012年3月29日	NICU														● 3/4	詳細:人工呼吸器ファイル④	
		メーカー定期																						
27 TU-2012110071	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	PAC-5	P200D/NJ	1209031	2012年11月20日	HCU														● 4/18	詳細:人工呼吸器ファイル③	
		メーカー定期																						
28 TU-2012120042	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	VN500	Babylog VN500	ASDK-0022	2012年12月7日	NICU		前年度からの継続													○	詳細:人工呼吸器ファイル③
		メーカー定期																						
29 TU-2012120043	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	oxylog	Oxylog3000 Plus	ASDL-0139	2012年12月7日	救急部門															○	詳細:人工呼吸器ファイル③
		メーカー定期																						
30 TU-2012120104	人工呼吸器	院内CE精度点検	どちらか年1回点検	V60-2	V60	100071398	2012年12月18日	医療機器管理センター														○	詳細:人工呼吸器ファイル⑤	
		メーカー定期																						

年間機器点検計画及び実績記録表 (2015/3月) 2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考					
									2014年度																	
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
31 TU-2012120106	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	V60-1	V60	100070769	2012年12月 18日	医療機器管理セ ンター																	詳細:人工呼吸器ファイル⑤	
		メーカー定期																								
32 TU-2013090026	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	840-14	840	3512132532	2013年9月 25日	医療機器管理セ ンター																		2013年9月購入 詳細:人工呼吸器ファイル②
		メーカー定期																								
33 TU-2013090027	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	840-15	840	3512132533	2013年9月 25日	医療機器管理セ ンター																		2013年10月購入 詳細:人工呼吸器ファイル②
		メーカー定期																								
34 TU-2013090028	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	840-16	840	3512132534	2013年9月 25日	医療機器管理セ ンター																		2013年11月購入 詳細:人工呼吸器ファイル②
		メーカー定期																								
35 TU-2013090029	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	840-17	840	3512132535	2013年9月 25日	医療機器管理セ ンター																		2013年12月購入 詳細:人工呼吸器ファイル②
		メーカー定期																								
36 TU-2013120013	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	V60-3	V60	100091377	2013年12月 24日	医療機器管理セ ンター																		2013年12月購入 詳細:人工呼吸器ファイル⑤
		メーカー定期																								
37 TU-2013120014	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	V60-4	V60	100091842	2013年12月 24日	医療機器管理セ ンター																		2013年12月購入 詳細:人工呼吸器ファイル⑤
		メーカー定期																								
38 TU-2013120015	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	V60-5	V60	100098439	2013年12月 24日	医療機器管理セ ンター																		2013年12月購入 詳細:人工呼吸器ファイル⑤
		メーカー定期																								
39 TU-2014030147	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	840-18	840	3512140404	2014年3月 25日	医療機器管理セ ンター																		2014年3月購入 詳細:人工呼吸器ファイル②
		メーカー定期																								
40 TU-2014030148	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	840-19	840	3512140501	2014年3月 25日	医療機器管理セ ンター																		2014年3月購入 詳細:人工呼吸器ファイル②
		メーカー定期																								
41 TU-2014030149	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	840-20	840	3512140581	2014年3月 25日	医療機器管理セ ンター																		2014年3月購入 詳細:人工呼吸器ファイル②
		メーカー定期																								
42 TU-2014030150	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年2回 点検	840-21	840	3512140611	2014年3月 25日	医療機器管理セ ンター																		2014年3月購入 詳細:人工呼吸器ファイル③
		メーカー定期																								
43 TU-2014030151	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	840-22	840	3512140614	2014年3月 25日	医療機器管理セ ンター																		2014年3月購入 詳細:人工呼吸器ファイル③
		メーカー定期																								
44 TU-2014030152	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	Trilogy-01	Trilogy 02	TV014021701	2014年3月 28日	医療機器管理セ ンター																		2014年3月購入 詳細:人工呼吸器ファイル⑥
		メーカー定期																								
45 TU-2014030153	人工呼吸器	院内C E精度点検	どちらか年1回 点検	Trilogy-02	Trilogy 02	TV014021702	2014年3月 28日	医療機器管理セ ンター																		2014年3月購入 詳細:人工呼吸器ファイル⑥
		メーカー定期																								

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/3月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

No.	機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考			
										2014年度															
										4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	TU-2012100645	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-001	DBG-03	72042-01	2012年10月31日	透析 1BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
2	TU-2012100648	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-002	DBG-03	72042-02	2012年10月31日	透析 2BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
3	TU-2012100639	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-003	DBG-03	72042-03	2012年10月31日	透析 3BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
4	TU-2012100643	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-004	DBG-03	72042-04	2012年10月31日	透析 4BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
5	TU-2012100637	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-005	DBG-03	72042-05	2012年10月31日	透析 5BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
6	TU-2012100646	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-006	DBG-03	72050-02	2012年10月31日	透析 6BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
7	TU-2012100647	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-007	DBG-03	72050-03	2012年10月31日	透析 7BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
8	TU-2012100640	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-008	DBG-03	72050-04	2012年10月31日	透析 8BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
9	TU-2012100642	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-009	DBG-03	72049-04	2012年10月31日	透析 9BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
10	TU-2012100638	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-010	DBG-03	72049-05	2012年10月31日	透析 10BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
11	TU-2012100644	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-011	DBG-03	72050-01	2012年10月31日	透析 11BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
12	TU-2012100650	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-012	DBG-03	72049-01	2012年10月31日	透析 12BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
13	TU-2012100651	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-013	DBG-03	72049-02	2012年10月31日	透析 13BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
14	TU-2012100649	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-014	DBG-03	72049-03	2012年10月31日	透析 14BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル
15	TU-2012100641	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-015	DBG-03	72050-05	2012年10月31日	透析 15BED								○	■	11/14						詳細：血液浄化関係ファイル

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/3月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考			
									2014年度															
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
16	TU-0000002225	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-016	DBG-03	67009-05	2008年3月11日	ICU		○		■ 7/24											前年度予定点検分 詳細：血液浄化関係ファイル
17	TU-0000002229	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-017	DBG-03	67011-04	2008年3月11日	ICU		○		■ 7/24											前年度予定点検分 詳細：血液浄化関係ファイル
18	TU-2010060030	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-018	DBG-03	70012-02	2010年6月24日	ICU		○		■ 7/24											前年度予定点検分 詳細：血液浄化関係ファイル
19	TU-0000002221	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-019	DBG-03	67009-04	2008年3月11日	旧血液浄化		○		■ 7/24											前年度予定点検分 詳細：血液浄化関係ファイル
20	TU-0000002209	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-020	DBG-03	67009-01	2008年3月11日	旧血液浄化		○		■ 7/24											前年度予定点検分 詳細：血液浄化関係ファイル
21	TU-0000002213	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-021	DBG-03	67009-02	2008年3月11日	旧血液浄化		○		■ 7/24											前年度予定点検分 詳細：血液浄化関係ファイル
22	TU-0000002217	透析装置	透析機：メーカー定期	年1回点検	HD-022	DBG-03	67009-03	2008年3月11日	旧血液浄化		○		■ 7/24											前年度予定点検分 詳細：血液浄化関係ファイル

1	TU-0000002294	血液浄化装置	血液浄化：メーカー定期	年1回点検	KM-004	KM-8900EX	07C89297	2008年3月	血液浄化		○													廃棄申請中 詳細：血液浄化関係ファイル	
2	TU-0000002246	血液浄化装置	血液浄化：メーカー定期	年1回点検	KM-005	KM-8900EX	07C89298	2008年3月	血液浄化		○		■ 7/23												詳細：血液浄化関係ファイル
3	TU-2012110006	血液浄化装置	院内CE点検 メーカー定期	どちらか年1回点検	Σ-001	ACH-Σ	60619	2012年11月31日	血液浄化											○			■ 2/4	詳細：血液浄化関係ファイル	
4	TU-2012110006	血液浄化装置	院内CE精度点検 メーカー定期	どちらか年1回点検	Σ-002	ACH-Σ	60620	2012年11月31日	血液浄化											○			■ 2/4	詳細：血液浄化関係ファイル	
5	TU-2012110006	血液浄化装置	院内CE点検 メーカー定期	どちらか年1回点検	Σ-003	ACH-Σ	60621	2012年11月31日	血液浄化											○			■ 2/4	詳細：血液浄化関係ファイル	
6	TU-2012110006	血液浄化装置	院内CE点検 メーカー定期	どちらか年1回点検	Σ-004	ACH-Σ	60622	2012年11月31日	血液浄化											○			■ 2/4	詳細：血液浄化関係ファイル	
7	TU-2012110006	血液浄化装置	院内CE点検 メーカー定期	どちらか年1回点検	Σ-005	ACH-Σ	60623	2012年11月31日	血液浄化											○			■ 2/4	詳細：血液浄化関係ファイル	

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/03月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考	
									2014年度													
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1 TU-0000001299	除細動器	除細動器FC-1700定期点検	年2回点検	DC-001	FC-1700	33150447	2003年3月27日	5階NICU			●							○	■	1/28	詳細：除細動器点検ファイル①	
2 TU-0000000821	除細動器	除細動器FC-560定期点検	年2回点検	DC-002	FC-560	32052939	2000年8月1日	5階東			●								○	■	1/28	2010/3/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル①
3 TU-0000000822	除細動器	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-003	TEC-5531	387	2009年9月2日	2階HCU		■	○								○	■	1/21	詳細：除細動器点検ファイル①
4 TU-0000000823	除細動器	除細動器FC-560定期点検	年2回点検	DC-004	FC-560	29092105	1997年9月26日	6階西小児総合医療センター			●								○	■	1/28	2010/3/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル①
5 TU-0000000824	除細動器	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-005	TEC-5521	281	2009年9月2日	7階東		■	○								○	■	1/22	詳細：除細動器点検ファイル①
6 TU-0000000845	除細動器	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-006	TEC-5521	271	2009年9月2日	11階東		■	○								○	■	1/23	詳細：除細動器点検ファイル①
7 TU-0000000846	除細動器	除細動器FC-560定期点検	年2回点検	DC-007	FC-560	26111037	1995年2月1日	B801			●								○	■	1/29	2010/3/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル①
8 TU-0000000847	除細動器	除細動器FC-560定期点検	年2回点検	DC-008	FC-560	27101308	1996年3月1日	光学医療診療部			●								○	■	1/28	2010/3/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル①
9 TU-0000000848	除細動器	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-009	TEC-5521	280	2009年9月2日	8階東		■	○								○	■	1/22	詳細：除細動器点検ファイル①
10 TU-0000000851	除細動器	除細動器M4735A定期点検	年2回点検	DC-012	M4735A	US00443942	1996年3月28日	2階ICU/PICU			●								○	■	1/30	詳細：除細動器点検ファイル①
11 TU-0000000820	除細動器	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-013	TEC-5531	389	2009年9月2日	6階東		■	○								○	■	1/22	詳細：除細動器点検ファイル①
12 TU-0000001323	除細動器	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-014	TEC-5521	277	2009年9月2日	9階東		■	○								○	■	1/22	詳細：除細動器点検ファイル①
13 TU-0000001324	除細動器	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-015	TEC-5521	278	2009年9月2日	B630		■	○								○	■	1/27	詳細：除細動器点検ファイル①
14 TU-0000001325	除細動器	除細動器FC-560定期点検	年2回点検	DC-016	FC-560	31092748	1999年9月1日	A180外来（外来手術室）			●								○	■	1/28	2010/3/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル①

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/03月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考	
									2014年度													
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
15 TU-0000001326	除細動器	除細動器FC-1700定期点検	年2回点検	DC-017	FC-1700	50000078	1997年2月9日	8階西				●							○	■	1/28	詳細：除細動器点検ファイル①
16 TU-0000001327	除細動器	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-018	TEC-5521	279	2009年9月2日	10階西			■	○							○	■	1/23	詳細：除細動器点検ファイル①
17 TU-0000001328	除細動器	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-019	TEC-5531	74	2008年12月24日	放射線C-113				●							○	■	1/16	詳細：除細動器点検ファイル①
18 TU-0000001329	除細動器	除細動器TEC-7731定期点検	年2回点検	DC-020	TEC-7731	408	2002年7月5日	放射線C-111				●							○	■	1/15	詳細：除細動器点検ファイル①
19 TU-0000001330	除細動器	除細動器TEC-8251定期点検	年2回点検	DC-021	TEC-8251	207516B	1997年3月27日	核医学				●							○	■	1/26	2005/5/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル②
20 TU-0000001331	除細動器	除細動器TEC-7511定期点検	年2回点検	DC-022	TEC-7511	798	2000年2月29日	MRI/CT				●							○	■	1/27	2010/12/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル②
21 TU-0000001333	除細動器	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-024	TEC-5531	383	2000年9月29日	放射線C-112				●							○	■	1/15	詳細：除細動器点検ファイル②
22 TU-0000001334	除細動器	除細動器TEC-7531定期点検	年2回点検	DC-025	TEC-7531	003058A	1998年2月27日	機能検査			■	○							○	■	1/26	2010/12/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル②
23 TU-0000001335	除細動器	除細動器TEC-7531定期点検	年2回点検	DC-026	TEC-7531	003068A	1995年2月17日	機能検査			■	○							○	■	1/26	2010/12/1 サポートエンド 詳細：除細動器点検ファイル②
24 TU-0000001336	除細動器	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-027	TEC-5521	308	2009年9月2日	リハビリテーション部				●							○	■	1/27	詳細：除細動器点検ファイル②
25 TU-0000001337	除細動器	除細動器FC-1700定期点検	年2回点検	DC-028	FC-1700	33150501	2002年3月29日	2階血液浄化療法部				●							○	■	1/28	詳細：除細動器点検ファイル②
26 TU-0000001338	除細動器	除細動器M4735A定期点検	年2回点検	DC-029	M4735A	US00117386	1992年3月25日	2階ICU/PICU				●							○	■	1/30	詳細：除細動器点検ファイル②
27 TU-0000001339	除細動器	除細動器FC-1700定期点検	年2回点検	DC-030	FC-1700	32140116	2001年3月28日	MEセンター				●							○	■	1/29	詳細：除細動器点検ファイル②
28 TU-0000001340	除細動器	除細動器TEC-7731定期点検	年2回点検	DC-031	TEC-7731	340	2002年6月25日	手術室11				●							○	■	1/20	詳細：除細動器点検ファイル②

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/03月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考				
									2014年度																
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
29	TU-0000001341	除細動器TEC-7731定期点検	年2回点検	DC-032	TEC-7731	343	2002年6月25日	手術室7		■	○								○	■	1/20			詳細：除細動器点検ファイル②	
30	TU-0000001342	除細動器FC-1700定期点検	年2回点検	DC-033	FC-1700	33150500	2002年3月29日	A230外来(小児内科)			●									○	■	1/28			詳細：除細動器点検ファイル②
31	TU-0000001343	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-034	TEC-5531	386	2009年9月2日	1階救急部門K-102			●									○	■	1/19			詳細：除細動器点検ファイル②
32	TU-0000001344	除細動器LP12B定期点検	年2回点検	DC-035	LP12B	34759709	2010年3月25日	1階救急部門			●									○	■	1/29			詳細：除細動器点検ファイル②
33	TU-2011090018	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-036	TEC-5531	1697	2011年9月	化学療法室			●									○	■	1/26			詳細：除細動器点検ファイル②
34	TU-2012010006	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-037	TEC-5531	1861	2012年1月	放射線C-114			●									○	■	1/16			詳細：除細動器点検ファイル②
35	TU-2012040015	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-038	TEC-5521	1266	2012年4月	陽子線センター			■	○								○	■	1/27			詳細：除細動器点検ファイル②
36	TU-2012120060	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-039	TEC-5531	2587	2012年12月14日	1階救急部門K-102			■	○								○	■	1/19			詳細：除細動器点検ファイル②
37	TU-2012120061	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-040	TEC-5531	2588	2012年12月14日	1階救急部門K-105			■	○								○	■	1/13			詳細：除細動器点検ファイル②
38	TU-2012120062	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-041	TEC-5531	2589	2012年12月14日	2階ICU/PICU			■	○								○	■	1/19			詳細：除細動器点検ファイル③
39	TU-2012120063	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-042	TEC-5531	2590	2012年12月14日	2階HCU			■	○								○	■	1/21			詳細：除細動器点検ファイル③
40	TU-2012120064	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-043	TEC-5531	2591	2012年12月14日	2階HCU			■	○								○	■	1/19			詳細：除細動器点検ファイル③
41	TU-2012120065	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-044	TEC-5531	2592	2012年12月14日	10階東			■	○								○	■	1/14			詳細：除細動器点検ファイル③
42	TU-2012120066	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-045	TEC-5531	2593	2012年12月14日	10階東			■	○								○	■	1/14			詳細：除細動器点検ファイル③

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/03月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

No.	機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考	
										2014年度													
										4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
43	TU-2012120067	除細動器	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-046	TEC-5531	2599	2012年12月14日	3階手術部		■ 5/29	○							○	■ 1/21			詳細：除細動器点検ファイル③
44	TU-2013010014	除細動器	除細動器TEC-5521定期点検	年2回点検	DC-047	TEC-5521	1550	2013年1月17日	5階MFICU		■ 6/4	○							○	■ 1/21			詳細：除細動器点検ファイル③
45	TU-2014100018	除細動器	除細動器TEC-5531定期点検	年2回点検	DC-048	TEC-5531	3843	2014年10月28日	不妊治療外来							保証期間				詳細：除細動器点検ファイル③			

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/3月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

No.	機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考			
										2014年度															
										4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1	TU-000005100	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保001	V-2100G	1880522	2008年10月10日	NICU							■ 9/4	○							詳細：保育器関係ファイル	
2	TU-000005114	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保002	V-2100G	18X0296	2008年10月10日	NICU								● 10/9							詳細：保育器関係ファイル	
3	TU-000004756	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保003	V-2100G	18X0297	2008年10月10日	NICU								● 10/3							詳細：保育器関係ファイル	
4	TU-2010080021	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保004	V-2100G	2010633	2010年8月24日	NICU								■ 9/25	○							詳細：保育器関係ファイル
5	TU-2010080022	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保005	V-2100G	2030705	2010年8月24日	NICU								● 10/9							詳細：保育器関係ファイル	
6	TU-2010080023	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保006	V-2100G	2030706	2010年8月24日	NICU								■ 9/11	○							詳細：保育器関係ファイル
7	TU-2010080024	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保007	V-2100G	2050088	2010年8月24日	NICU								■ 9/25	○							詳細：保育器関係ファイル
8	TU-2010080025	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保008	V-2100G	2050089	2010年8月24日	NICU								● 10/9							詳細：保育器関係ファイル	
9	TU-2010080026	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保009	V-2100G	2050090	2010年8月24日	NICU								■ 9/18	○							詳細：保育器関係ファイル
10	TU-2010080027	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保010	V-2100G	2050091	2010年8月24日	NICU								■ 9/4	○							詳細：保育器関係ファイル
11	TU-2010080028	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保011	V-2100G	2050092	2010年8月24日	NICU								○	■ 11/6							詳細：保育器関係ファイル
12	TU-2012120130	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保017	21608	22Y0964	2012年12月18日	NICU								■ 9/18	○							詳細：保育器関係ファイル

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/3月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

No.	機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考		
										2014年度														
										4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
13	TU-2012120131	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保018	21608	22Z0015	2012年12月18日	NICU							■ 9/11	○							詳細：保育器関係ファイル
14	TU-2012120132	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保019	21608	22Z0443	2012年12月18日	NICU								● 10/9							詳細：保育器関係ファイル
15	TU-2012120133	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保020	21608	22Y0963	2012年12月18日	NICU							■ 9/4	○							詳細：保育器関係ファイル
16	TU-2012120278	閉鎖式保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保021	21605	2250121	2012年12月25日	NICU							■ 9/18	○							詳細：保育器関係ファイル
1	TU-0000003137	搬送用保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保015	V-80TR	4101485	1995年3月31日	産科 分娩/LDR															医学へ移動予定 使用前点検にて対応 詳細：保育器関係ファイル
2	TU-0000003183	搬送用保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保016	V-808	1539268	2005年4月28日	産科 分娩/LDR								■ 10/23	○						詳細：保育器関係ファイル
3	TU-2014100010	搬送用保育器	保育器：メーカー点検	年1回点検	保023	V-808	24X0243	2014年10月24日	産科 分娩/LDR															2014年10月24日 購入 詳細：保育器関係ファイル

年間機器点検計画及び実績記録表（2015/3月）2014年度分

承認	審査	担当	

○:計画 ●:計画(済み) ■:実績

機器管理番号	機器名	点検作業名	点検区分	ME管理番号	形式番号	製造番号	取得年月日	常時設置場所	年間点検計画及び実績												備考		
									2014年度														
									4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1 TU-000005712	放射線治療装置（リニアック）	メーカー点検	年4回点検	Trilogy	2100	4732		放射線D棟		● 5/7				● 8/25			○	■ 12/6		● 2/25			
2 TU-000005713	放射線治療装置（リニアック）	メーカー点検	年4回点検	Clinac iX	IX(OP1)	4154		放射線D棟			● 6/18			● 9/1				● 12/26			● 3/11		
3 TU-000005729	小線源治療装置	メーカー点検	年1回点検	マイクロセレクトロン	HDRV2	31933	2010年5月26日	放射線D棟			● 6/20												

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
評価機関：公益財団法人日本医療機能評価機構	
項目： 一般病院 2 及び副機能（精神科病院）	
受審日： 平成25年8月25日及び26日	
認定日： 平成26年1月6日	
認定期間：平成23年9月25日～平成28年9月24日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 一般向けには、病院HP及び病院概要にて、各組織等の取組みを情報発信しております。</p> <p>また、医療機関向けには、診療案内を配付するとともに、平成27年7月7日（火）に、筑波大学附属病院「地域医療連携懇談会」を開催しております。これは、地域医療に携わる医療機関や行政と相互に有する医療機能等をより発揮しつつ質の高い医療環境を確保し地域住民や患者さんに適切な医療を提供することを目的とし開催したものです。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>院内コンサルテーションマニュアルにより他科の専門医に診察の依頼ができる体制が整っており、複数の診療科が連携して高度な医療を提供できる。</p>	